

令和7年度  
南砺市総合計画市民意識調査  
調査報告書

令和7年12月  
南砺市

## 目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収状況	1
3. 回答者の属性	1
II. 調査結果	5
III. 自由意見集計結果	64
1. 意見分類一覧	64
2. 意見詳細	65

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、「第2次南砺市総合計画」におけるKPIの進捗状況などから施策の実行度合いや成果の把握の参考資料とすることを目的とする。

### 2. 調査設計と回収状況

#### (1) 調査の設計

調査対象者	南砺市在住の満18歳以上の方から2,500人
抽出方法	無作為抽出
配布方法	郵送による配布
回収方法	郵送及びインターネット回答による回収
調査時期	令和7年

#### (2) 有効回答数と回収率

調査票発送数（人）	有効回答数（人）	回収率（%）
2,500	1,158	46.3

### 3. 回答者の属性

#### (1) 性別・年齢

(上段：人、下段：%)

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	不明	合計
男性	8 0.7	40 3.5	53 4.6	69 6.0	84 7.3	51 4.4	77 6.6	87 7.5	2 0.2	471 40.7
女性	12 1.0	48 4.1	70 6.0	87 7.5	131 11.3	88 7.6	110 9.5	127 11.0	0 0.0	673 58.1
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1
答えたくない	0 0.0	0 0.0	2 0.2	0 0.0	2 0.2	0 0.0	0 0.0	2 0.2	1 0.1	7 0.6
不明	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	4 0.3	6 0.5
全体	20 1.7	89 7.7	125 10.8	157 13.6	217 18.7	140 12.1	187 16.1	216 18.7	7 0.6	1,158 100.0

(2) 家族

図1 家族構成 N = 1,152

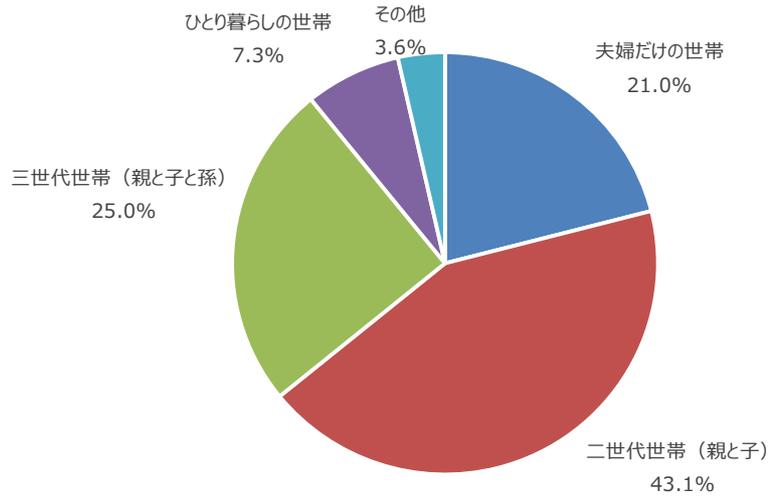


図2 配偶者 N = 1,142

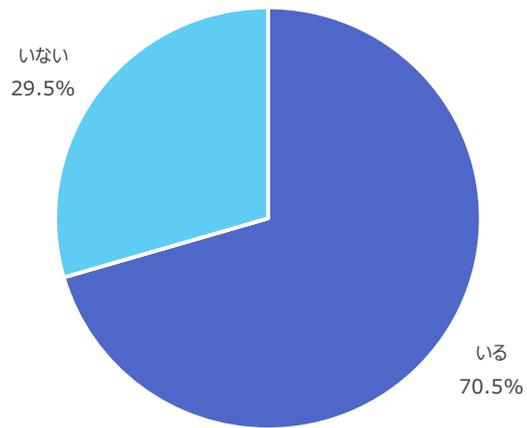
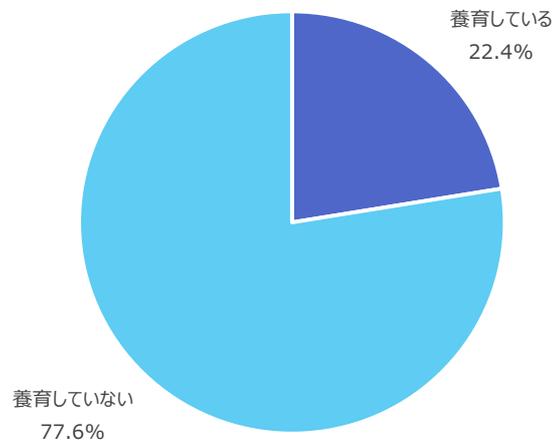


図3 子供 (0歳~中学生) N = 1,025



(3) 就労・就学

図4 就労・就学状況

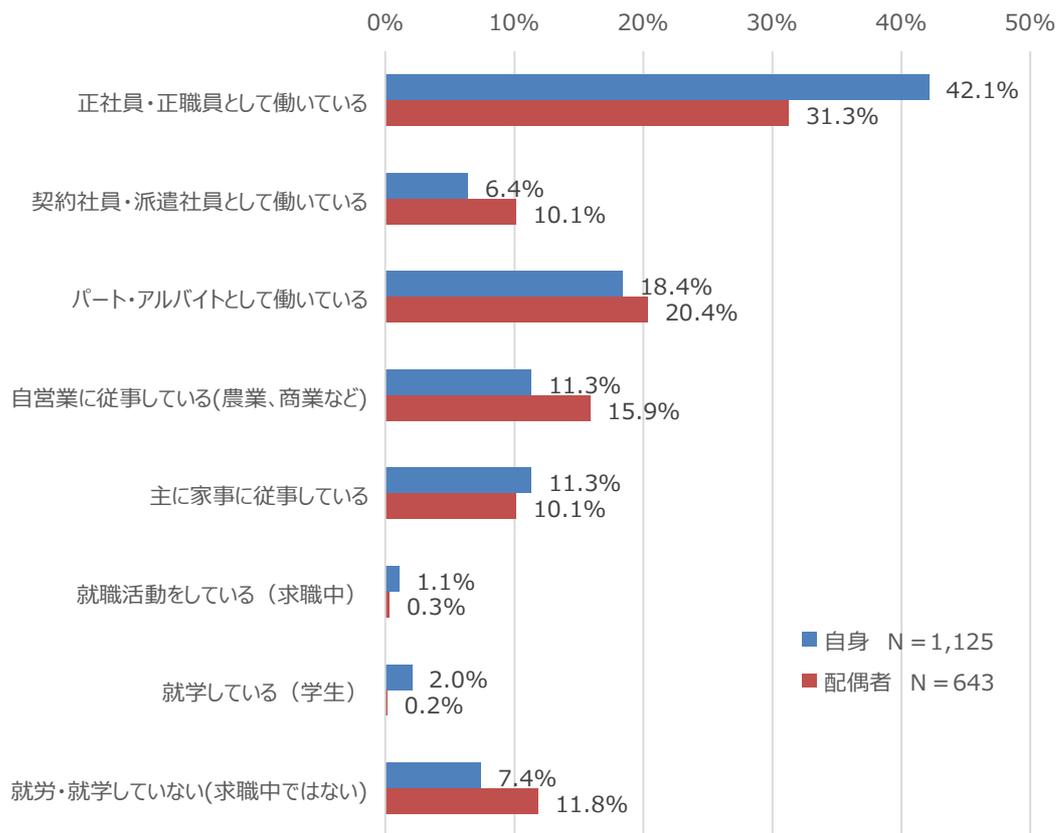
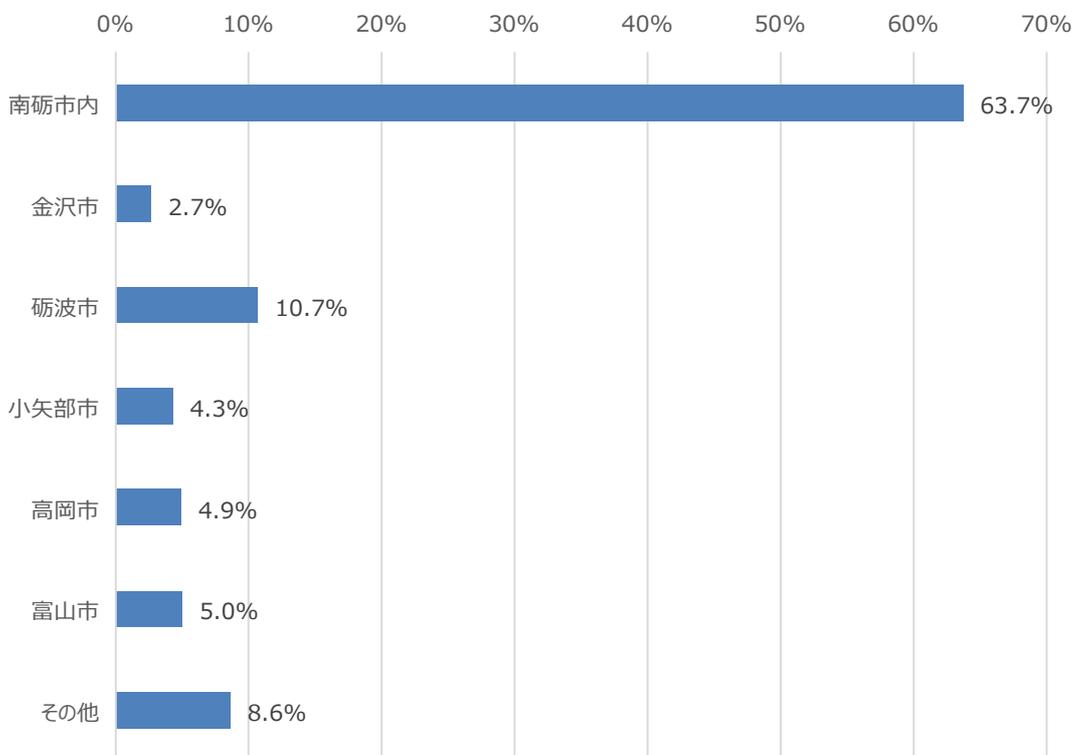


図5 就労・就学場所 N=973



(4) 住まい

図6 お住まいの地域 N = 1,147

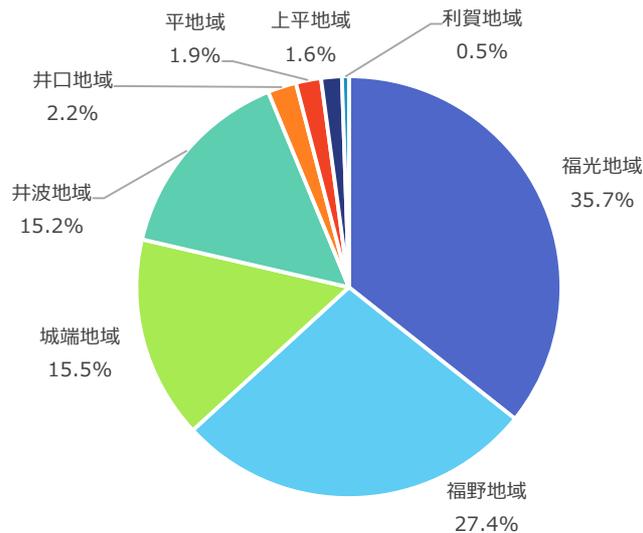
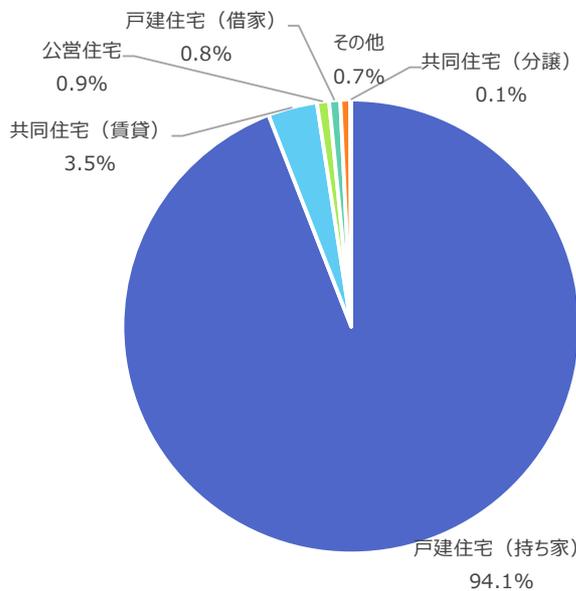


図7 お住まいの形態 N = 1,155



本報告書を読む際の注意点

- ・調査結果は百分率で表示した。その百分率は少数第2位を四捨五入した。したがって、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- ・図表中に「N」とあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率 (%) が何人の回答に相当するかを示す比率算出用である。
- ・全体の「N」は、属性不明の回答を含んでいるため、各属性個々の「N」の合計と合致しない。
- ・図表中に「MA」(Multiple Answer) と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答 (複数回答) を求めた場合を示し、その百分率は回答数を回答者数 (N) で割った比率である。

## Ⅱ. 調査結果

問10 あなたが買い物をする主な行き先はどこですか。

「買い物の目的」ごとの「買い物をする主な行き先」をそれぞれ2つまで○をつけてください。

**食料品、日用雑貨の買い物は南砺市内が最も多くなっている。**

目的ごとの買い物場所をみると、食料品は「南砺市内」が88.7%と最も多く、次いで「砺波市」が58.4%、「金沢市」が3.1%となっている。

日用雑貨は、「南砺市内」が76.4%と最も多く、次いで「砺波市」が61.9%、「インターネット」が8.3%となっている。

衣料品は、「砺波市」が58.3%と最も多く、次いで「南砺市内」が32.8%、「高岡市」が25.4%となっている。

電化製品は、「砺波市」が73.0%と最も多く、次いで「南砺市内」が30.3%、「インターネット」が23.0%となっている。

趣味に関するものは、「インターネット」が39.7%と最も多く、次いで「砺波市」が36.0%、「南砺市内」が21.9%となっている。

図8 目的ごとの買い物場所（MA）

	(%)									
	南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
食料品 N=1,147	88.7	58.4	1.1	2.7	0.5	0.4	3.1	1.9	0.6	1.7
日用雑貨 N=1,140	76.4	61.9	1.0	6.5	0.1	1.3	4.5	8.3	0.9	0.9
衣料品 N=1,140	32.8	58.3	4.1	25.4	0.2	4.3	16.3	19.9	3.1	1.5
電化製品 N=1,139	30.3	73.0	0.1	13.9	0.1	1.5	5.6	23.0	1.8	1.0
趣味に関するもの N=1,112	21.9	36.0	0.9	21.4	0.3	8.1	16.7	39.7	4.0	5.0

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

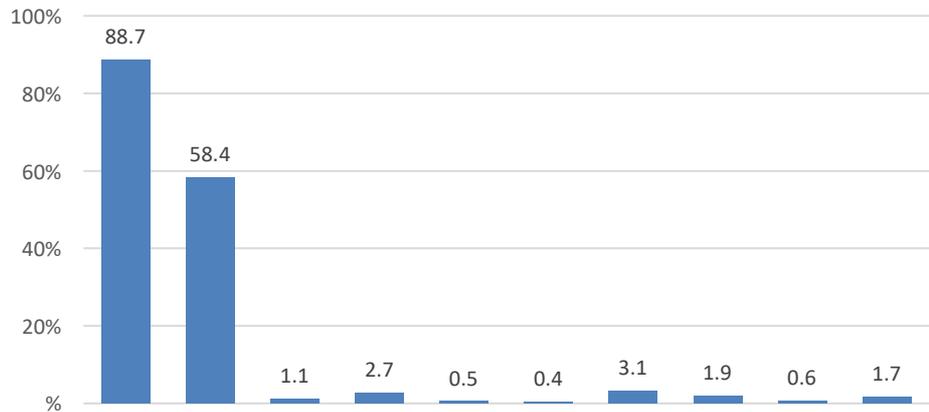
(1) 食料品

全体の約9割は食料品を南砺市内で購入している。

食料品についてみると、「南砺市内」が88.7%と最も多く、次いで「砺波市」が58.4%、「金沢市」が3.1%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入する傾向がある。また、地域別にみると、南砺市以外ではどの地域も「砺波市」が多くなっている。

図9 食料品の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,147			88.7	58.4	1.1	2.7	0.5	0.4	3.1	1.9	0.6	1.7
年度別	R6年	N=1,220	88.0	58.4	1.3	2.0	0.5	0.7	4.3	2.0	0.7	2.0
	R5年	N=1,283	89.0	56.5	0.8	1.7	0.8	0.8	3.0	2.1	0.5	1.4
	R4年	N=1,261	88.3	56.1	1.0	1.4	0.6	0.7	2.9	1.5	0.6	1.3
	R3年	N=1,353	89.9	53.1	0.5	1.6	0.7	0.7	2.4	1.6	0.6	1.4
	R2年	N=1,439	89.0	51.6	0.8	2.4	0.5	0.4	2.9	2.1	0.6	1.5
年齢別	18~19歳	N=20	75.0	60.0	5.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0
	20~29歳	N=88	77.3	64.8	2.3	5.7	0.0	0.0	3.4	4.5	1.1	2.3
	30~39歳	N=124	82.3	72.6	1.6	7.3	0.0	0.0	4.0	5.6	0.8	0.0
	40~49歳	N=156	91.0	71.2	0.6	2.6	0.6	0.6	2.6	1.3	0.0	0.6
	50~59歳	N=217	88.0	60.8	1.4	3.2	0.9	0.5	3.2	1.4	0.0	0.0
	60~64歳	N=139	92.1	54.0	1.4	2.9	0.7	1.4	4.3	1.4	2.2	2.2
	65~69歳	N=186	91.4	51.1	0.5	0.0	0.5	0.5	3.2	1.6	0.0	4.3
70歳以上	N=214	92.5	44.9	0.5	0.0	0.5	0.0	1.9	0.5	0.9	1.9	
地域別	城端地域	N=177	94.9	48.0	1.7	1.1	1.1	0.6	2.3	1.7	0.0	3.4
	平地地域	N=22	81.8	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	4.5
	上平地地域	N=18	94.4	66.7	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
	利賀地域	N=6	66.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域	N=171	71.9	86.5	0.6	4.7	0.6	1.2	2.3	2.9	1.2	1.2
	井口地域	N=25	80.0	52.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	福野地域	N=312	86.5	68.6	1.6	4.2	0.3	0.3	0.3	1.3	0.3	1.6
	福光地域	N=408	95.8	42.4	1.0	1.2	0.5	0.2	5.9	2.5	0.7	1.0

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

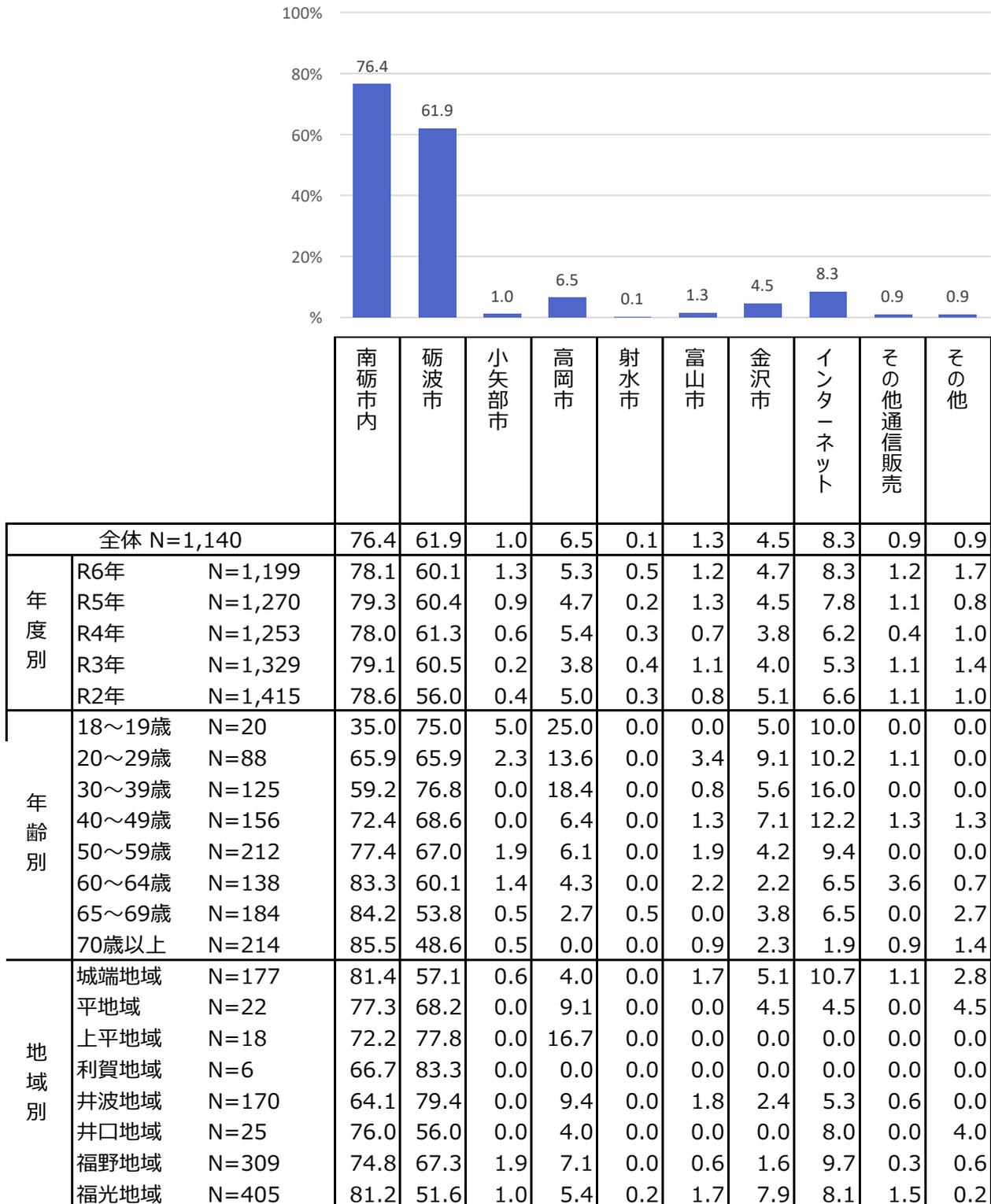
(2) 日用雑貨

全体の約8割は日用雑貨を南砺市で購入している。

日用雑貨についてみると、「南砺市内」が76.4%と最も多く、次いで「砺波市」が61.9%、「インターネット」が8.3%となっている。

年齢別、地域別では、食料品の傾向と同様に、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入する傾向があり、南砺市以外ではどの地域も「砺波市」が多くなっている。

図10 日用雑貨の買い物場所 (MA)



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

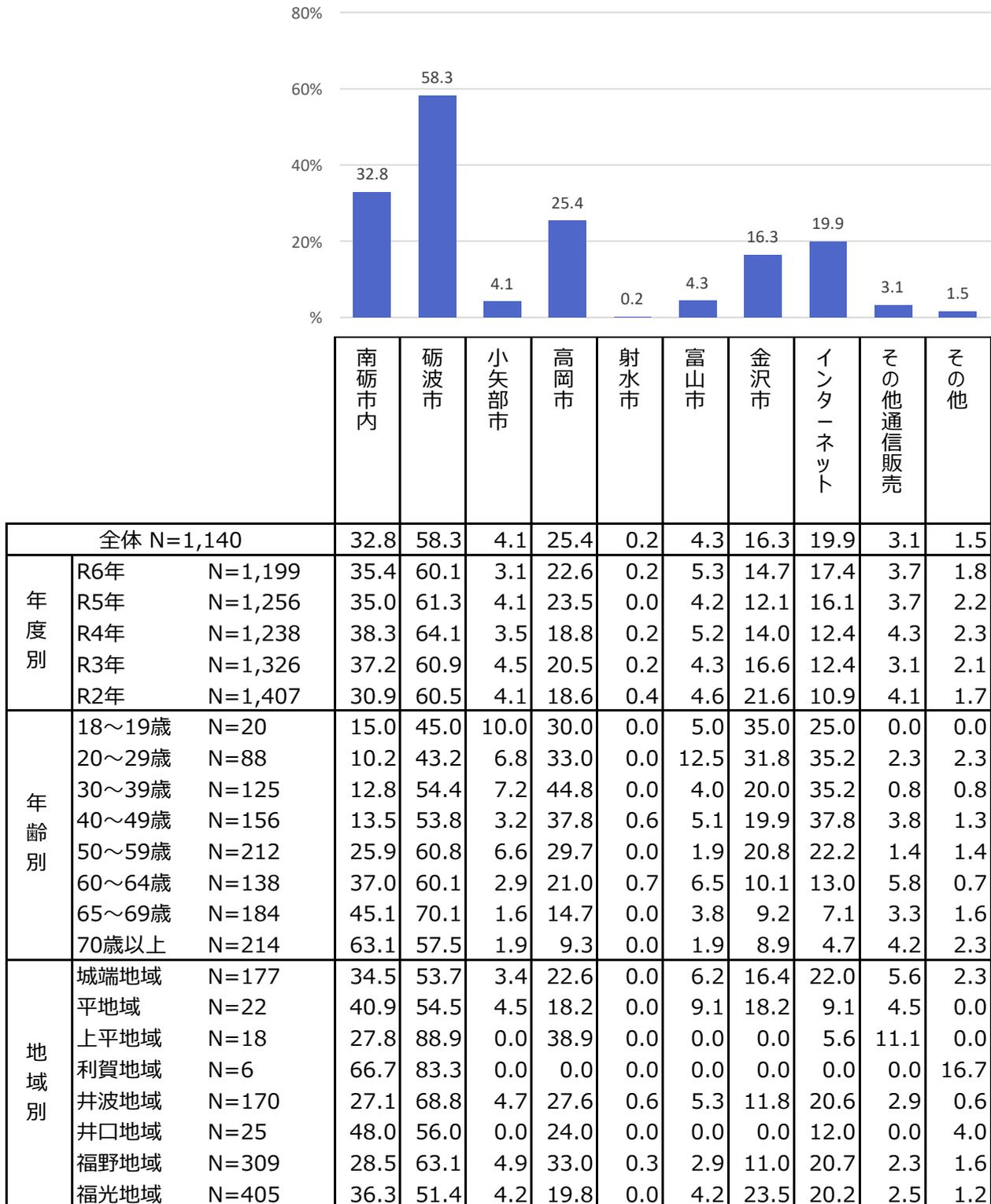
(3) 衣料品

全体の約6割は衣料品を砺波市で購入している。

衣料品についてみると、「砺波市」が58.3%と最も多く、次いで「南砺市内」が32.8%、「高岡市」が25.4%、「インターネット」が19.9%となっている。

年度別にみると、「インターネット」による購入が増加傾向にある。また、年齢が高いほど「南砺市内」が多く、年齢が低いほど「高岡市」「金沢市」が多い傾向にある。

図11 衣料品の買い物場所 (MA)



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

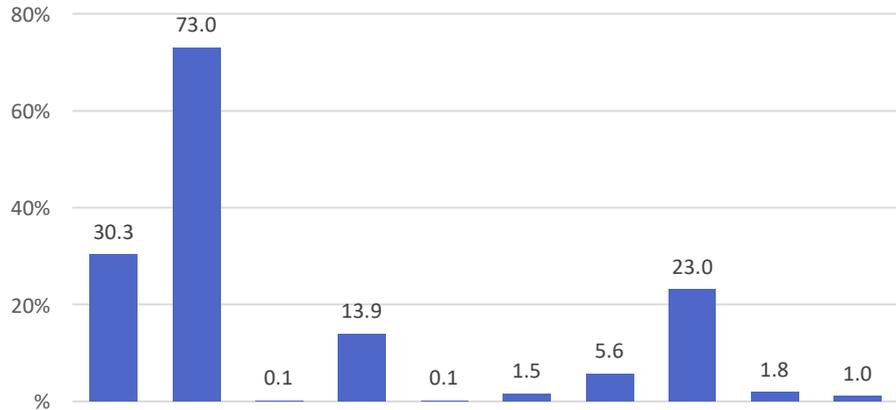
(4) 電化製品

全体の約7割は電化製品を砺波市で購入している。

電化製品についてみると、「砺波市」が73.0%と最も多く、次いで「南砺市内」が30.3%、「インターネット」が23.0%となっている。

年度別にみると、「インターネット」が増加傾向にあり、年齢別にみると年齢が高いほど「南砺市内」が多くなる傾向がある。

図12 電化製品の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,139			30.3	73.0	0.1	13.9	0.1	1.5	5.6	23.0	1.8	1.0
年度別	R6年	N=1,197	34.0	72.7	0.8	11.2	0.3	1.1	5.9	21.1	2.0	1.5
	R5年	N=1,253	35.2	74.3	0.2	8.9	0.2	2.0	5.6	19.4	1.4	0.6
	R4年	N=1,230	32.6	76.3	0.3	8.7	0.0	1.9	4.9	20.5	2.0	1.0
	R3年	N=1,326	35.6	75.8	0.2	7.3	0.1	1.4	5.1	14.9	2.7	1.3
	R2年	N=1,402	35.0	74.4	0.3	9.6	0.2	1.7	5.8	15.5	1.6	1.0
年齢別	18~19歳	N=20	5.0	75.0	0.0	35.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	20~29歳	N=88	20.5	65.9	0.0	30.7	0.0	4.5	8.0	28.4	1.1	2.3
	30~39歳	N=123	13.0	73.2	0.0	22.0	0.0	2.4	8.9	43.1	0.0	0.0
	40~49歳	N=155	17.4	74.2	0.0	19.4	0.0	1.9	6.5	34.2	1.3	1.3
	50~59歳	N=212	24.5	74.5	0.0	16.5	0.0	0.9	6.1	30.2	0.5	0.5
	60~64歳	N=140	37.1	79.3	0.7	7.9	0.7	0.7	5.7	15.7	3.6	0.0
	65~69歳	N=184	41.8	73.4	0.0	7.6	0.0	0.0	4.3	14.1	2.2	2.2
70歳以上	N=214	47.2	68.7	0.0	3.3	0.0	0.9	2.3	7.0	3.7	0.9	
地域別	城端地域	N=177	34.5	70.1	0.0	13.6	0.6	2.3	8.5	23.7	1.7	1.1
	平地域	N=22	40.9	77.3	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	27.3	0.0	0.0
	上平地域	N=18	27.8	77.8	0.0	22.2	0.0	5.6	0.0	11.1	5.6	0.0
	利賀地域	N=6	33.3	83.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	井波地域	N=171	18.1	83.6	0.0	17.5	0.0	2.9	1.8	21.1	2.3	1.2
	井口地域	N=25	28.0	68.0	0.0	24.0	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0	4.0
	福野地域	N=311	16.1	84.2	0.0	15.1	0.0	1.0	1.3	24.4	1.9	1.0
	福光地域	N=401	44.4	60.8	0.2	10.7	0.0	1.0	10.2	23.4	1.5	0.7

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

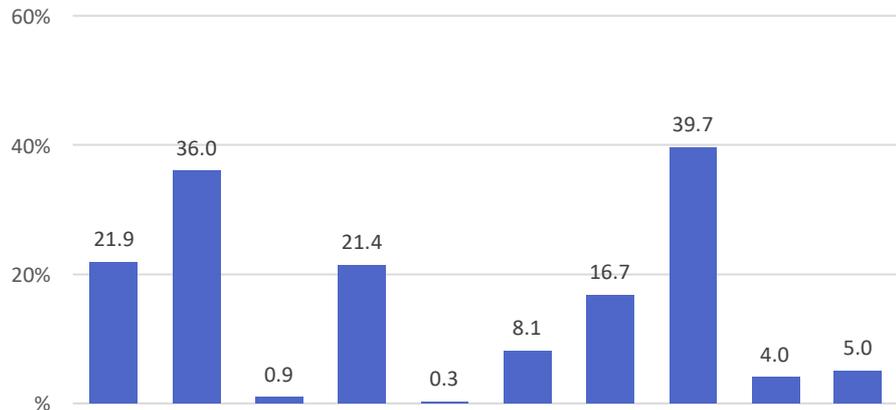
(5) 趣味に関するもの

趣味に関するものの買い物場所は分散傾向にある。

趣味に関するものについてみると、「インターネット」が39.7%と最も多く、次いで「砺波市」が36.0%、「南砺市内」が21.9%、「高岡市」が21.4%、「金沢市」が16.7%となっている。

年度別にみると、「インターネット」が増加傾向にあり、令和7年度に初めて最も多くなった。年齢別にみると、年齢が低いほど「金沢市」が多い傾向にある。地域別では買い物場所は分散傾向にある。

図13 趣味に関するものの買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,112			21.9	36.0	0.9	21.4	0.3	8.1	16.7	39.7	4.0	5.0
年度別	R6年	N=1,163	24.8	41.4	1.2	20.4	0.2	6.3	16.5	36.8	4.4	4.7
	R5年	N=1,222	26.1	39.4	0.6	20.3	0.2	8.3	14.7	35.2	5.2	3.4
	R4年	N=1,186	26.2	44.1	1.7	18.6	0.3	7.5	13.3	34.3	3.7	3.8
	R3年	N=1,278	28.2	44.1	0.9	17.9	0.6	7.0	14.1	30.0	4.7	4.4
	R2年	N=1,350	26.1	43.6	1.0	20.5	0.1	6.4	16.2	29.6	4.3	3.9
年齢別	18~19歳	N=20	5.0	20.0	0.0	50.0	0.0	10.0	30.0	30.0	5.0	0.0
	20~29歳	N=89	10.1	23.6	0.0	23.6	1.1	15.7	28.1	50.6	4.5	6.7
	30~39歳	N=125	4.8	26.4	0.0	32.8	0.0	8.8	18.4	64.8	1.6	3.2
	40~49歳	N=156	9.6	25.6	1.3	20.5	0.0	10.3	21.8	66.7	4.5	3.2
	50~59歳	N=210	17.1	36.2	0.5	24.3	0.5	8.1	20.0	48.1	1.0	5.7
	60~64歳	N=134	24.6	42.5	0.7	19.4	0.0	10.4	14.2	28.4	7.5	4.5
	65~69歳	N=173	31.8	41.0	2.3	17.9	0.6	5.2	11.0	25.4	4.6	5.8
70歳以上	N=202	43.1	48.0	1.0	12.9	0.0	3.5	8.9	9.9	5.4	6.4	
地域別	城端地域	N=170	22.9	32.9	1.2	19.4	0.0	6.5	18.2	45.9	2.4	7.6
	平地域	N=20	20.0	35.0	0.0	30.0	0.0	15.0	15.0	35.0	0.0	0.0
	上平地域	N=18	22.2	27.8	0.0	33.3	0.0	11.1	5.6	22.2	22.2	0.0
	利賀地域	N=6	50.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	井波地域	N=167	16.2	45.5	0.6	23.4	0.0	11.4	13.2	40.7	4.2	4.8
	井口地域	N=24	25.0	33.3	0.0	37.5	4.2	8.3	4.2	29.2	0.0	4.2
	福野地域	N=304	17.1	44.1	1.0	25.7	0.7	9.2	9.2	40.8	3.0	5.3
福光地域	N=395	26.8	27.6	1.0	16.2	0.0	6.1	25.1	37.0	5.3	4.6	

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

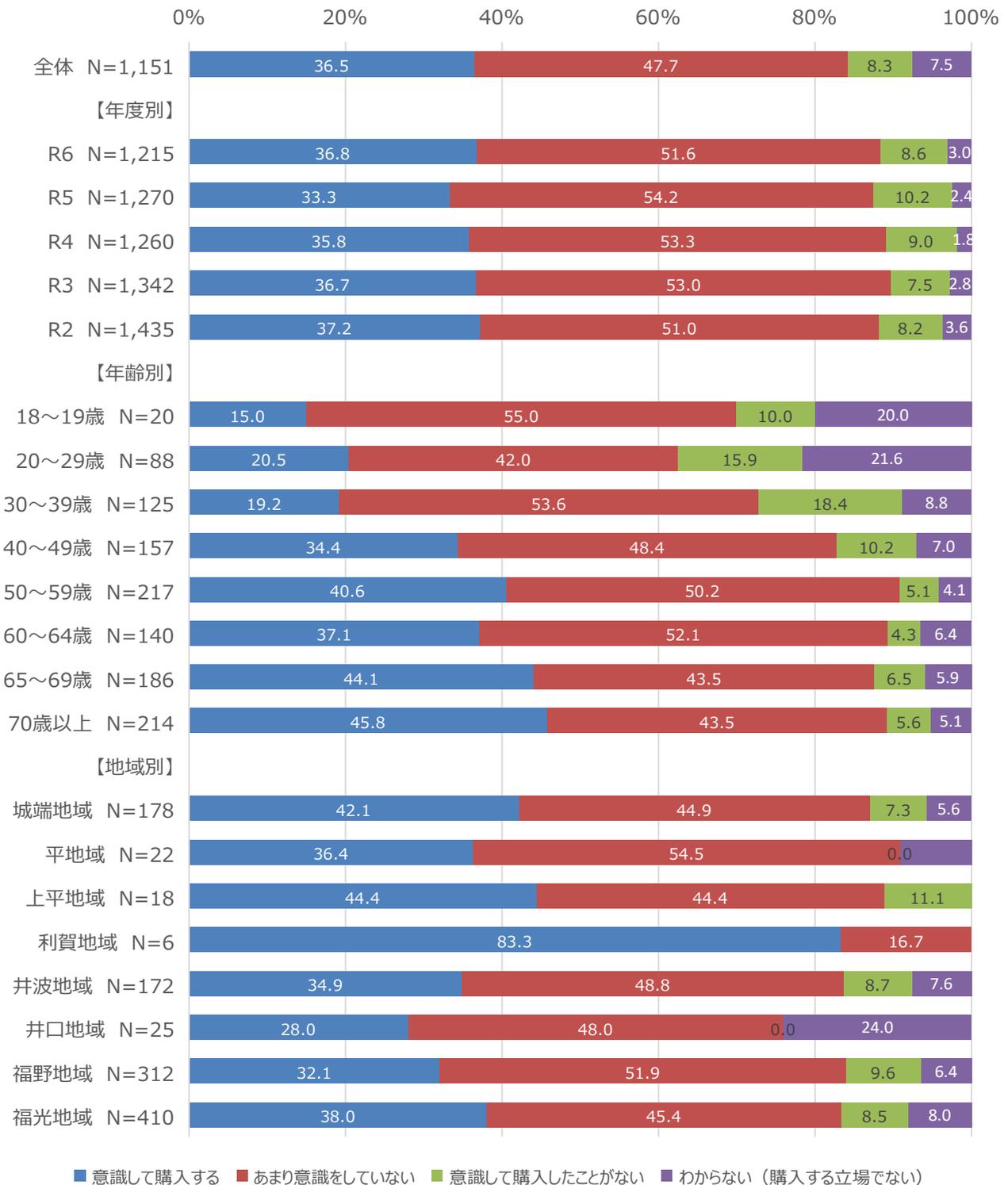
問11 あなたは、地場産の食材を意識して購入していますか。

全体の約4割は地場産の食材を意識して購入している。

「意識して購入する」が36.5%、「あまり意識をしていない」が47.7%、「意識して購入したことがない」が8.3%、「わからない（購入する立場でない）」が7.5%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「意識して購入する」が多い傾向にあるが、地域別では、「利賀地域」を除く全てで「あまり意識していない」が4割以上となっている。

図14 地元食材の購入意識



問12 あなたは、1日のうち平均どの程度、家事や育児などを行っていますか。

**男性の約2割は休日2時間以上家事等を行っている。**

休日の男女別家事・育児・介護時間をみると、「2時間以上（「2時間以上3時間未満」+「3時間以上4時間未満」+「4時間以上」）」家事等を行う男性の割合は22.3%で女性は63.4%となった。

男性の家事の平均時間をみると、平日で「していない」+「1時間未満」が76.6%、休日で67.9%となり、女性の家事平均時間は、「1時間以上」の割合が平日で79.5%、休日で83.5%となった。

図15 [全体] 平日・休日の家事・育児・介護時間

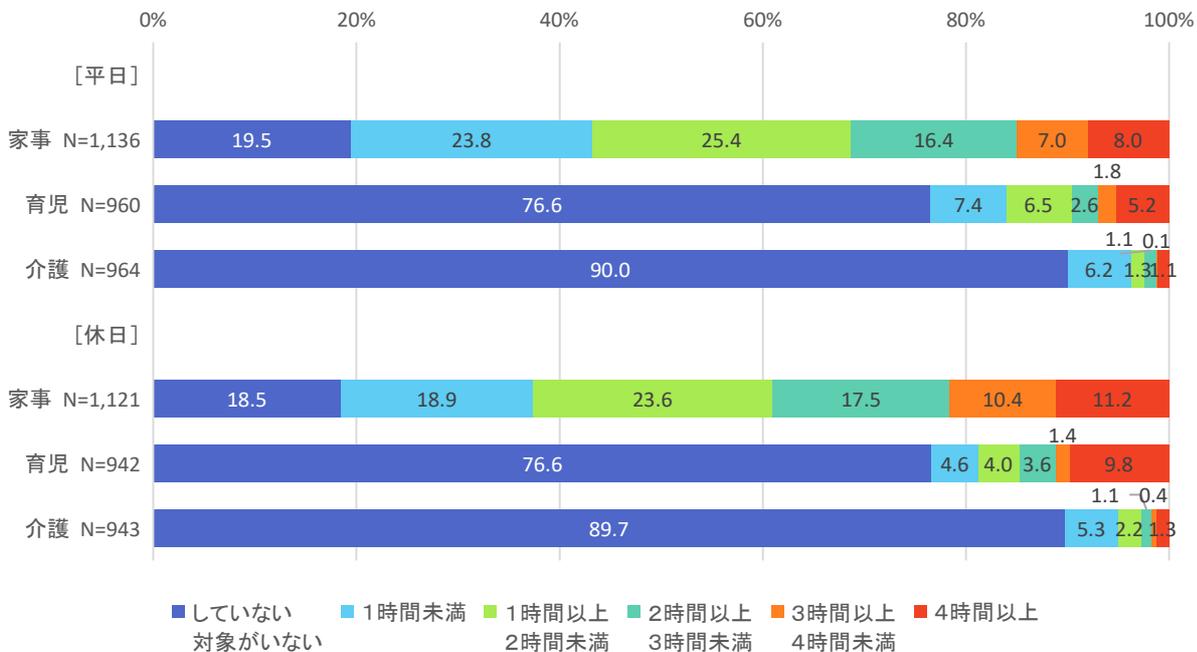
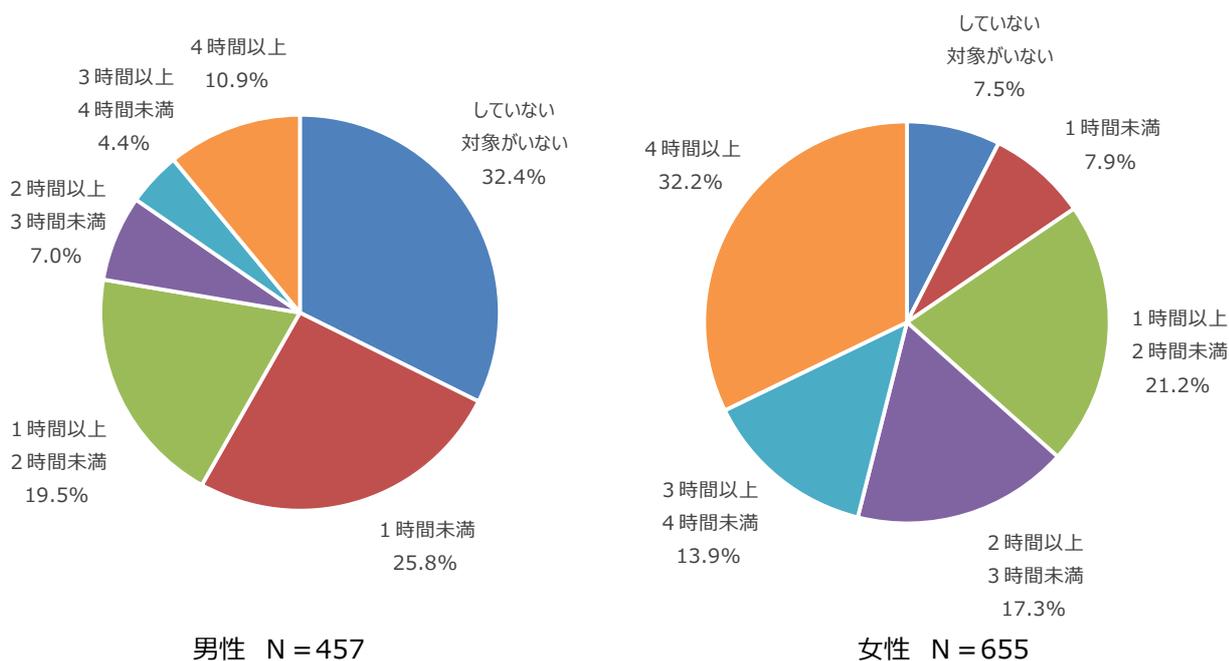


図16 [男女別] 休日の家事・育児・介護時間

(1時間未満 0.5 / 1時間以上、2時間未満 1.5 / 2時間以上、3時間未満 2.5 / 3時間以上、4時間未満 3.5 / 4時間以上 4.5として計算)





問13 あなたは、次の情報通信サービスを利用していますか。利用している場合は、それらを快適に利用できていますか。

全体の約9割はスマホ、タブレットを利用している。

情報通信機器の利用状況でみると、「インターネット（スマホ、タブレット）」を利用しているが91.7%となっている。

情報通信機器を快適に利用できているかについてみると、「快適に利用できている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」はパソコンでインターネットを利用している方が89.4%、スマートフォン、タブレットでインターネットを利用している方は90.6%、従来型携帯電話を利用している方は89.9%、FAXを利用している方は79.4%となった。

図19 情報通信機器の利用状況

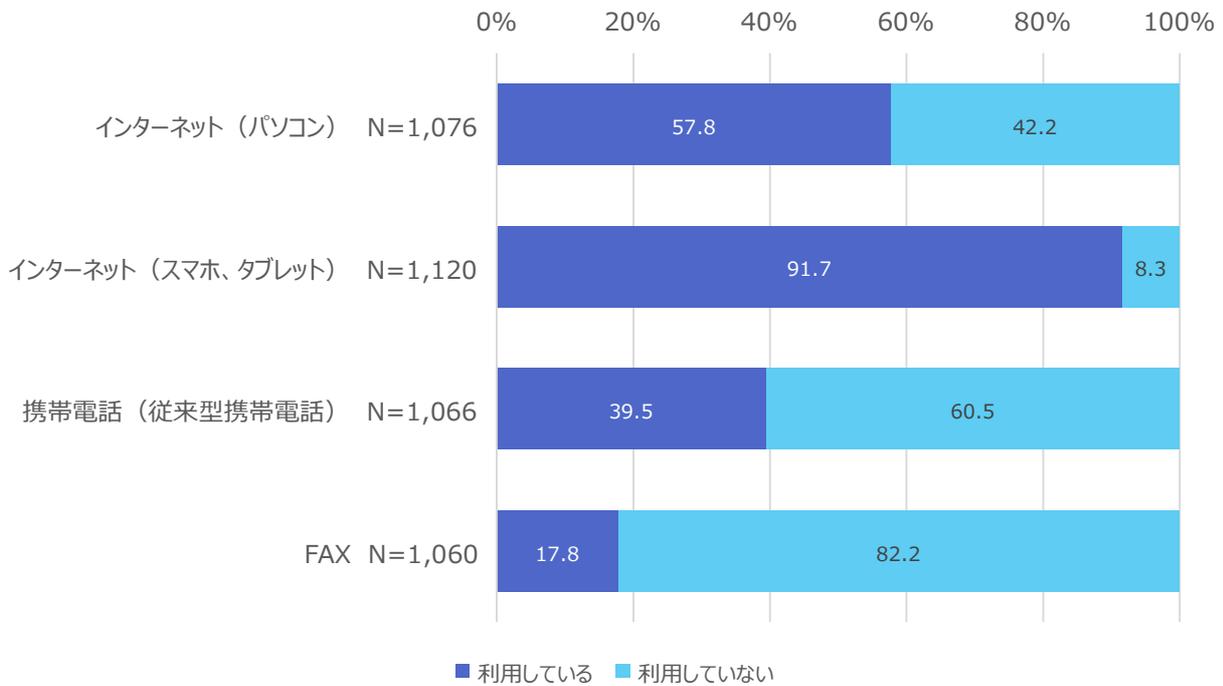
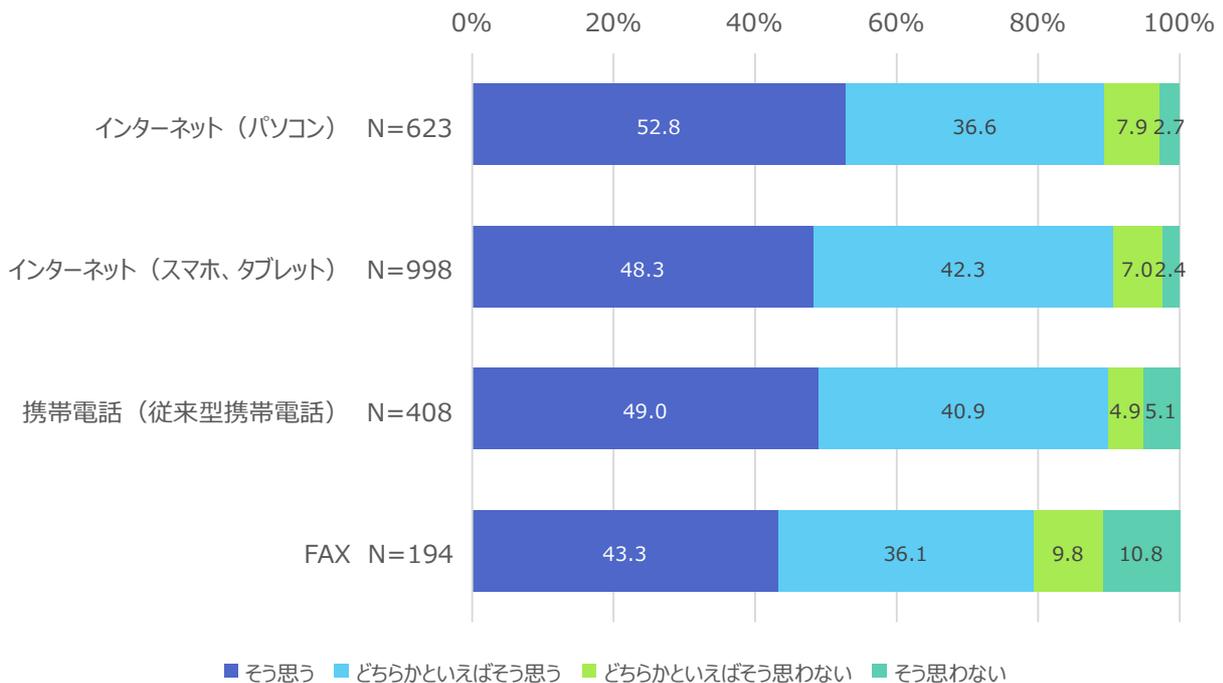


図20 情報通信機器の快適さ



問14 問13でインターネット（スマホ、タブレット）を利用している「1」と回答した方にお聞きます。使うアプリは何か。

**スマートフォン、タブレット利用者の約3割はLINEを使用している。**

スマートフォン、タブレットを利用している方が使用するアプリについてみると、「LINE」が27.6%と最も多く、次いで「Youtube」が20.1%、「キャッシュレス決済」が18.3%となっている。

使用者の年齢層をみると、「Twitter」と「Instagram」は20代までの使用者が多く、「キャッシュレス決済」「LINE」「Youtube」と回答した方の年齢は分散傾向にある。

図21 スマートフォン、タブレット利用者の使用アプリ（MA） N=3,382

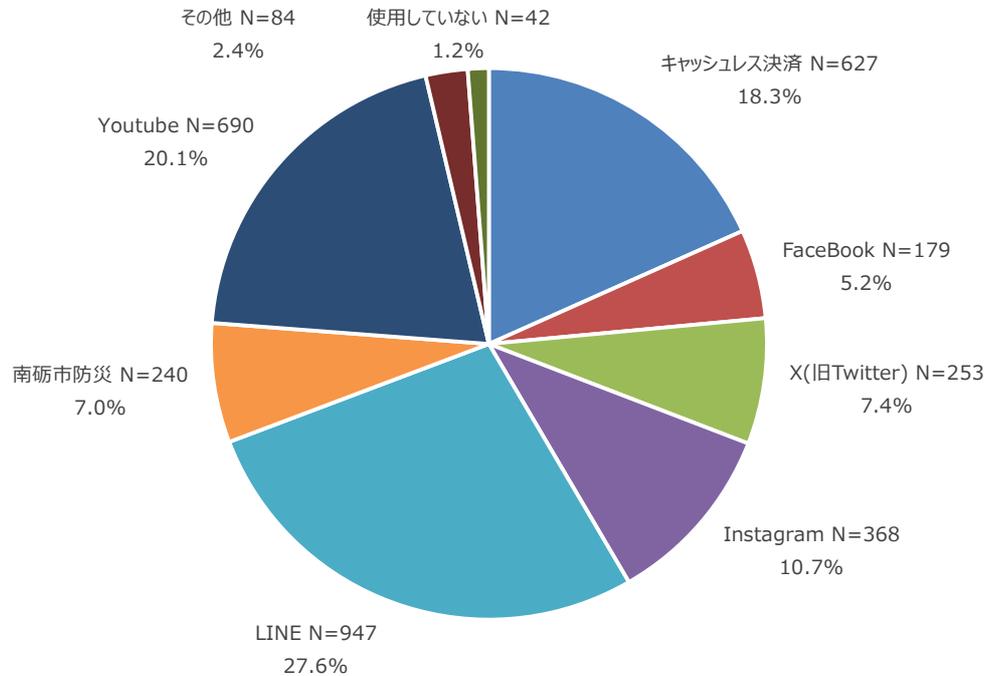
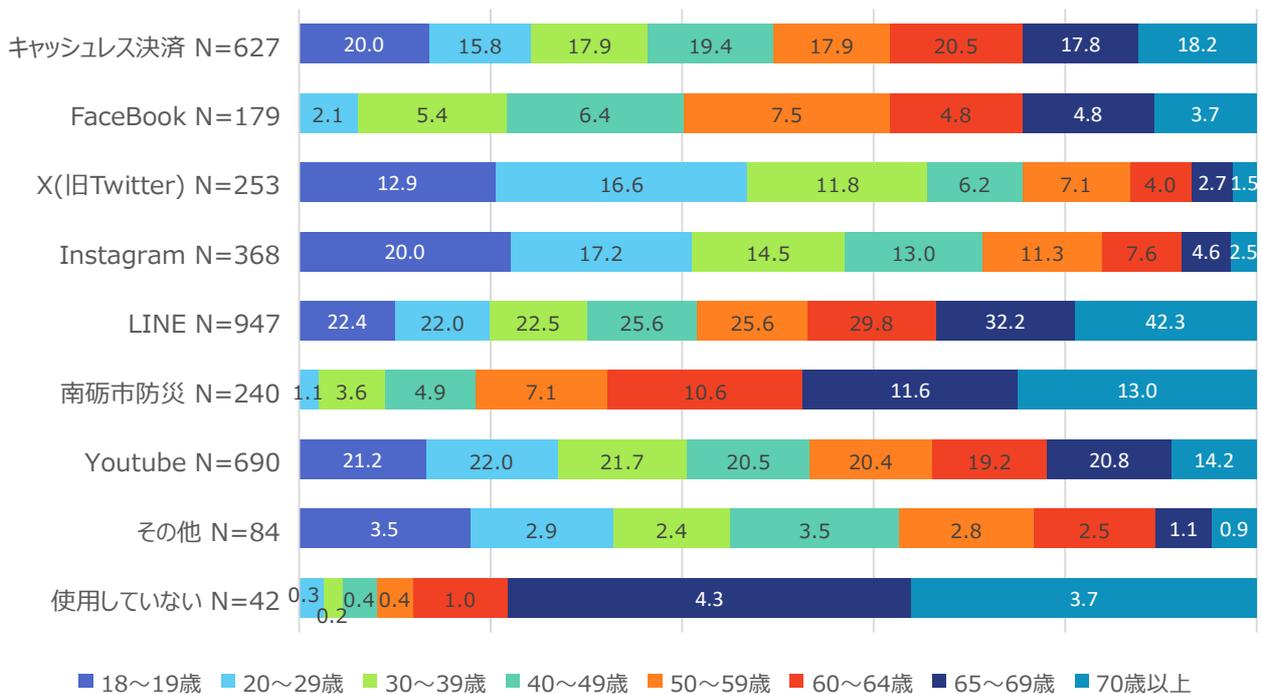


図22 アプリ毎の使用者年齢層



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問15 今後、デジタル化されることを期待する行政手続きや行政サービスは何ですか。

「各種届出・証明書の取得」のデジタル化が期待されている。

デジタル化を期待する行政手続きや行政サービスについては、「各種届出・証明書の取得」が52.3%と最も多く、次いで「医療・健康」38.5%、「防災、災害」が31.8%となっている。

項目別にみると、「学校教育」と「子育て、保育」と回答した方の内、30～49歳がどちらも約半数を占めている。

図23 デジタル化を期待する行政サービス (MA)

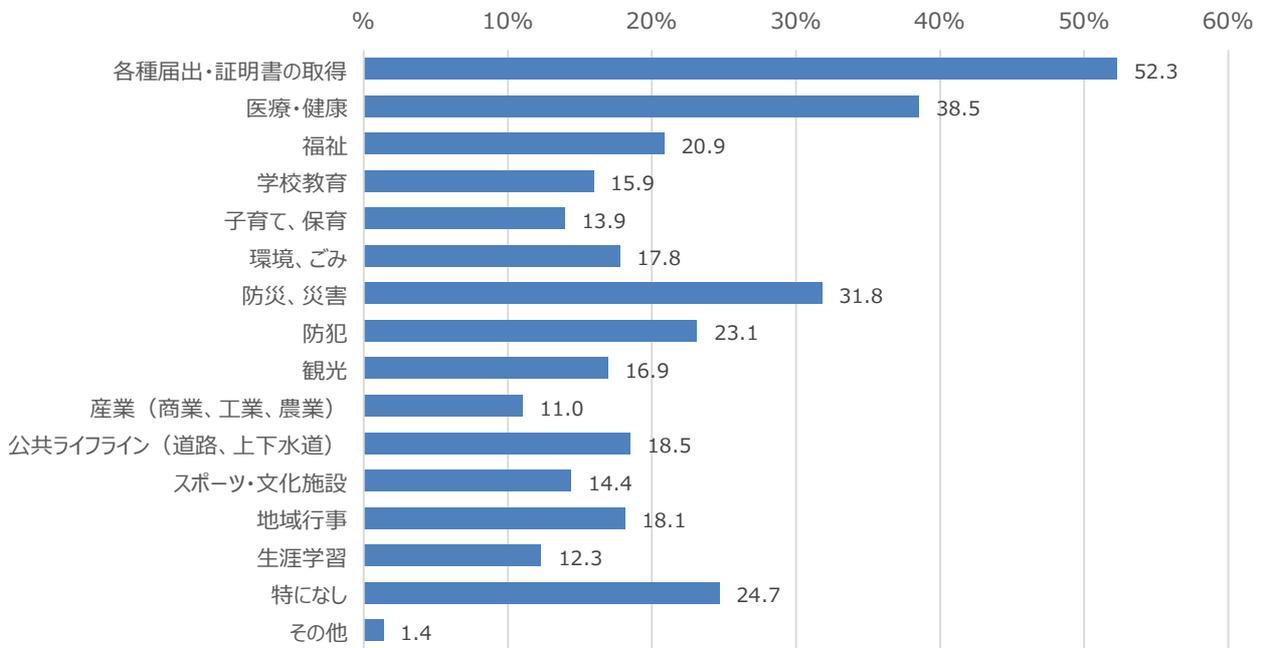
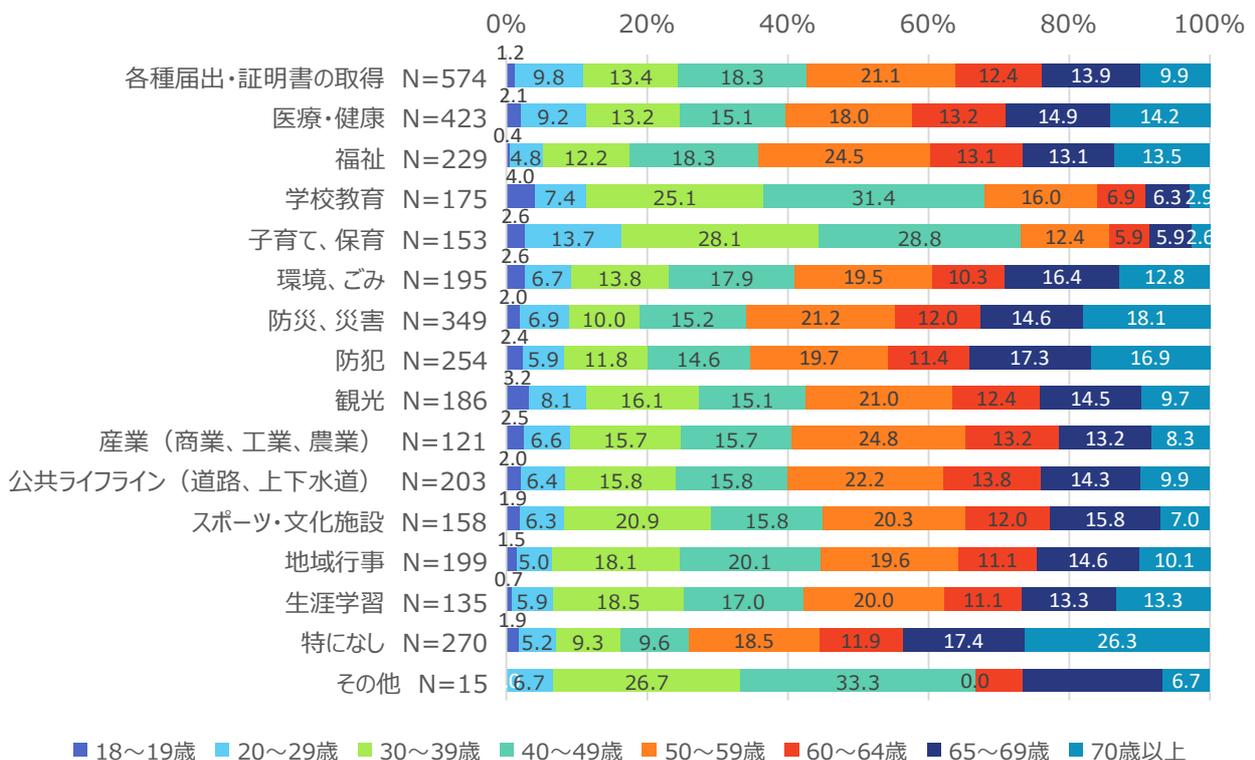


図24 デジタル化を期待する行政サービス毎の年齢層

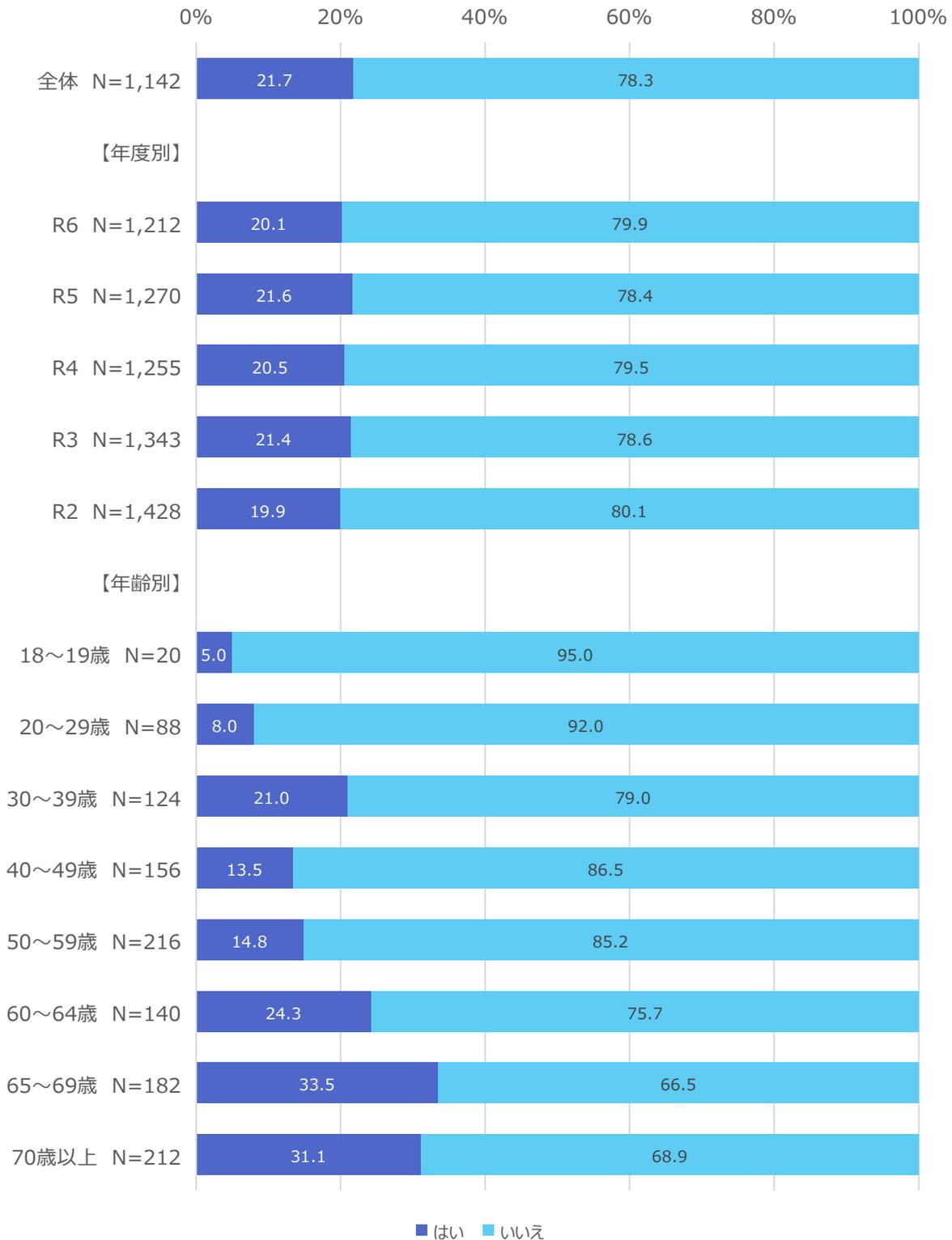


問16 あなたは、日頃から学習活動（市や交流センター、民間が開催する講座、教室、サークル、講演会及び個人が自宅等で行う学習）に取り組んでいますか。

全体の約2割は日頃から学習活動に取り組んでいる。

日頃の学習活動の取組状況をみると、「はい（取り組んでいる）」が21.7%、「いいえ（取り組んでいない）」が78.3%となっている。年齢別にみると、年齢が高くなるほど「はい（取り組んでいる）」の割合が増加している。

図25 学習活動の取組状況



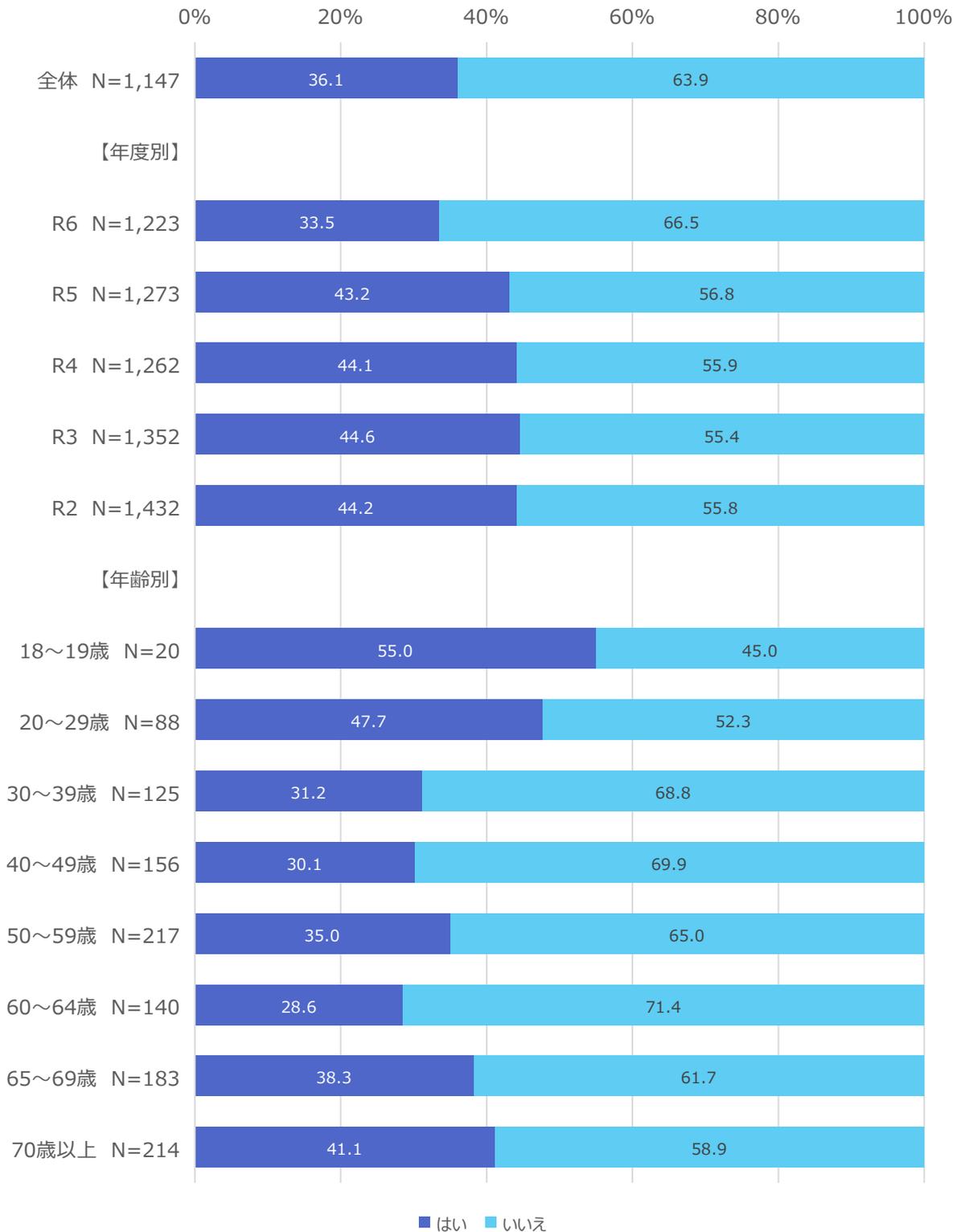
問17 あなたは、1年以上継続してスポーツ・運動を行っていますか。※目安 1回30分以上 散歩、体操を含む

全体の約4割は日頃からスポーツ・運動を行っている。

日頃のスポーツ・運動の状況を見ると、「はい」が36.1%、「いいえ」が63.9%となっている。

年齢別にみると、18～19歳で「はい」が55.0%と最も多く、60～64歳で28.6%と最も少なくなっている。

図26 スポーツ・運動の実施状況

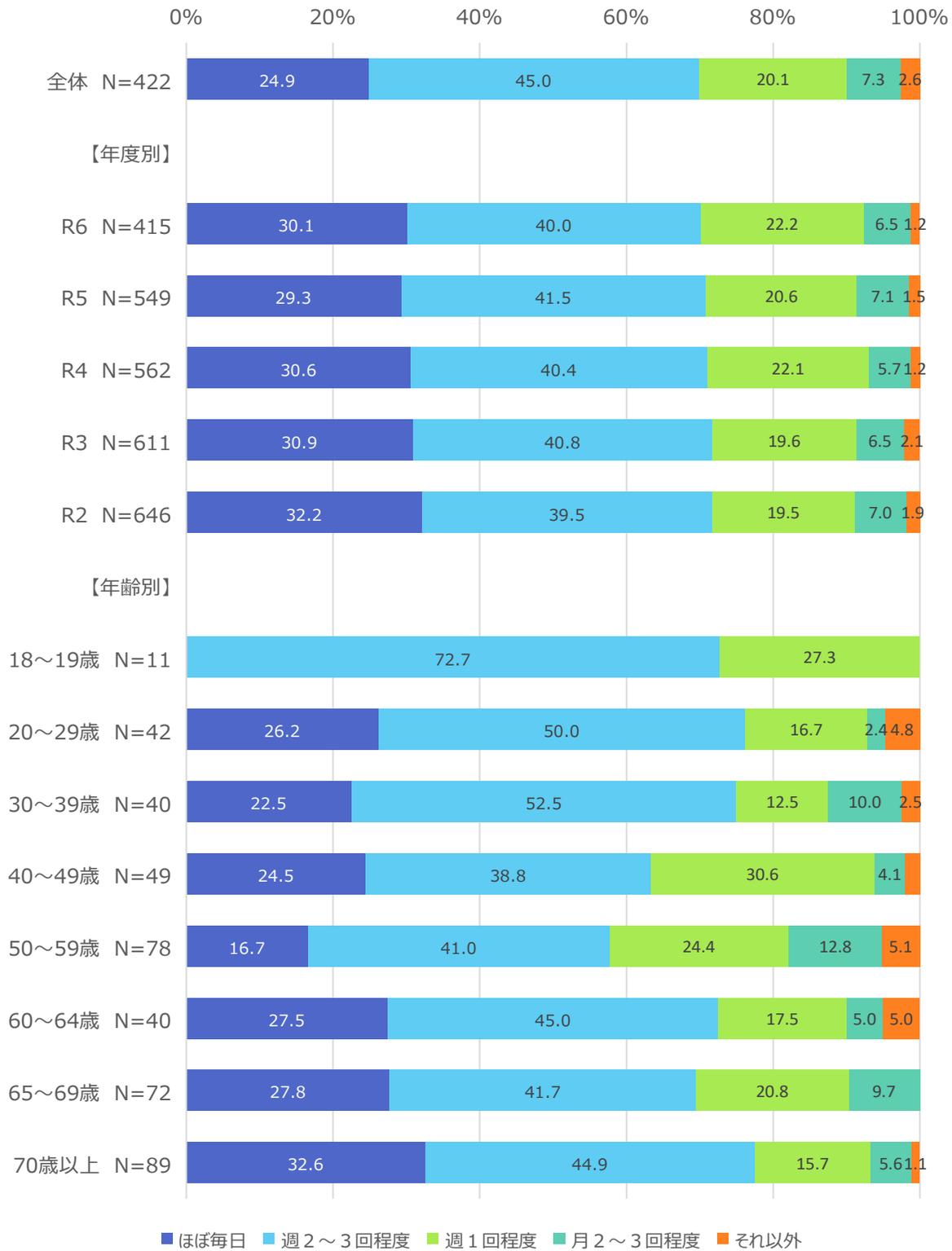


問18 問17で「1.はい」と回答した方にお聞きます。どれぐらいの頻度でスポーツ・運動（散歩・体操を含む）を行っていますか。

**スポーツ・運動の頻度は週2～3回が最も多い。**

スポーツ・運動を行っている方について、スポーツ・運動の頻度をみると、「週2～3回程度」が45.0%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が24.9%、「週1回程度」が20.1%、「月2～3回程度」が7.3%となっている。

図27 スポーツ・運動の頻度

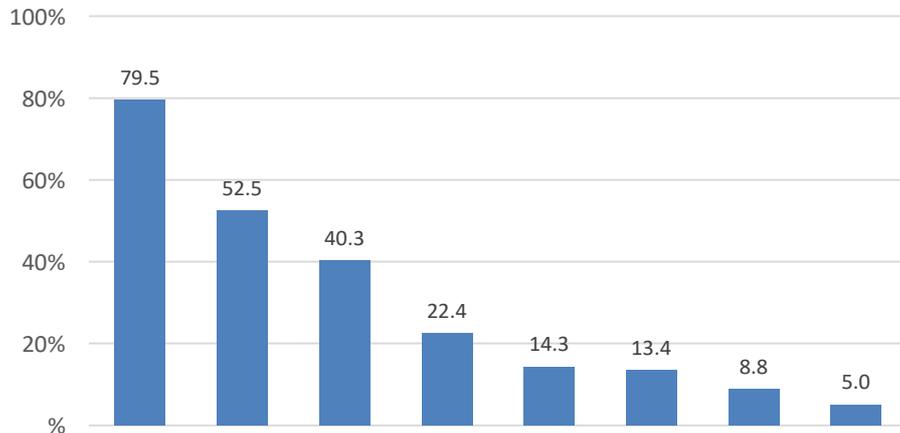


問19 問17で「1. はい」と回答した方にお聞きます。あなたがスポーツ・運動（散歩、体操を含む）をする主な理由は何ですか。

**スポーツ・運動をする理由は健康維持・体力増進のためが最も多い**

スポーツ・運動をする理由をみると、「健康維持・体力増進のため」が79.5%と最も多く、次いで「楽しみやストレス解消・気分転換のため」が52.5%、「運動不足を感じるから」が40.3%となっている。

図28 スポーツ・運動をする理由（MA）



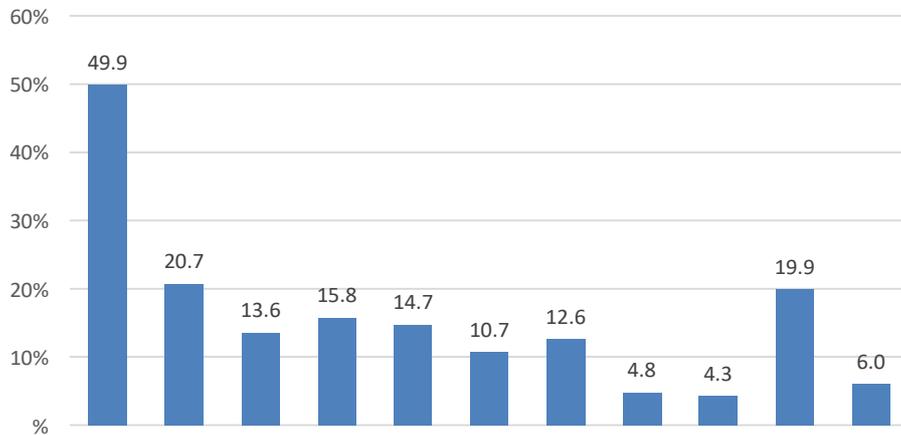
		健康維持・体力増進のため	楽しみやストレス解消・気分転換のため	運動不足を感じるから	美容や肥満解消のため	家族の触れ合いや友人・仲間との親睦のため	心身の鍛錬や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	その他
全体 N=419		79.5	52.5	40.3	22.4	14.3	13.4	8.8	5.0
年度別	R6年 N=417	78.7	54.2	41.7	18.5	14.1	10.1	5.8	3.4
	R5年 N=550	78.0	49.8	47.3	23.6	14.7	8.4	4.4	4.4
	R4年 N=560	80.5	54.5	46.6	22.0	10.7	7.0	4.3	4.3
	R3年 N=603	76.9	51.5	47.3	22.1	15.0	9.6	5.1	3.7
	R2年 N=636	74.2	51.1	51.1	19.7	13.1	7.7	4.9	3.6
年齢別	18～19歳 N=11	45.5	63.6	18.2	27.3	27.3	27.3	0.0	0.0
	20～29歳 N=42	69.0	42.9	31.0	35.7	4.8	14.3	11.9	11.9
	30～39歳 N=40	65.0	45.0	22.5	22.5	12.5	15.0	12.5	5.0
	40～49歳 N=46	76.1	50.0	37.0	28.3	15.2	19.6	15.2	4.3
	50～59歳 N=77	81.8	63.6	32.5	31.2	7.8	20.8	14.3	2.6
	60～64歳 N=40	80.0	52.5	40.0	27.5	20.0	2.5	5.0	7.5
	65～69歳 N=72	86.1	55.6	54.2	20.8	12.5	6.9	5.6	8.3
70歳以上 N=90	88.9	48.9	53.3	4.4	22.2	11.1	3.3	1.1	
地域別	城端地域 N=66	83.3	56.1	47.0	28.8	16.7	13.6	4.5	1.5
	平地域 N=9	77.8	66.7	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0
	上平地域 N=4	75.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	利賀地域 N=4	75.0	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	井波地域 N=76	80.3	44.7	43.4	28.9	11.8	13.2	7.9	3.9
	井口地域 N=11	90.9	63.6	36.4	9.1	18.2	27.3	18.2	0.0
	福野地域 N=101	80.2	50.5	43.6	21.8	14.9	14.9	6.9	8.9
	福光地域 N=144	76.4	53.5	35.4	20.1	12.5	11.1	11.8	4.9

問20 問17で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。あなたがスポーツ・運動（散歩、体操を含む）をしない理由は何ですか。

仕事が忙しくて時間が取れないが最も多くなっている。

スポーツ・運動をしない理由をみると、「仕事が忙しく時間がとれないから」が49.9%と最も多く、次いで「運動が好きではない、または、苦手だから」が20.7%、「特に理由はない」が19.9%となっている。

図29 スポーツ・運動をしない理由（MA）



		仕事が忙しく時間がとれないから	運動が好きではない、または、苦手だから	他にやりたいことがあるから	年をとって体力に自信がないから	お金がかかるから	仲間がいないから	身近に場所や施設がないから	体が弱いから	指導者がいないから	特に理由はない	その他
全体 N=728		49.9	20.7	13.6	15.8	14.7	10.7	12.6	4.8	4.3	19.9	6.0
年度別	R6年 N=806	48.8	18.5	11.9	15.6	13.9	10.3	11.8	6.1	4.2	20.7	6.5
	R5年 N=706	48.7	15.4	12.2	13.6	11.2	7.2	9.5	4.4	2.3	25.1	7.8
	R4年 N=697	49.6	19.5	14.5	14.2	12.8	9.8	9.2	7.2	2.4	25.4	5.2
	R3年 N=740	46.6	20.4	14.9	17.2	10.5	9.1	8.6	6.5	3.1	24.5	7.0
	R2年 N=783	45.6	20.7	17.5	11.5	10.6	10.7	7.9	5.5	2.9	26.8	5.9
年齢別	18～19歳 N=9	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1
	20～29歳 N=46	50.0	21.7	30.4	0.0	13.0	17.4	21.7	2.2	2.2	15.2	8.7
	30～39歳 N=84	78.6	29.8	19.0	1.2	23.8	9.5	16.7	3.6	4.8	4.8	6.0
	40～49歳 N=109	67.9	24.8	9.2	11.9	24.8	13.8	19.3	2.8	9.2	9.2	1.8
	50～59歳 N=142	50.7	16.9	10.6	9.2	21.1	11.3	13.4	4.2	2.1	21.8	9.2
	60～64歳 N=98	46.9	15.3	9.2	11.2	13.3	9.2	13.3	5.1	8.2	22.4	7.1
	65～69歳 N=113	36.3	20.4	15.0	26.5	4.4	10.6	8.0	8.0	2.7	25.7	6.2
70歳以上 N=124	29.8	17.7	12.9	37.1	4.8	7.3	4.8	6.5	1.6	30.6	4.0	
地域別	城端地域 N=113	52.2	19.5	7.1	16.8	12.4	6.2	15.9	5.3	4.4	23.0	8.0
	平地域 N=13	46.2	0.0	0.0	30.8	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	38.5	7.7
	上平地域 N=14	64.3	21.4	7.1	21.4	14.3	7.1	28.6	7.1	14.3	21.4	0.0
	利賀地域 N=2	100.0	50.0	0.0	###	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=97	48.5	22.7	19.6	14.4	11.3	10.3	9.3	3.1	5.2	17.5	9.3
	井口地域 N=14	64.3	28.6	21.4	7.1	21.4	35.7	21.4	0.0	14.3	7.1	0.0
	福野地域 N=212	50.5	20.3	12.3	15.6	19.3	10.4	10.8	4.7	3.3	20.8	5.7
	福光地域 N=259	47.1	21.2	16.2	15.1	13.5	12.0	12.7	5.4	3.9	18.9	5.0

問21 あなたは、1日にどのくらい歩いていますか。

**全体の約2割はほとんど歩いていない**

1日に歩く程度をみると、「2,000歩未満」が21.7%と最も多く「9,000歩程度」が2.2%と最も少なくなっている。年齢別にみると、20～39歳で「2,000歩未満」の割合が他の年齢と比べて低くなっている。

図30 1日にどのくらい歩くか N=1,131

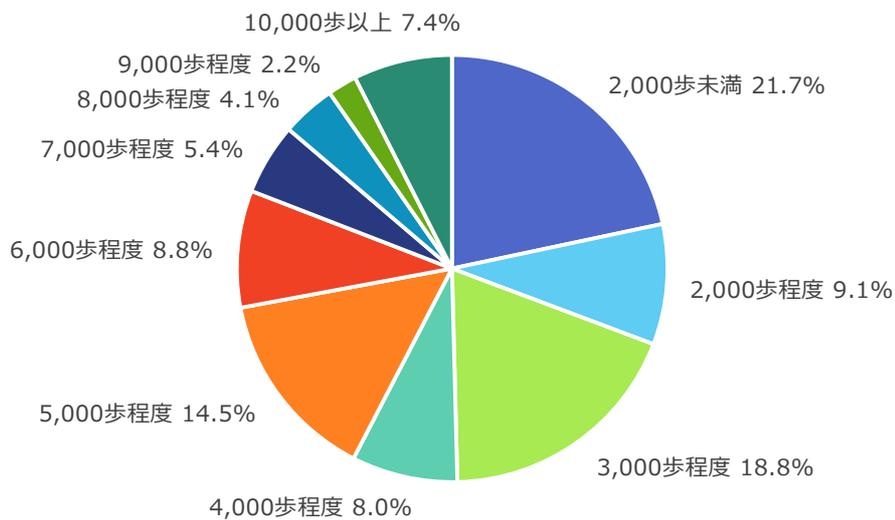
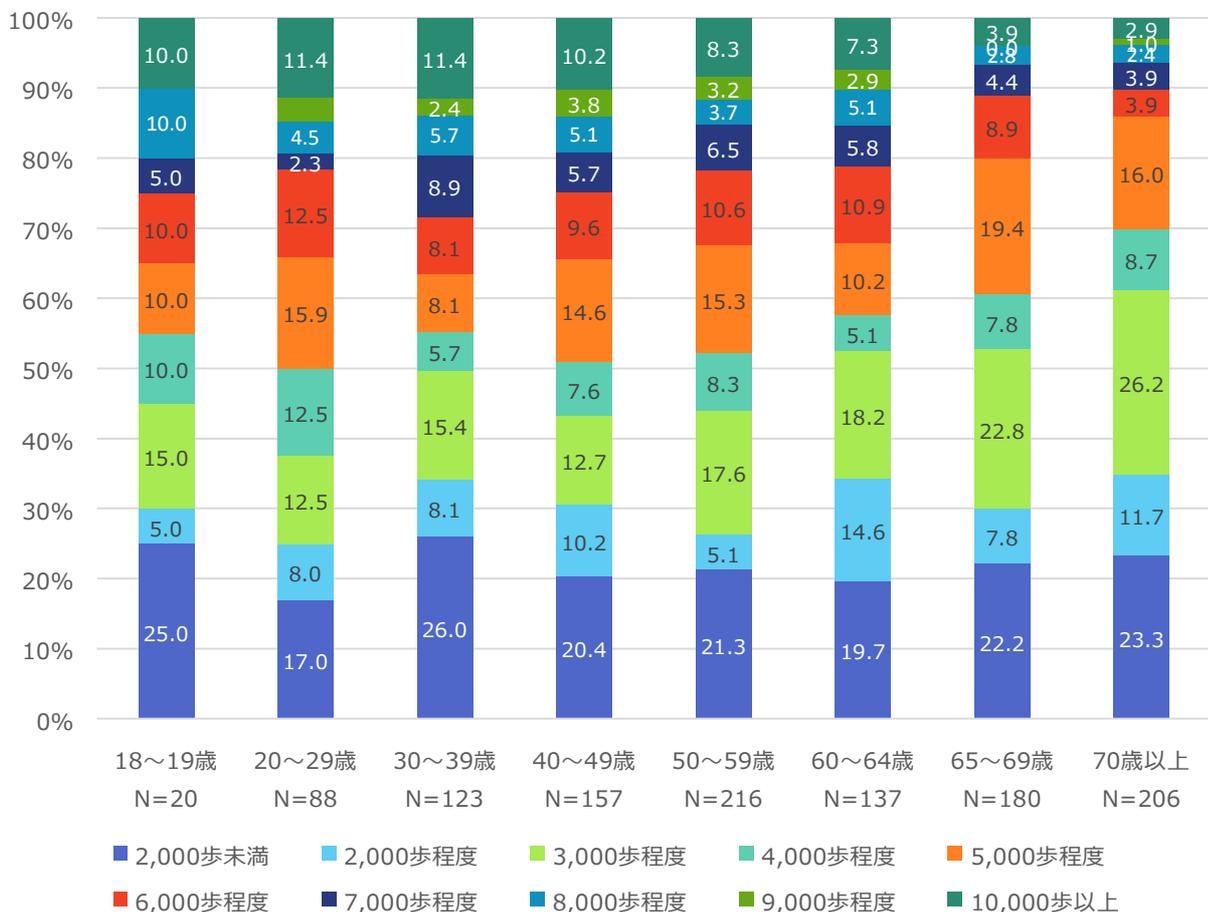


図31 年齢別 1日にどのくらい歩くか



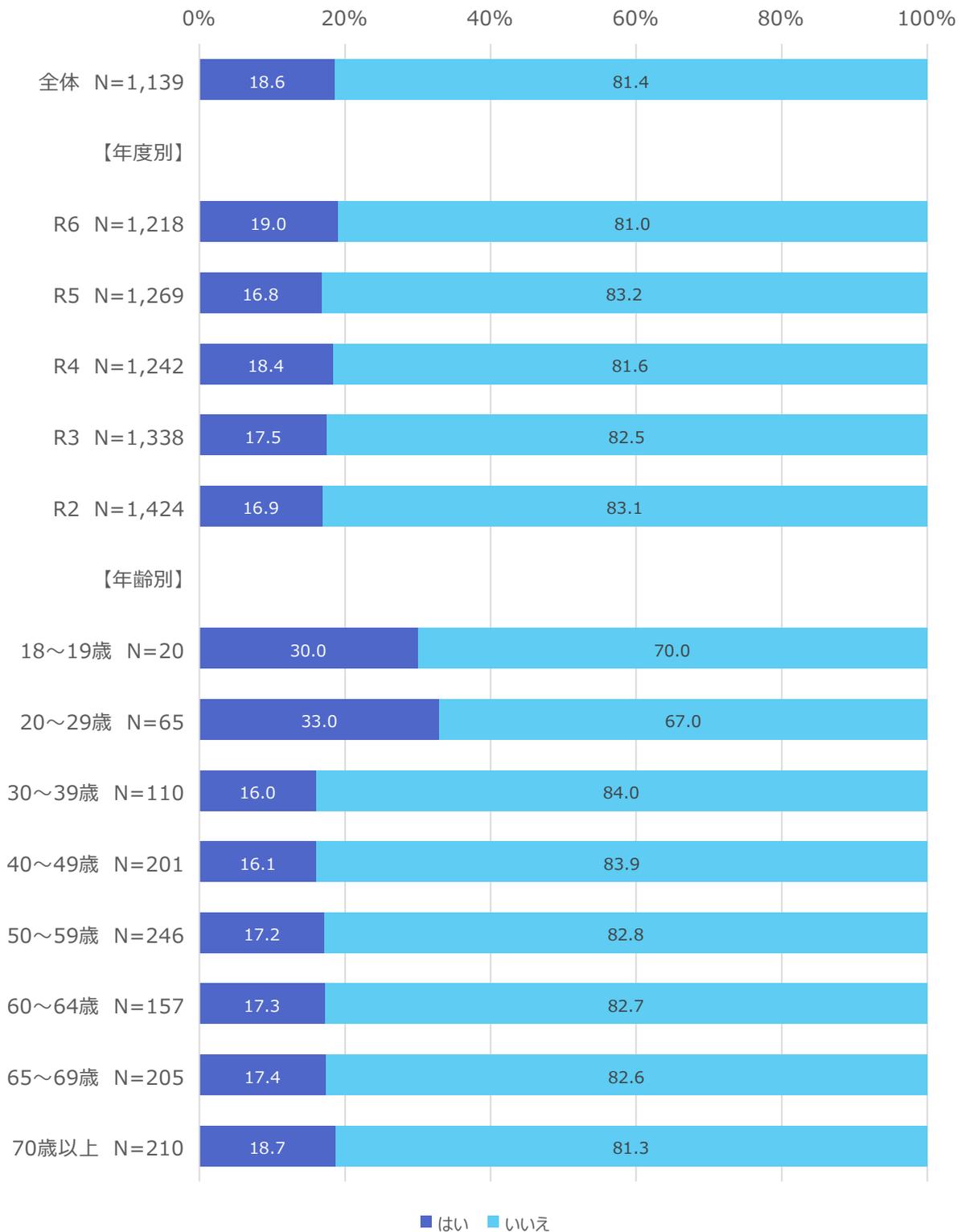
問22 あなたは、積極的に文化活動（音楽、踊り、文芸、写真など）を行っていますか。

**積極的に文化活動を行っているのは全体の2割に満たない。**

文化活動の取組状況をみると、「はい（行っている）」が18.6%、「いいえ（行っていない）」が81.4%となっている。

年齢別にみると、母体数の少ない19歳以下を除くと、20～29歳は「はい（行っている）」が33.0%と最も多い。

図32 文化活動の取り組み状況



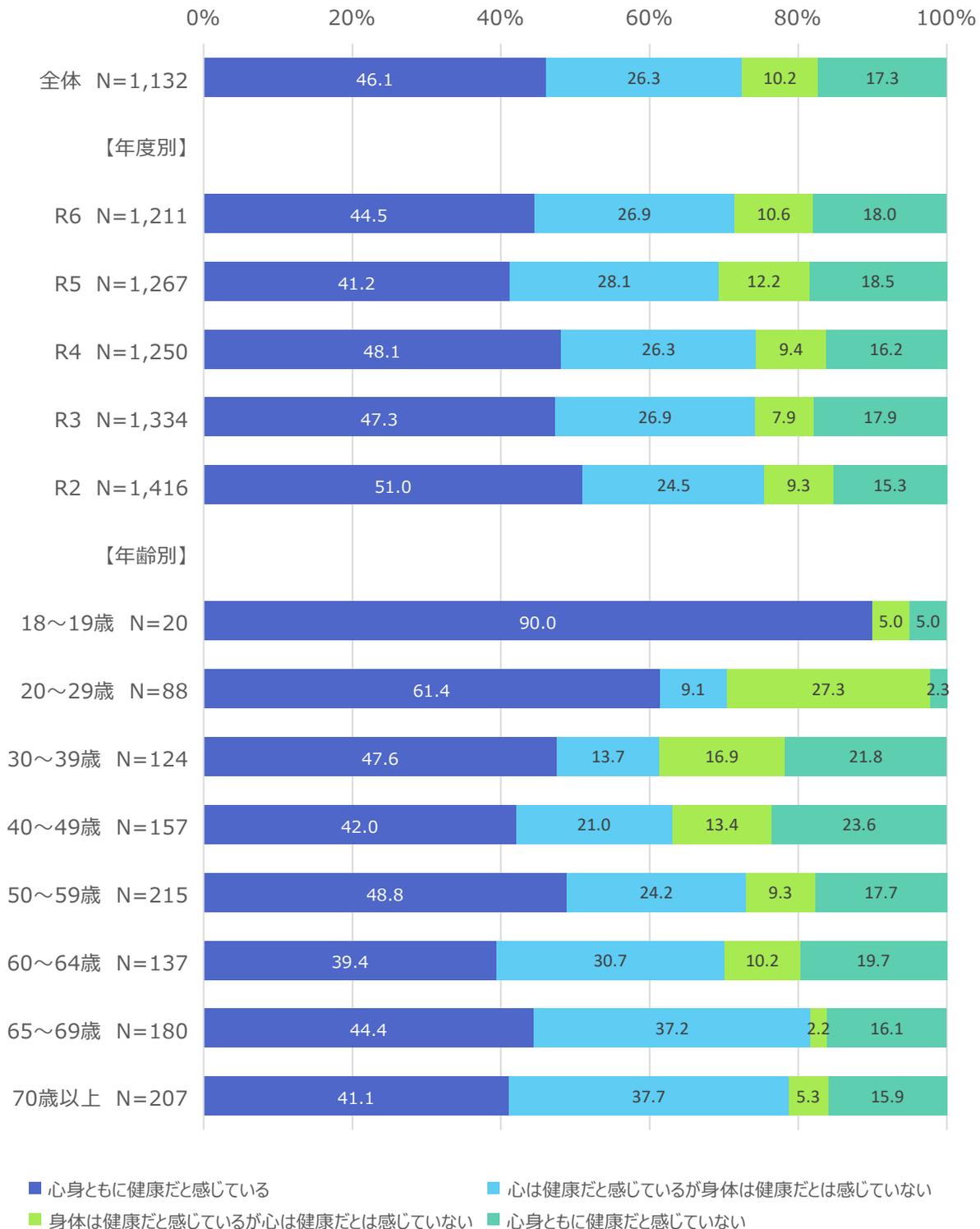
問23 あなたは、心身ともに健康ですか。

**全体の約5割は心身ともに健康だと感じている。**

心身ともに健康かについてみると、「心身ともに健康だと感じている」が46.1%、「心は健康だと感じているが身体は健康だとは感じていない」が26.3%、「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」が10.2%、「心身ともに健康だと感じていない」が17.3%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「心は健康だと感じているが身体は健康だとは感じていない」が多くなる傾向にある。

図33 心身ともに健康か

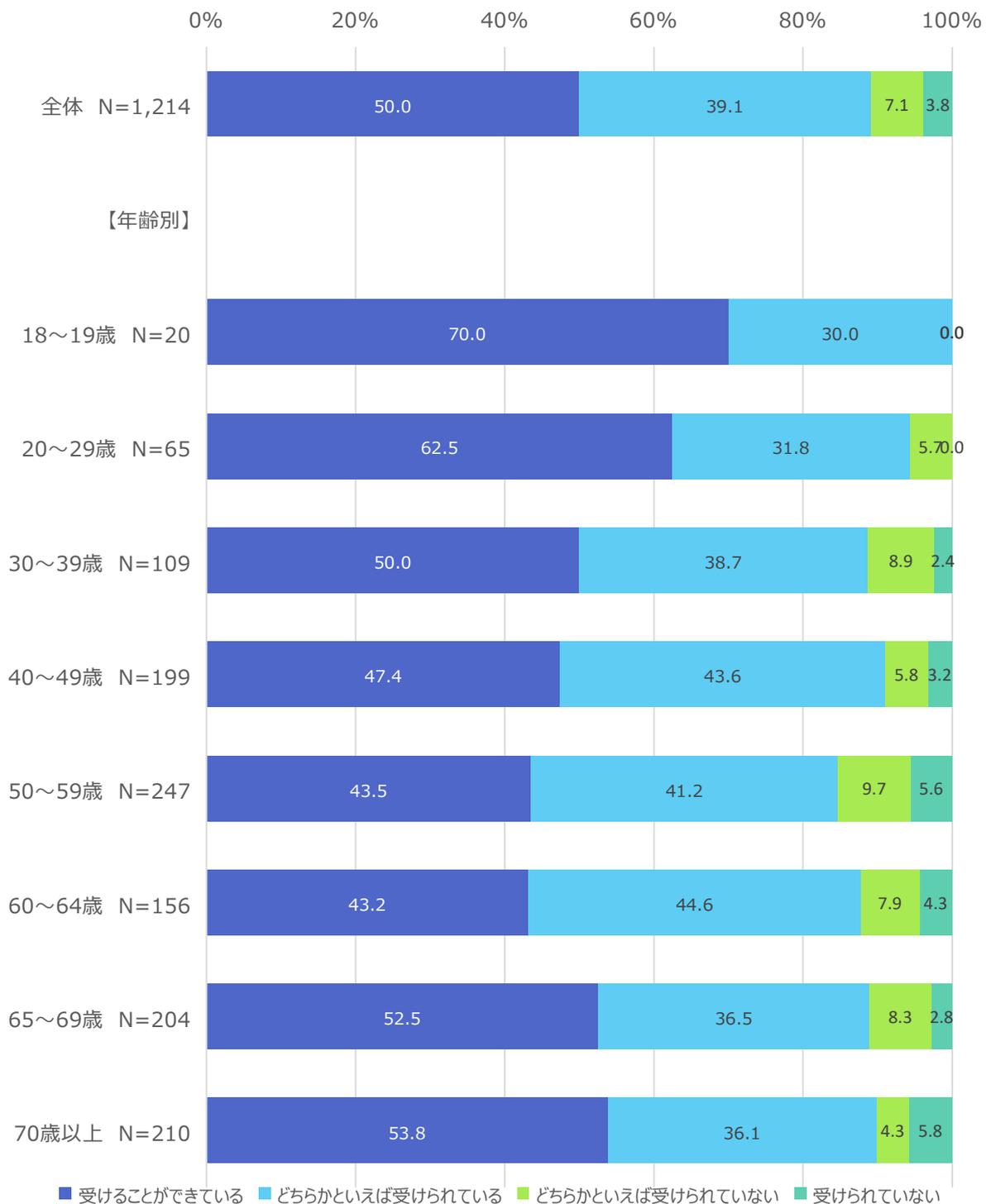


問24 あなたは、必要な医療・福祉サービスの提供を受けることができますか。

全体の約9割は必要な医療・福祉サービスの提供を受けることができる。

必要な医療・福祉サービスの提供状況を見ると、「受けることができる」が50.0%、「どちらかといえば受けられている」が39.1%となっており、「受けられていない割合（「受けられていない」+「どちらかといえば受けられていない」）」は10.9%となっている。

図34 医療・福祉の状況

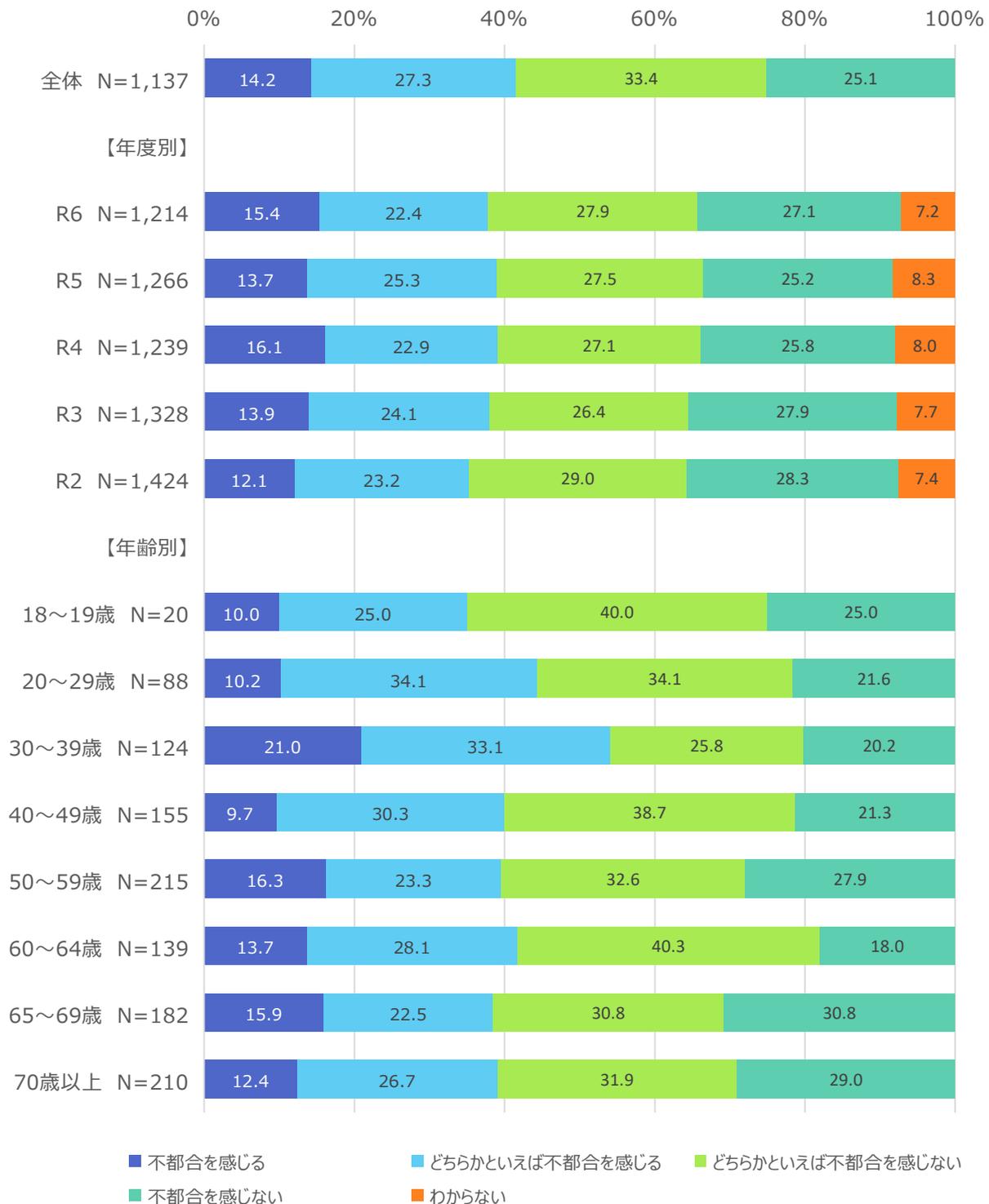


問25 あなたの身近な生活道路（市道等）を通行する際に不都合を感じますか。

全体の約4割は生活道路に不都合を感じている。

生活道路の状況を見ると、「不都合を感じる」が14.2%、「どちらかといえば不都合を感じる」が27.3%となっており、「不都合を感じている割合（「不都合を感じる」+「どちらかといえば不都合を感じる）」は41.5%となっている。

図35 生活道路の状況



※R7年から「わからない」の選択肢を削除しています。

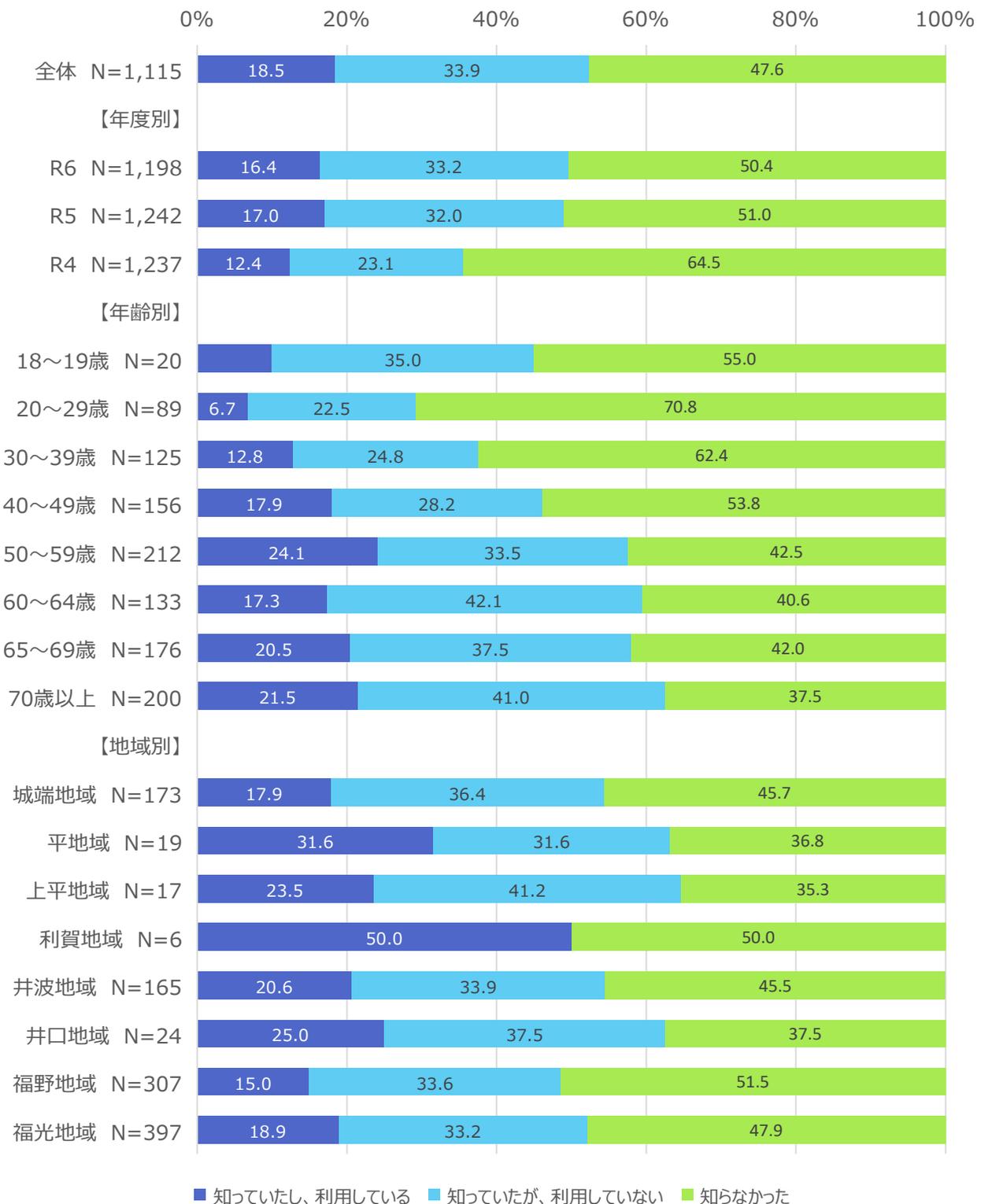
問26 あなたは、気象警報、避難情報やクマの出没情報などの防災情報や緊急情報を南砺市がメールやアプリで配信している以下のサービスを知っていましたか。

全体の約5割は『なんと！緊急メールサービス』を知らない。

『なんと！緊急メールサービス』の認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が18.5%、「知っていたが、利用していない」が33.9%、「知らなかった」が47.6%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「知っていた」が多い傾向にある。地域別に見ると、地域によって差が生じている。

図36 なんと！緊急メールサービスの認知状況

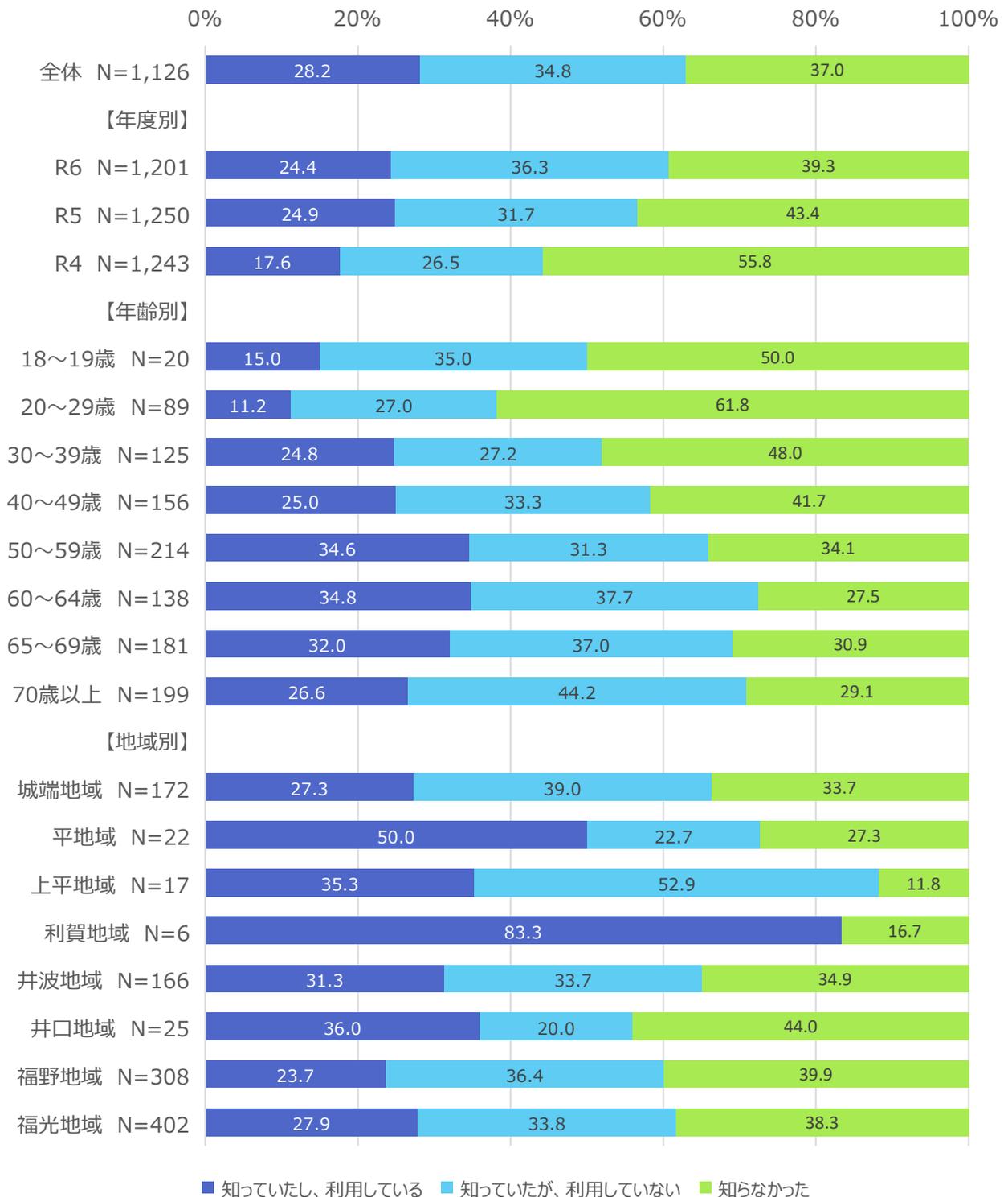


**全体の約4割は『南砺市防災アプリ』を知らない。**

『南砺市防災アプリ』の認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が28.2%、「知っていたが、利用していない」が34.8%、「知らなかった」が37.0%となっている。

地域別にみると、「知っていた割合（「知っていたし、利用している」+「知っていたが、利用していない）」は上平地域が88.2%と最も多く、次いで利賀地域が83.0%となっている。

図37 南砺市防災アプリの認知状況



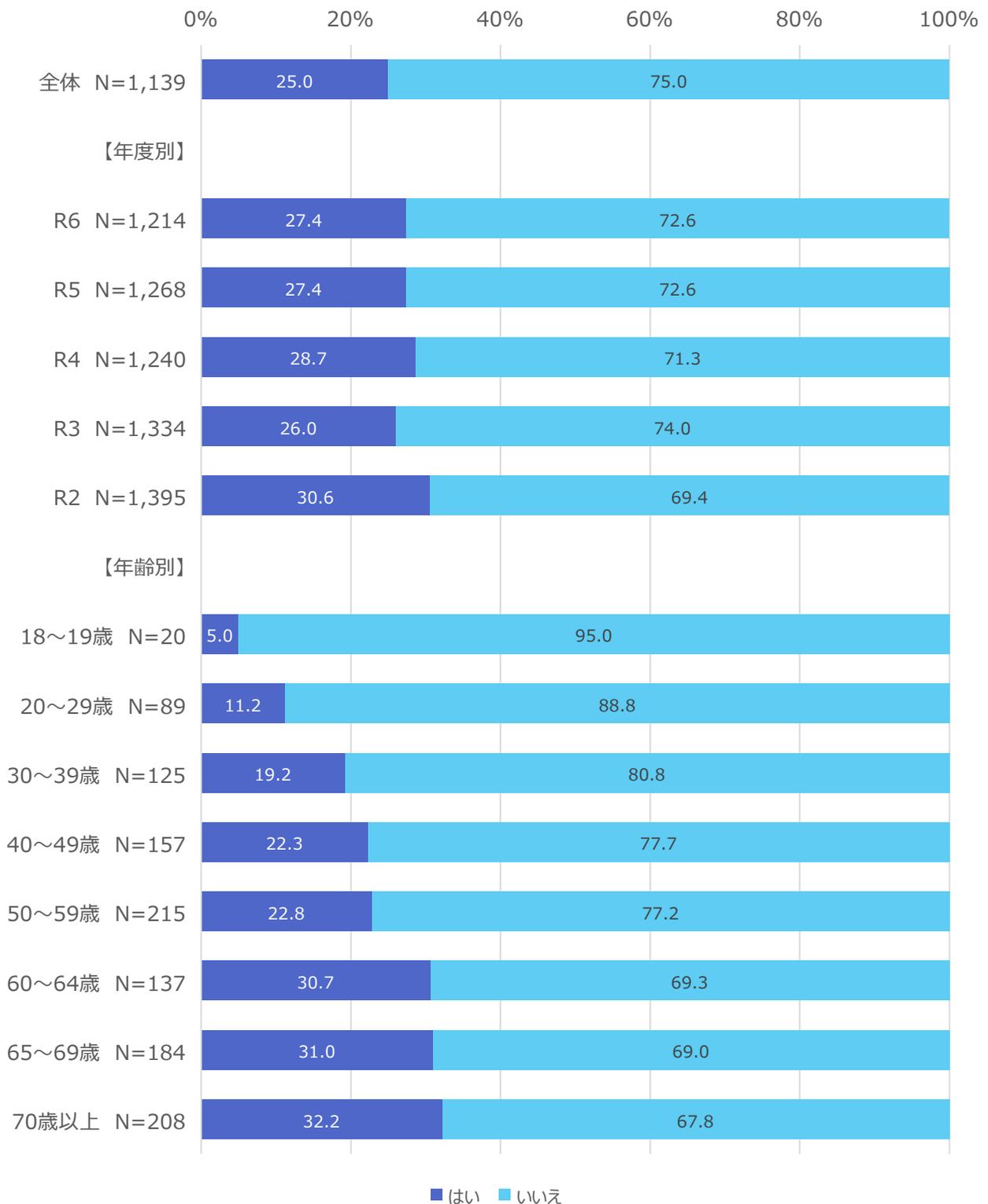
問27 あなたは、過去1年間に交通安全の活動や行事に参加しましたか。

**全体の3割は過去1年間に交通安全の活動や行事に参加している。**

過去1年間の交通安全の活動や行事への参加状況を見ると、「はい（参加した）」が25.0%、「いいえ（参加していない）」が75.0%となっている。

年齢別にみると、70歳以上が「はい（参加した）」が32.2%と最も多く、年齢が若くなるにつれ減少する傾向にある。

図38 交通安全の活動や行事への参加状況



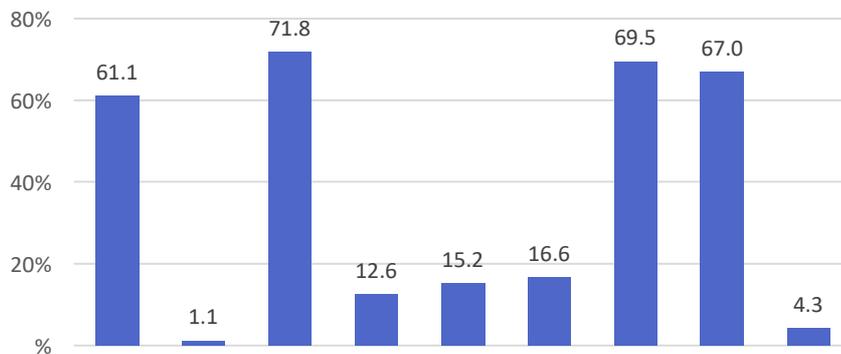
問28 あなたは、日常生活の中で犯罪に遭わないようにどのような取り組みをしていますか。

全体の約7割は「住居の戸締り」に取り組んでいる。

日常生活の中で防犯への取組状況をみると、「住居の戸締り」が71.8%と最も多く、次いで「ネット犯罪対策」が69.5%、「悪質商法対策」が67.0%となっている。

年齢別にみると、「悪質商法対策」は年代が高いほど多く取り組んでいる傾向にある。

図39 防犯への取り組み状況 (MA)



			自動車に関する防犯対策	防犯対策グッズの携帯	住居の戸締り	空き巣対策設備の設置	自転車に関する防犯対策	犯罪情報の入手	ネット犯罪対策	悪質商法対策	特に何も行っていない
全体 N=1,148			61.1	1.1	71.8	12.6	15.2	16.6	69.5	67.0	4.3
年度別	R6年	N=1,222	63.5	0.8	69.2	10.5	15.1	13.7	63.7	62.8	6.1
	R5年	N=1,272	63.7	0.8	71.9	8.6	15.7	10.8	60.6	63.2	5.7
	R4年	N=1,258	66.4	1.0	71.5	13.0	18.9	10.7	57.6	64.4	5.8
	R3年	N=1,348	72.9	10.9	77.2	20.7	27.7	19.2	58.0	69.4	16.2
	R2年	N=1,433	70.1	3.0	69.5	15.1	20.2	16.2	57.2	68.7	5.4
年齢別	18～19歳	N=20	25.0	0.0	55.0	5.0	55.0	15.0	55.0	35.0	10.0
	20～29歳	N=89	51.7	2.2	70.8	5.6	20.2	7.9	66.3	44.9	6.7
	30～39歳	N=124	53.2	1.6	71.8	8.1	12.9	14.5	73.4	54.8	5.6
	40～49歳	N=157	59.2	2.5	69.4	12.7	21.7	13.4	70.1	66.9	3.8
	50～59歳	N=217	63.6	0.9	69.1	16.1	12.9	15.7	74.2	64.5	3.7
	60～64歳	N=140	67.1	0.7	70.7	17.1	11.4	20.0	75.0	70.7	2.9
	65～69歳	N=185	64.9	0.0	75.7	14.1	10.8	16.8	70.8	76.8	3.2
70歳以上	N=212	64.6	0.9	75.9	10.8	14.6	23.1	60.8	78.3	4.2	
地域別	城端地域	N=178	60.1	1.1	74.2	13.5	10.1	17.4	69.7	69.1	0.0
	平地域	N=22	68.2	0.0	50.0	13.6	13.6	18.2	68.2	68.2	0.0
	上平地域	N=18	66.7	0.0	55.6	16.7	5.6	5.6	77.8	72.2	0.0
	利賀地域	N=6	66.7	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	100.0	100.0	0.0
	井波地域	N=171	63.2	0.0	72.5	8.8	15.2	15.8	65.5	70.2	0.0
	井口地域	N=24	62.5	0.0	54.2	12.5	16.7	12.5	83.3	45.8	0.0
	福野地域	N=314	58.6	1.0	75.5	11.5	19.1	19.4	70.1	67.5	0.0
	福光地域	N=407	61.7	2.0	71.3	14.7	15.2	15.5	70.0	64.6	0.0

※図中の回答項目は、調査票の表現を要約し記載しています。

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

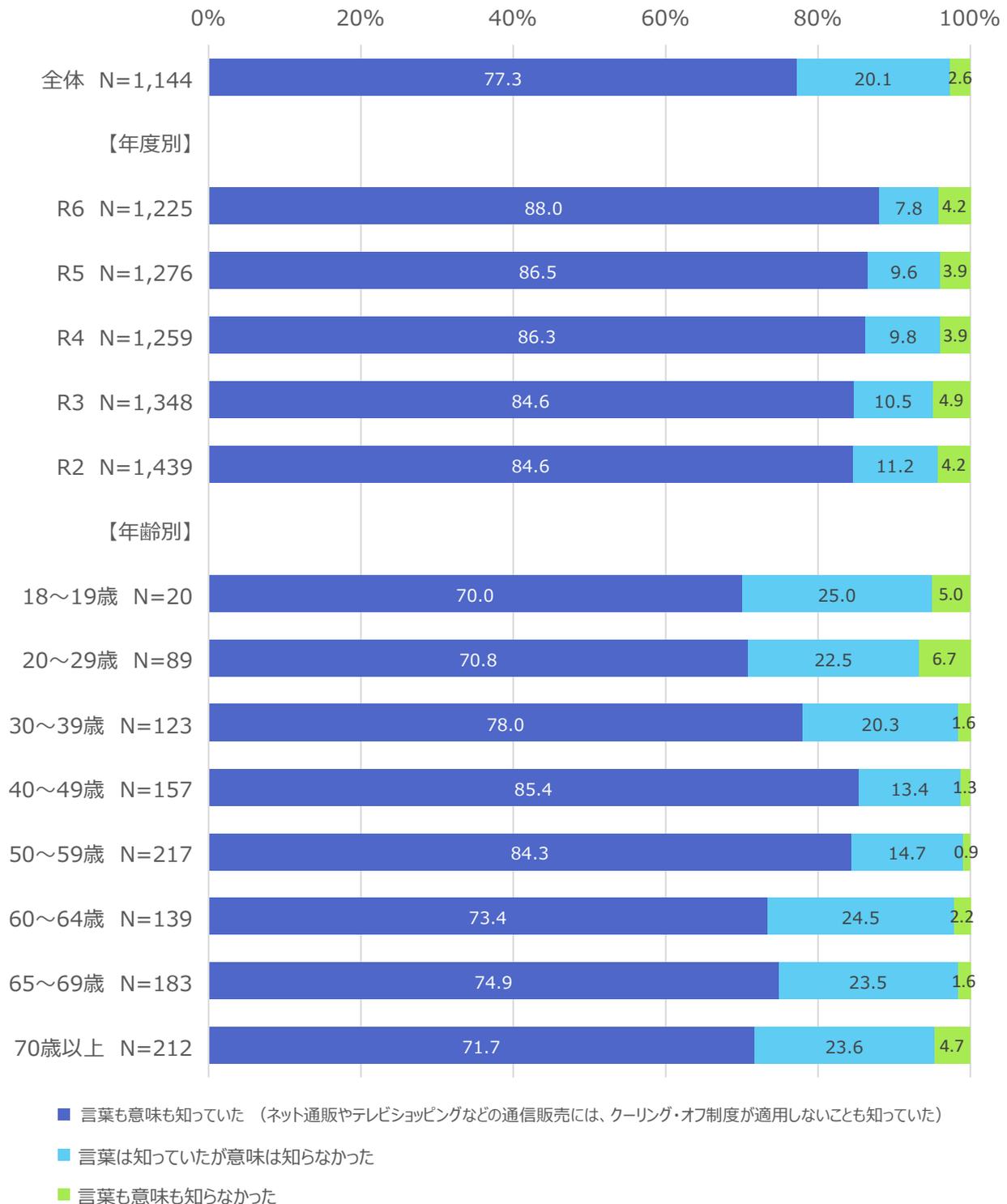
問29 クーリング・オフ制度とは、訪問販売など特定の取引について、いったん契約した場合でも、一定期間は消費者からの一方的な契約解除を認める制度です。あなたは、この制度のことを知っていましたか。

全体の約8割はクーリング・オフの言葉も意味も認知している。

クーリング・オフ制度の認知状況をみると、「言葉も意味も知っていた」が77.3%と最も多く、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が20.1%、「言葉も意味も知らなかった」が2.6%となっている。

年度別にみると、どの年代もクーリング・オフ制度の認知度は高い。

図40 クーリング・オフ制度の認知状況



※R7年から選択肢の（ ）書きを追加しています。

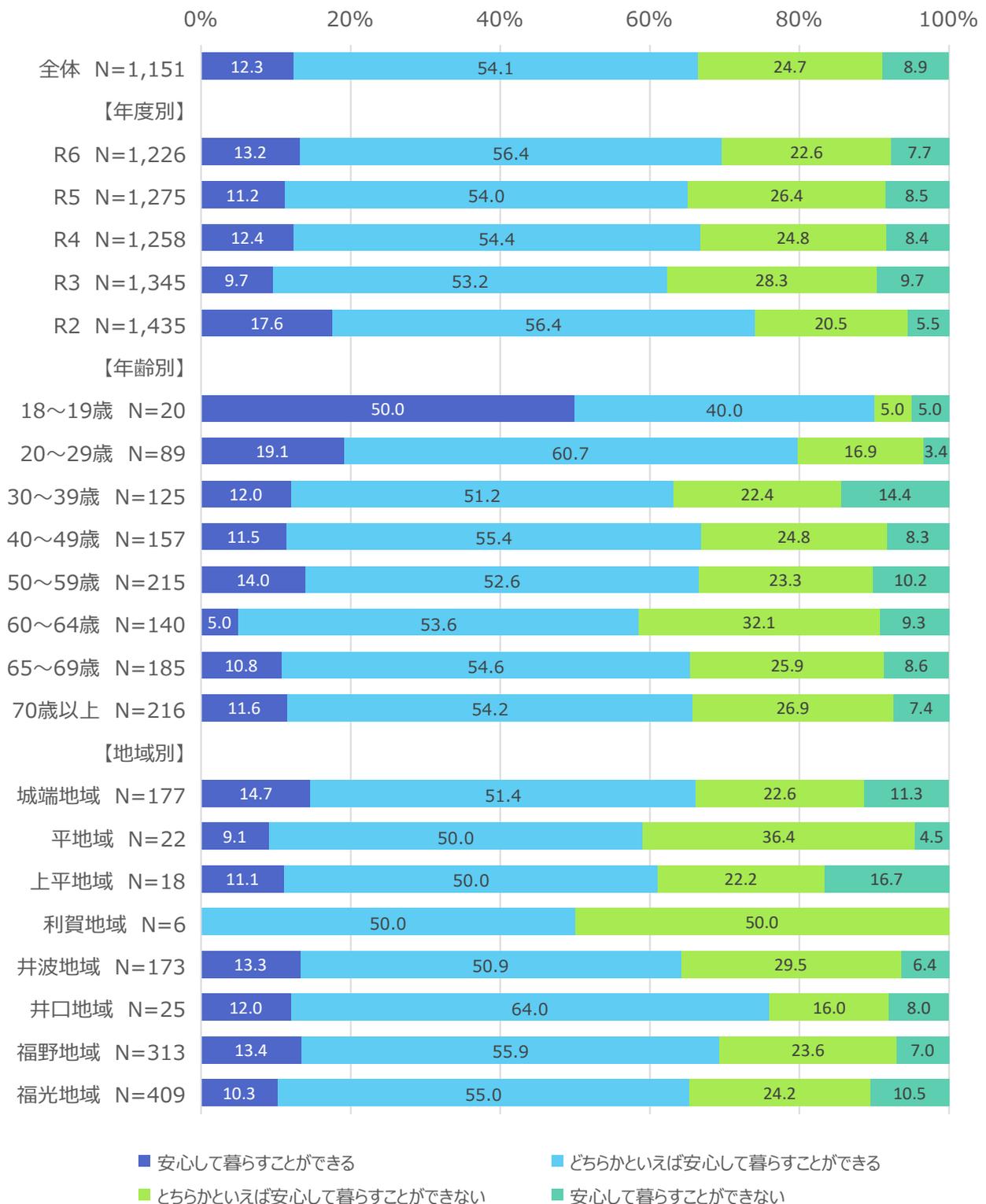
問30 あなたは、冬期に安心して暮らすことができますと感じますか。

全体の約7割は冬期に安心して暮らすことができている。

冬期の暮らしをみると、「安心して暮らすことができる」が12.3%、「どちらかといえば安心して暮らすことができる」が54.1%となっている。

地域別にみると、利賀地域は「安心して暮らすことができない割合（「どちらかといえば安心して暮らすことができない」+「安心して暮らすことができない」）が50.0%と最も高くなっている。

図41 冬期の暮らし



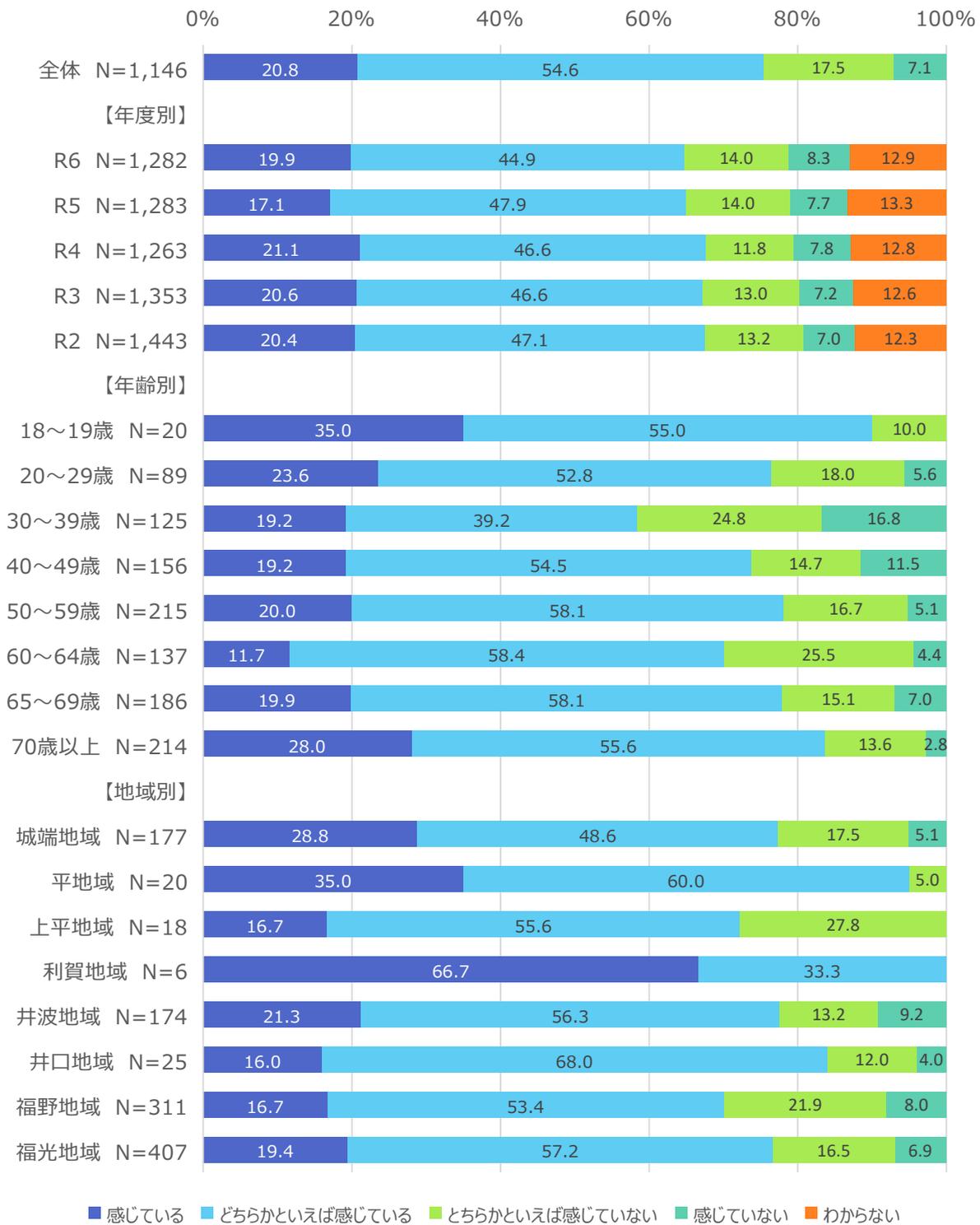
問31 あなたは、南砺市への「誇り」や「愛着」を感じていますか。

**全体の約8割は南砺市への「誇り」や「愛着」を感じている。**

南砺市への「誇り」や「愛着」を感じているかをみると、「感じている」が20.8%、「どちらかといえば感じている」が54.6%、「どちらかといえば感じていない」が17.5%、「感じていない」が7.1%などとなっている。

地域別でみると、平地域が「感じている割合（「感じている」+「どちらかといえば感じている）」が100%と最も多くなっている。

図42 南砺市への「誇り」や「愛着」



※R7年から「わからない」の選択肢を削除しています。

問32 問31で「1. 感じている」、「2. どちらかといえば感じている」と回答した方にお聞きます。

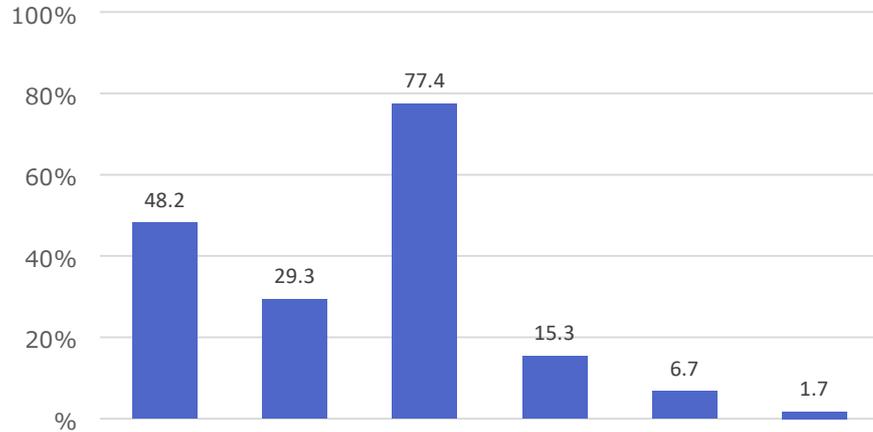
そう思う理由は何ですか。

「誇り」や「愛着」を感じている理由は「慣れ親しんだ環境があり、安心できる」が最も多い。

南砺市への「誇り」や「愛着」を感じている理由をみると、「慣れ親しんだ環境があり、安心できる」が77.4%と最も多く、次いで「南砺市や住んでいる地域が好きである」が48.2%となっている。

年齢別にみると、「慣れ親しんだ環境があり、安心できる」の割合はどの年齢でも高い傾向にある。

図43 「誇り」や「愛着」を感じている理由 (MA)



		南砺市や住んでいる地域が好きである	暮らしていて満足している	慣れ親しんだ環境があり、安心できる	いつまでも変わってほしくない	地域を紹介したり、勧めたい	その他
全体 N=869		48.2	29.3	77.4	15.3	6.7	1.7
年齢別	18～19歳 N=18	38.9	22.2	94.4	27.8	0.0	0.0
	20～29歳 N=68	44.1	23.5	77.9	14.7	4.4	0.0
	30～39歳 N=76	52.6	26.3	71.1	14.5	3.9	1.3
	40～49歳 N=116	52.6	26.7	68.1	4.3	6.0	3.4
	50～59歳 N=166	41.6	35.5	72.9	14.5	4.8	2.4
	60～64歳 N=98	40.8	24.5	77.6	11.2	7.1	1.0
	65～69歳 N=142	54.2	28.9	81.0	18.3	9.9	2.1
	70歳以上 N=183	51.9	32.8	85.2	22.4	8.7	1.1
地域別	城端地域 N=138	63.0	26.8	75.4	18.1	8.7	0.7
	平地地域 N=21	57.1	14.3	52.4	9.5	0.0	4.8
	上平地地域 N=14	64.3	7.1	92.9	7.1	7.1	0.0
	利賀地域 N=6	83.3	50.0	66.7	33.3	16.7	0.0
	井波地域 N=135	48.9	28.9	78.5	19.3	5.9	5.2
	井口地域 N=20	45.0	25.0	75.0	15.0	0.0	0.0
	福野地域 N=219	45.2	31.1	77.6	17.4	6.8	1.8
	福光地域 N=313	42.2	31.3	78.9	11.2	6.7	0.6

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

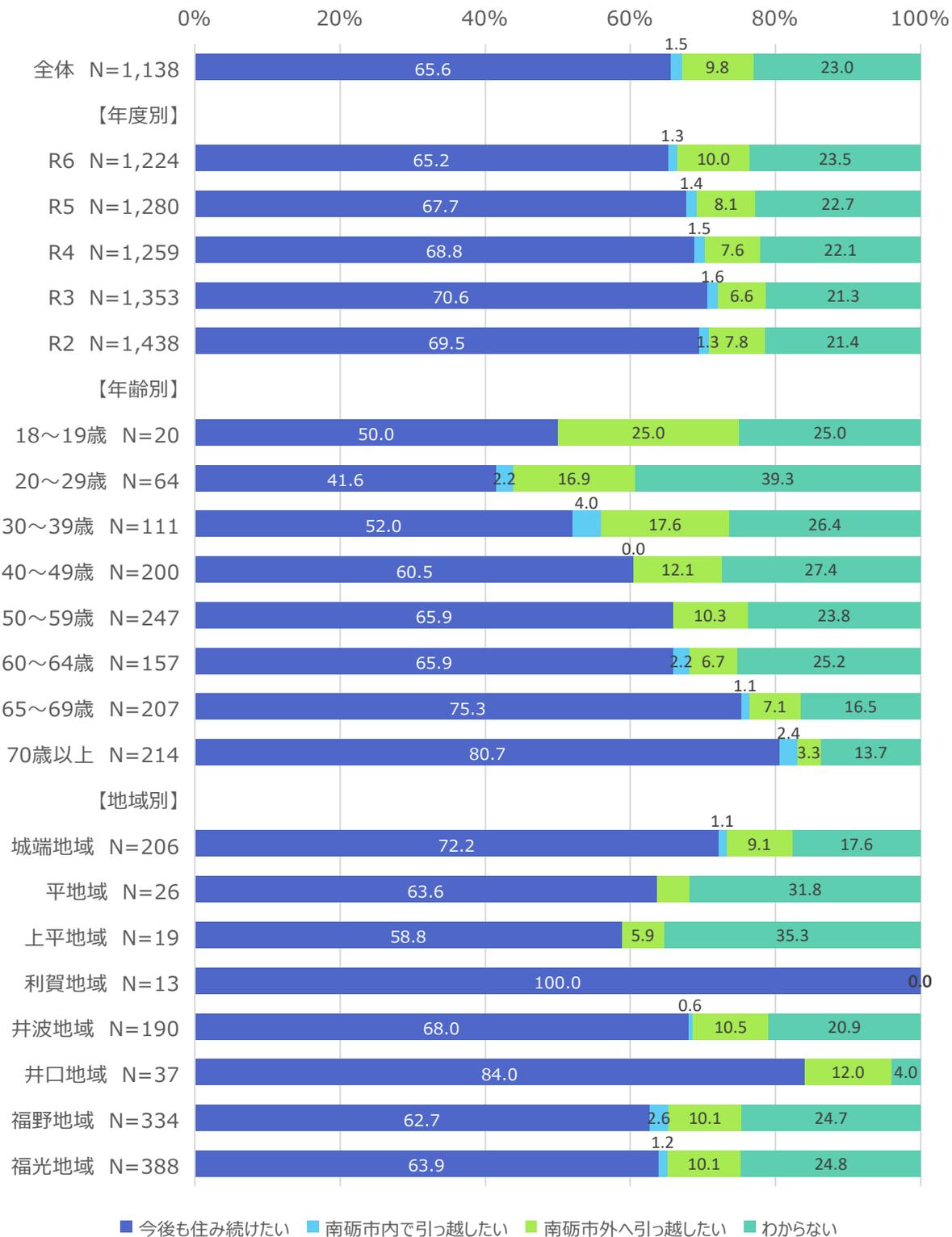
問33 あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

全体の約7割は、今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思っている。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいかをみると、「今後も住み続けたい」が65.6%、「南砺市内で引越したい」が1.5%、「南砺市外へ引越したい」が9.8%、「わからない」が23.0%となっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「今後も住み続けたい」が多い傾向にあり、70歳以上が80.7%で最も多い。一方で20～29歳は「わからない」が多い傾向にある。

図44 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいか



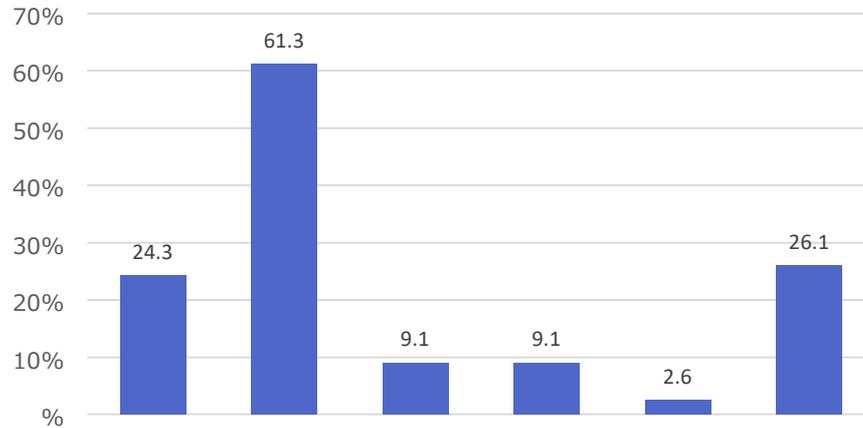
問34 問33で「1. 今後も住み続けたい」と回答した方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。

現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由は「自然が豊かだから」が最も多い。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由をみると、「自然が豊かだから」が61.3%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利な立地だから」が24.3%、「子育て支援が充実しているから」、「高齢者支援が充実しているから」が9.1%となっている。

年齢別にみると、30～49歳で「子育て支援が充実しているから」の割合が他の年齢と比べて高くなっている。

図45 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由（MA）



		通勤・通学に便利な立地だから	自然が豊かだから	子育て支援が充実しているから	高齢者支援が充実しているから	教育が充実しているから	その他
全体 N=737		24.3	61.3	9.1	9.1	2.6	26.1
年度別	R6年 N=794	27.0	60.7	6.2	9.3	2.6	30.1
	R5年 N=852	22.4	60.8	8.5	9.0	2.1	31.7
	R4年 N=859	20.3	62.6	9.1	10.8	2.9	29.2
	R3年 N=940	22.1	61.1	7.6	12.9	2.9	30.3
	R2年 N=998	25.7	60.5	10.9	11.4	3.3	26.1
年齢別	18～19歳 N=10	20.0	60.0	10.0	0.0	20.0	50.0
	20～29歳 N=37	37.8	51.4	8.1	0.0	0.0	27.0
	30～39歳 N=66	39.4	45.5	25.8	0.0	3.0	27.3
	40～49歳 N=94	35.1	67.0	23.4	2.1	2.1	19.1
	50～59歳 N=138	31.9	52.2	8.0	7.2	2.9	34.1
	60～64歳 N=92	22.8	53.3	1.1	8.7	1.1	26.1
	65～69歳 N=132	15.2	63.6	4.5	12.1	3.0	28.8
	70歳以上 N=166	11.4	77.7	3.6	18.7	2.4	18.1
地域別	城端地域 N=126	18.3	74.6	6.3	9.5	1.6	21.4
	平地域 N=13	0.0	53.8	0.0	0.0	0.0	46.2
	上平地域 N=11	0.0	72.7	0.0	18.2	0.0	27.3
	利賀地域 N=6	0.0	83.3	0.0	33.3	0.0	33.3
	井波地域 N=114	19.3	61.4	11.4	11.4	2.6	28.1
	井口地域 N=21	33.3	81.0	9.5	9.5	14.3	9.5
	福野地域 N=190	31.1	49.5	15.3	7.4	3.2	27.4
	福光地域 N=254	26.4	61.8	5.9	8.3	2.0	26.8

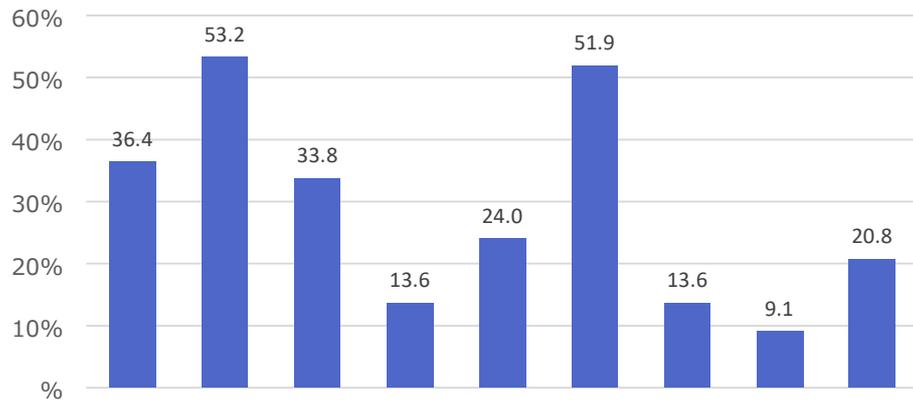
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問35 問33で「2. 南砺市内で引っ越したい」、「3. 南砺市外へ引っ越したい」と回答した方にお聞きします。  
 そう思う理由は何ですか。

**現在の住まいから引っ越したい理由の約5割は「買い物など日常生活が不便だから」**

現在の住まいから引っ越したいと思う理由をみると、「買い物など日常生活が不便だから」が53.2%、次いで「公共交通が不便だから」が51.9%、「通勤・通学が不便だから」が36.4%、「医療機関が充実していないから」33.8%となっている。

図46 現在の住まいから引っ越したいと思う理由 (MA)



		通勤・通学が不便だから	買い物など日常生活が不便だから	医療機関が充実していないから	教育機関がよくないから	近所づきあいなど土地柄になじめないから	公共交通が不便だから	子育て環境が充分でないから	外に在るから	家族が自分の住む場所以外に在るから	その他
全体 N=154		36.4	53.2	33.8	13.6	24.0	51.9	13.6	9.1	20.8	
年度別	R6年 N=156	34.0	56.4	39.1	6.4	30.8	48.7	10.3	15.4	23.1	
	R5年 N=135	31.1	51.9	31.1	5.2	25.2	45.9	9.6	14.8	26.7	
	R4年 N=124	28.9	46.9	28.9	8.6	22.7	41.4	10.2	10.9	32.0	
	R3年 N=146	29.8	59.7	31.5	8.1	28.2	43.5	6.5	18.5	21.0	
	R2年 N=149	32.2	57.5	32.9	7.5	23.3	52.7	7.5	9.6	23.3	
年齢別	18～19歳 N=6	83.3	50.0	33.3	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	
	20～29歳 N=19	42.1	52.6	10.5	10.5	10.5	42.1	21.1	10.5	15.8	
	30～39歳 N=26	65.4	73.1	61.5	26.9	26.9	57.7	30.8	0.0	19.2	
	40～49歳 N=20	55.0	40.0	40.0	25.0	45.0	65.0	30.0	5.0	20.0	
	50～59歳 N=26	15.4	65.4	38.5	7.7	38.5	76.9	7.7	11.5	26.9	
	60～64歳 N=17	0.0	47.1	23.5	0.0	11.8	29.4	0.0	11.8	35.3	
	65～69歳 N=22	27.3	40.9	36.4	13.6	13.6	45.5	0.0	13.6	18.2	
	70歳以上 N=18	27.8	44.4	11.1	5.6	16.7	33.3	5.6	16.7	11.1	
地域別	城端地域 N=23	39.1	65.2	34.8	8.7	17.4	60.9	13.0	4.3	17.4	
	平地域 N=1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	上平地域 N=3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	利賀地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	井波地域 N=24	41.7	54.2	25.0	8.3	20.8	62.5	12.5	8.3	37.5	
	井口地域 N=2	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	
	福野地域 N=44	29.5	40.9	29.5	11.4	22.7	45.5	15.9	15.9	20.5	
	福光地域 N=55	38.2	56.4	41.8	18.2	29.1	50.9	14.5	7.3	14.5	

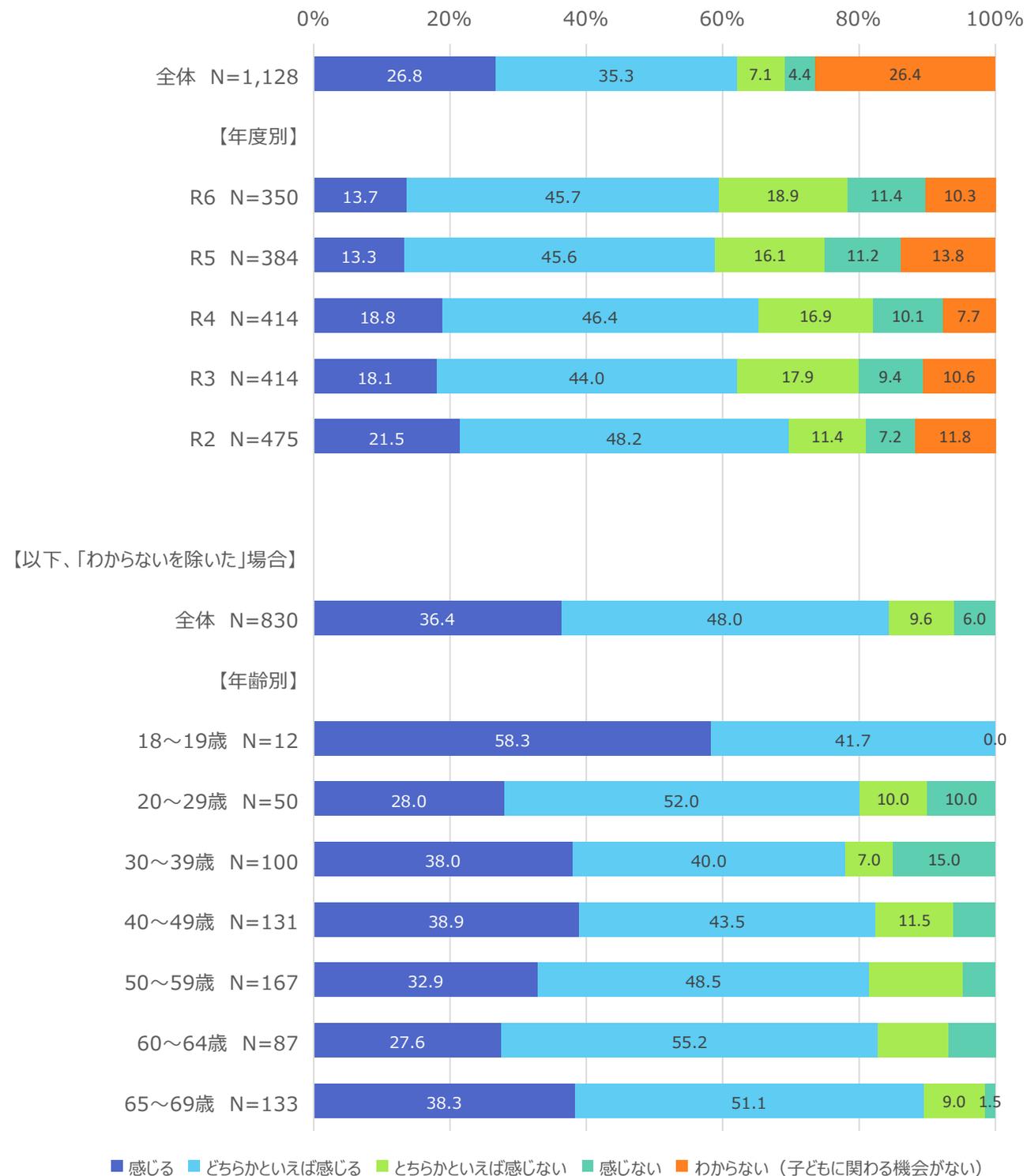
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問36 地域で暮らす子ども（0歳から概ね18歳未満）と関わるのが幸せだと感じますか。

全体の約7割は地域で暮らす子どもと関わるのが幸せだと感じている。

地域で暮らす子どもと関わるのが幸せだと感じるかをみると、「感じる」が26.8%、「どちらかといえば感じる」が35.3%、「どちらかといえば感じない」が7.1%、「感じない」が4.4%、「わからない（子どもに関わる機会がない）」が26.4となった。

図47 地域で暮らす子どもと関わるのが幸せだと感じるか



問37 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたのご家庭には、次のお子さんは何人いらっしゃいますか。

全体の約3割は家庭に18歳未満のお子さんがいる。

18歳未満のお子さんの有無をみると、「いる」が30.0%、「いない」が70.0%となっている。

図48 18歳未満のお子さんの有無

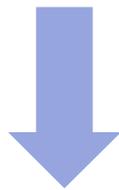
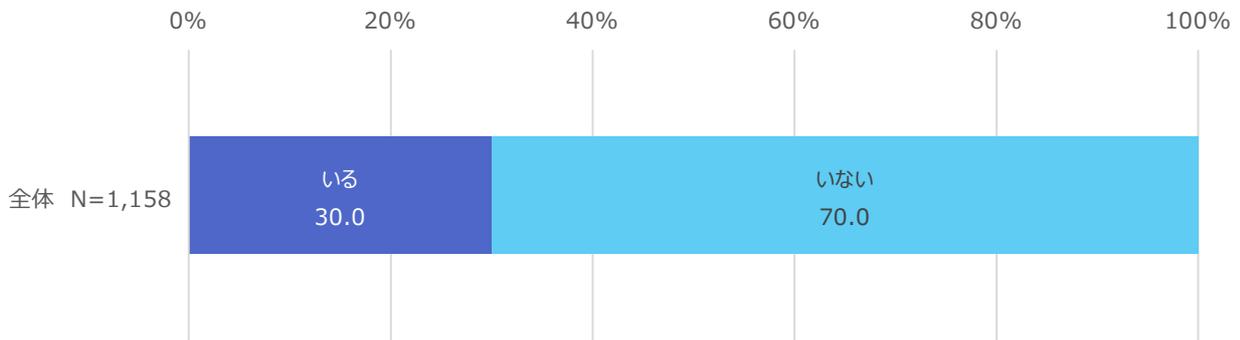
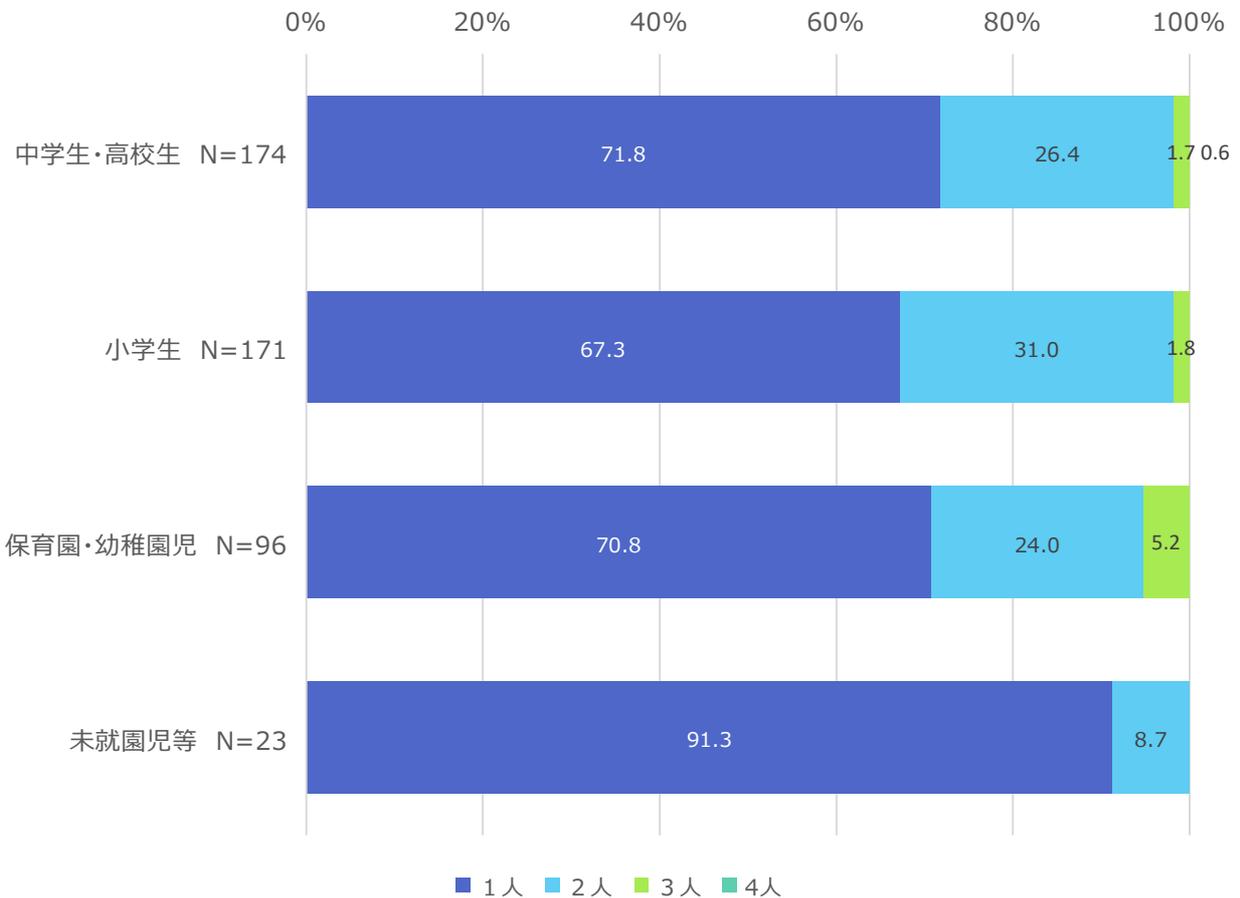


図49 18歳未満のお子さんの内訳 (MA)



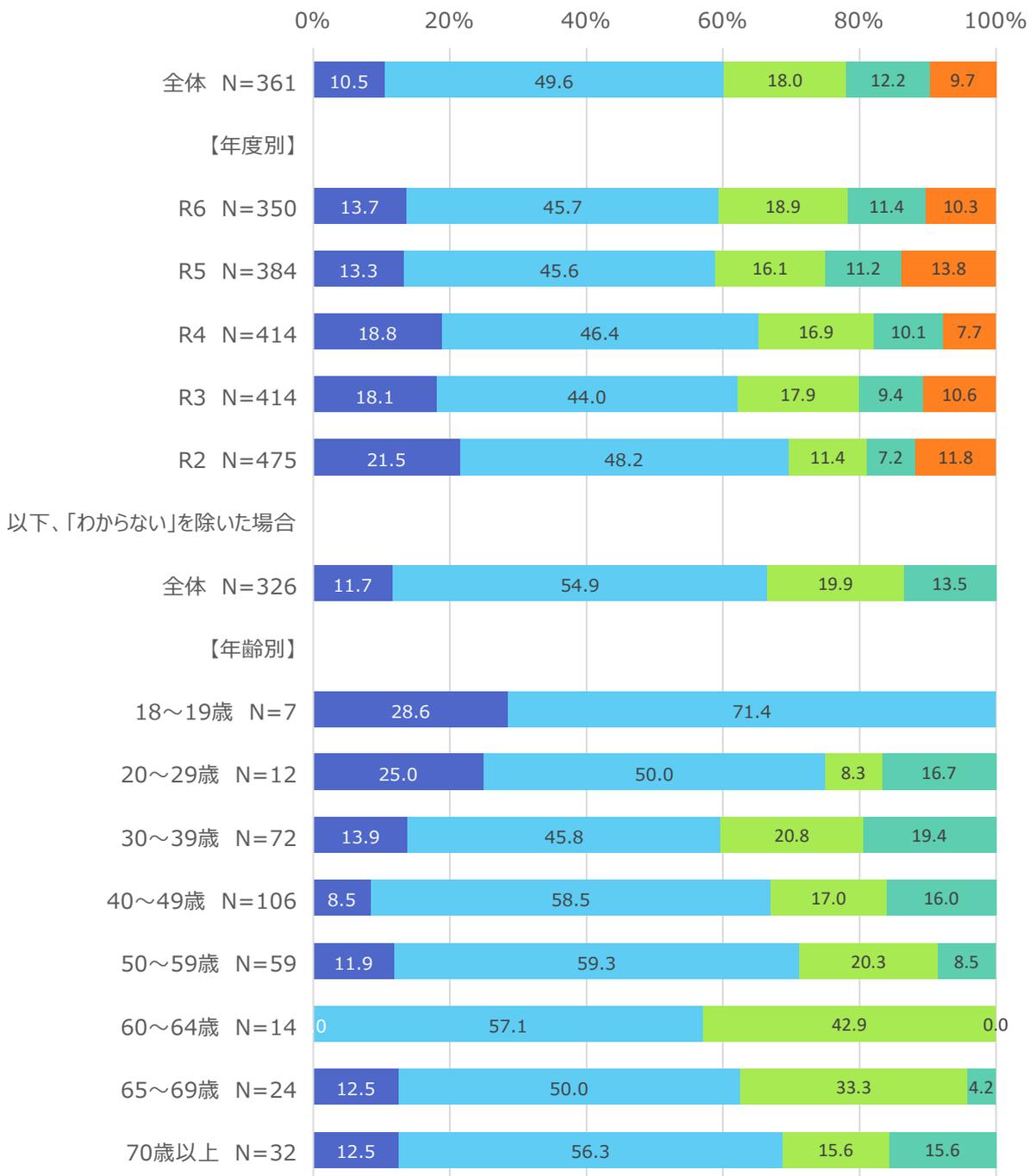
問38 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、南砺市では就労しながら無理なく子育てをすることができますか。

全体の約6割は就労しながら無理なく子育てをできていると思っている。

就労しながら無理なく子育てをすることができるかをみると、「そう思う」が10.5%、「どちらかといえばそう思う」が49.6%、「どちらかといえばそう思わない」が18.0%、「そう思わない」が12.2%、「わからない（就労していない、子育てする立場でない）」が9.7となっている。

「わからない（就労していない、子育てする立場でない）」を除いた場合、「そう思っている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」が66.6%になっている。

図50 就労しながら無理なく子育てできるか



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない（就労していない、子育てする立場でない）

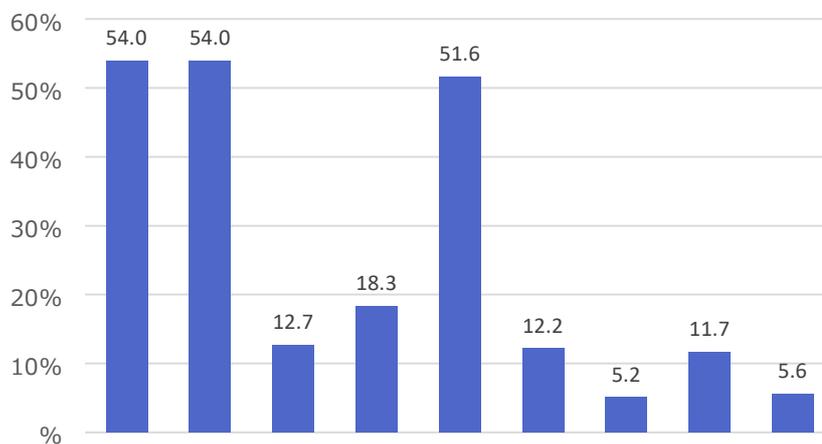
※R7年から選択肢の（ ）書きを追加しています。

問39 問38で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。

就労しながら無理なく子育てできると思う理由は「保育サービスが充実しているから」が最も多い。

就労しながら無理なく子育てできると思う理由をみると、「保育サービスが充実しているから」、「子どもを預ける場が充実しているから」が54.0%と最も多く、次いで、「医療費助成が充実しているから」が51.6%となっている。

図51 就労しながら無理なく子育てできると思う理由 (MA)



		保育サービスが充実しているから	子どもを預ける場が充実しているから	子どもを遊ばせる場が多いから	小児医療体制が整っているから	医療費助成が充実しているから	教育環境が充実しているから	相談サービスが充実しているから	周りに相談できる人・団体があるから	その他
全体 N=213		54.0	54.0	12.7	18.3	51.6	12.2	5.2	11.7	5.6
年度別	R6年 N=218	54.1	50.9	20.2	21.6	48.6	13.8	6.9	12.8	4.1
	R5年 N=221	48.4	58.4	13.1	12.7	54.3	11.8	4.1	11.3	5.9
	R4年 N=273	54.9	55.7	14.3	17.9	52.4	12.5	4.4	15.4	4.8
	R3年 N=251	56.2	59.4	21.9	15.5	52.2	14.3	6.0	13.1	5.6
	R2年 N=323	59.1	61.0	25.4	19.5	53.9	10.8	5.0	14.6	5.3
年齢別	18～19歳 N=7	28.6	42.9	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6
	20～29歳 N=9	55.6	66.7	22.2	11.1	44.4	11.1	11.1	44.4	0.0
	30～39歳 N=43	46.5	62.8	7.0	14.0	55.8	7.0	7.0	20.9	2.3
	40～49歳 N=70	57.1	37.1	12.9	20.0	54.3	12.9	5.7	5.7	5.7
	50～59歳 N=40	57.5	55.0	12.5	15.0	65.0	15.0	2.5	12.5	10.0
	60～64歳 N=8	37.5	50.0	12.5	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0
	65～69歳 N=14	64.3	92.9	14.3	21.4	35.7	7.1	0.0	0.0	7.1
70歳以上 N=22	59.1	63.6	18.2	36.4	40.9	13.6	9.1	9.1	0.0	
地域別	城端地域 N=28	64.3	64.3	25.0	14.3	35.7	17.9	7.1	10.7	3.6
	平地域 N=6	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	上平地域 N=4	75.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	利賀地域 N=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=39	56.4	66.7	10.3	17.9	43.6	12.8	5.1	12.8	2.6
	井口地域 N=4	25.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	福野地域 N=64	56.3	50.0	10.9	20.3	64.1	17.2	6.3	9.4	4.7
福光地域 N=65	44.6	53.8	12.3	20.0	50.8	7.7	3.1	13.8	6.2	

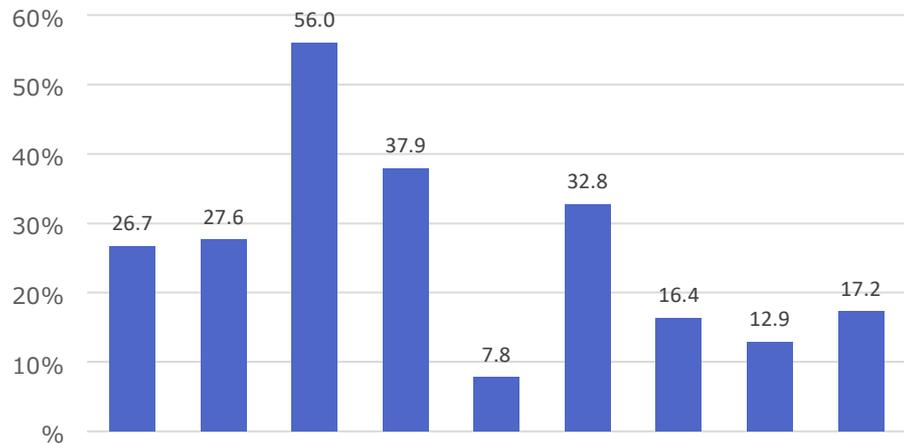
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問40 問38で「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

無理なく子育てできると思わない理由は「子どもを遊ばせる場が少ないから」が最も多い。

就労しながら無理なく子育てできると思わない理由をみると、「子どもを遊ばせる場が少ないから」が56.0%と最も多く、次いで「小児医療体制が不十分だから」が37.9%となっている。

図52 就労しながら無理なく子育てできると思わない理由 (MA)



以下、

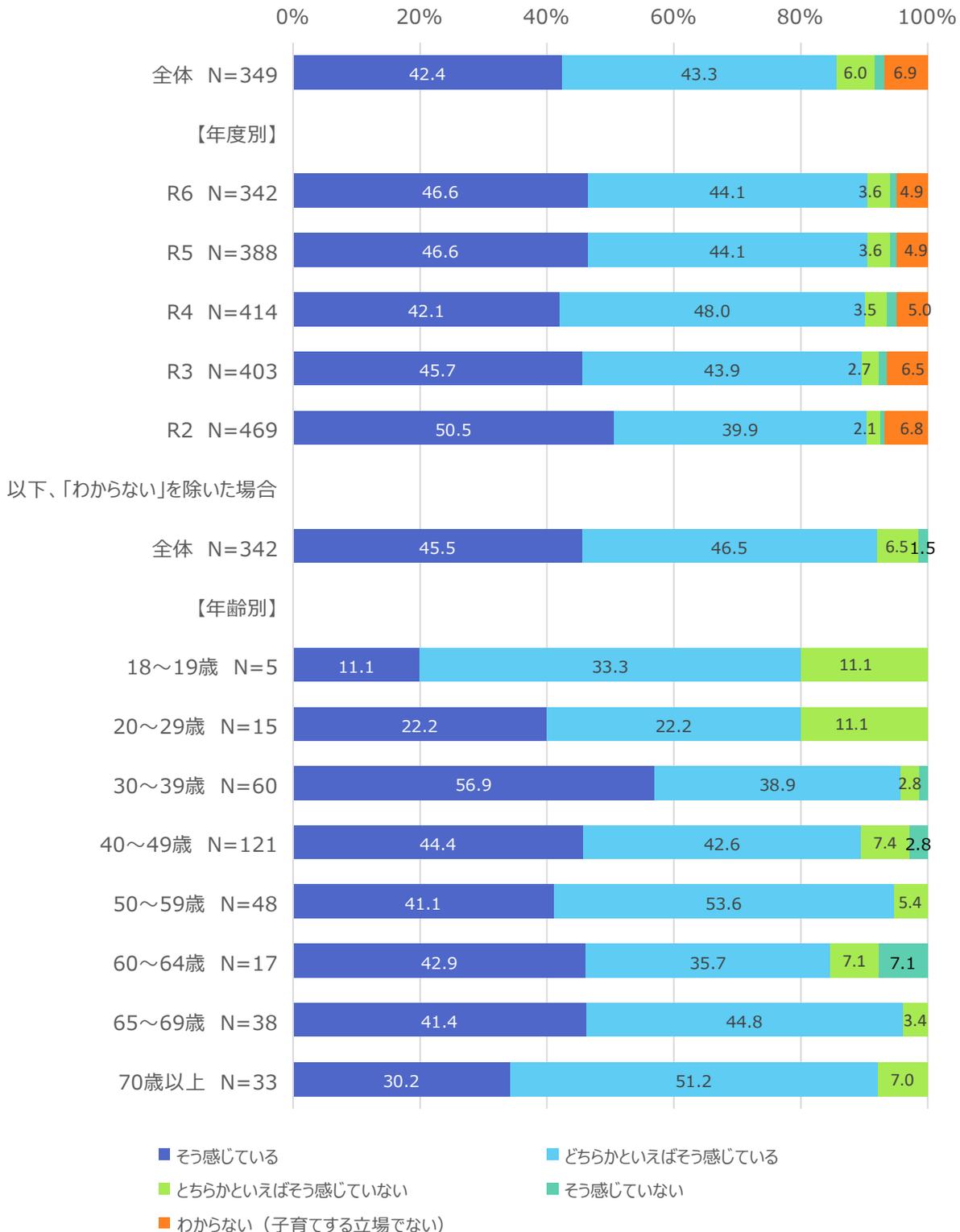
		から保育サービスが不十分だ	子どもを預ける場が少ないから	子どもを遊ばせる場が少ないから	小児医療体制が不十分だから	医療費助成が不十分だから	教育環境が不十分だから	から相談サービスが不十分だ	周りに相談できる人・団体がいないから	その他
全体 N=116		26.7	27.6	56.0	37.9	7.8	32.8	16.4	12.9	17.2
年度別	R6年 N=112	33.0	26.8	41.1	33.9	17.0	30.4	10.7	7.1	17.0
	R5年 N=111	25.2	31.5	38.7	43.2	6.3	20.7	10.8	6.3	21.6
	R4年 N=115	21.7	28.7	36.5	29.6	12.2	18.3	8.7	7.8	27.0
	R3年 N=88	22.3	29.5	41.1	33.0	16.1	27.7	13.4	11.6	23.2
	R2年 N=106	22.7	25.0	38.6	30.7	10.2	22.7	9.1	10.2	28.4
年齢別	18~19歳 N=3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20~29歳 N=29	3.4	3.4	6.9	0.0	0.0	3.4	3.4	3.4	0.0
	30~39歳 N=36	22.2	30.6	52.8	38.9	5.6	30.6	19.4	11.1	19.4
	40~49歳 N=17	58.8	64.7	123.5	100.0	17.6	82.4	41.2	35.3	41.2
	50~59歳 N=8	62.5	12.5	100.0	62.5	37.5	87.5	25.0	0.0	50.0
	60~64歳 N=11	27.3	18.2	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65~69歳 N=12	8.3	25.0	58.3	25.0	0.0	25.0	8.3	16.7	0.0
	70歳以上 N=116	2.6	2.6	3.4	2.6	0.9	1.7	0.9	1.7	1.7
地域別	城端地域 N=15	13.3	20.0	53.3	40.0	13.3	40.0	20.0	26.7	13.3
	平地地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上平地地域 N=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	利賀地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=15	20.0	33.3	40.0	40.0	6.7	40.0	0.0	6.7	20.0
	井口地域 N=3	66.7	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	福野地域 N=33	30.3	24.2	60.6	42.4	9.1	33.3	27.3	12.1	12.1
	福光地域 N=49	28.6	28.6	55.1	36.7	6.1	30.6	14.3	12.2	20.4

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問41 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、子育てに喜びや生きがいを感じていますか。

**18歳未満のお子さんがある方の約9割は子育てに喜びや生きがいを感じている。**

子育てに喜びや生きがいを感じるかをみると、「そう感じている」が42.4%、「どちらかといえばそう感じている」が43.3%となっており、「そう感じている割合（「そう感じている」+「どちらかといえばそう感じている）」は85.7%となっている。「わからない（子育てする立場でない）」を除いた場合、「そう思っている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う）」が92.0%になっている。



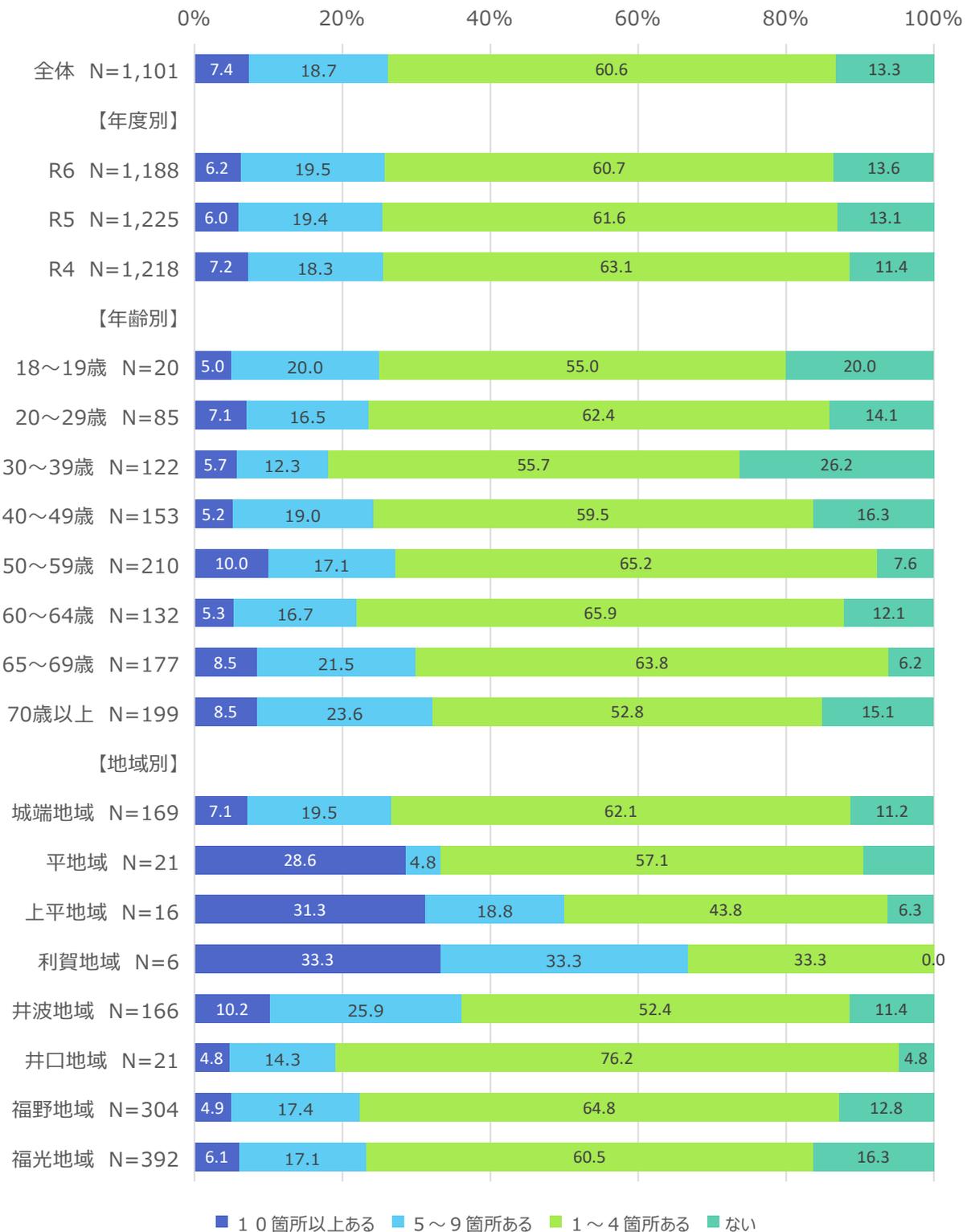
※R7年から選択肢の（ ）書きを追加しています。

問42 あなたが友人や知人に、ぜひお勧めしたい南砺市内の文化や景観はいくつありますか。

全体の約9割は友人や知人にお勧めしたい南砺市内の文化や景観がある。

友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観があるかをみると、「10箇所以上ある」が7.4%、「5～9箇所ある」が18.7%、「1～4箇所ある」が60.6%となっており、「1箇所以上ある割合（「10箇所以上ある」+「5～9箇所ある」+「1～4箇所ある」）が86.7%となっている。

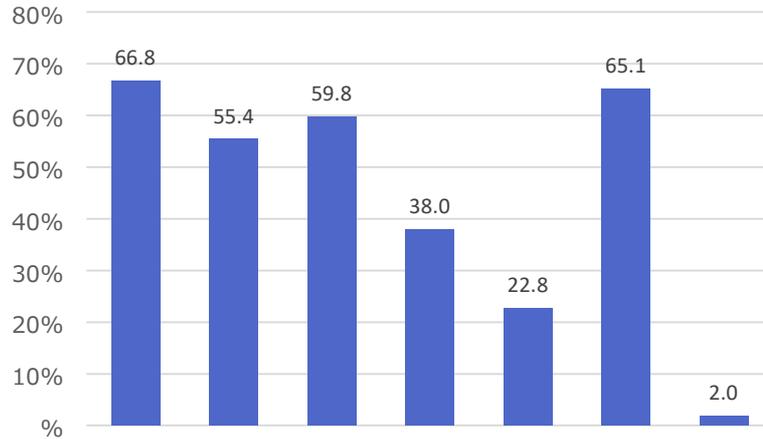
図54 友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観の個数



問43 問42で、「ある」と回答した方にお聞きます。南砺市のお勧めしたいものはどのようなものですか。

「自然」、「伝統・文化」、「祭り」、「観光地」をお勧めと考えている。  
 お勧めしたいものとして「自然」が66.8%と最も多く、次いで「観光地」が65.1%、「祭り」が59.8%、「伝統・文化」が55.4%となっている。

図55 友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観（MA）



			自然	伝統・文化 (井波彫刻、五箇山和紙など)	祭り (福野夜高祭、城端曳山祭、五箇山麦屋まつり、獅子舞など)	食 (地域の特産物、米、水など南砺市産のもの)	アクティビティ (スキー場・登山・カヌー・パラグライダーなど)	観光地 (世界遺産相倉・菅沼合掌造り集落、瑞泉寺など)	その他
全体 N=960			66.8	55.4	59.8	38.0	22.8	65.1	2.0
年齢別	18～19歳	N=16	68.8	43.8	68.8	25.0	37.5	81.3	0.0
	20～29歳	N=73	68.5	46.6	50.7	39.7	28.8	50.7	0.0
	30～39歳	N=89	65.2	43.8	57.3	42.7	30.3	52.8	1.1
	40～49歳	N=129	69.0	52.7	57.4	41.1	26.4	57.4	3.1
	50～59歳	N=194	68.6	49.5	52.1	37.1	22.2	66.5	3.1
	60～64歳	N=120	61.7	56.7	55.0	25.8	15.0	70.0	4.2
	65～69歳	N=164	64.6	68.9	66.5	38.4	21.3	68.3	0.6
	70歳以上	N=172	68.0	61.0	72.7	43.6	20.3	75.0	1.2
地域別	城端地域	N=152	72.4	52.6	75.0	36.2	17.8	64.5	2.0
	平地域	N=20	70.0	75.0	75.0	25.0	30.0	95.0	0.0
	上平地域	N=16	87.5	68.8	62.5	37.5	50.0	75.0	0.0
	利賀地域	N=6	100.0	66.7	83.3	83.3	33.3	50.0	0.0
	井波地域	N=146	72.6	78.1	53.4	37.7	15.1	69.9	2.1
	井口地域	N=19	89.5	57.9	52.6	42.1	26.3	63.2	0.0
	福野地域	N=268	57.1	51.5	67.2	34.7	19.0	61.9	2.6
	福光地域	N=328	66.2	47.9	48.5	41.8	29.3	64.0	1.5

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

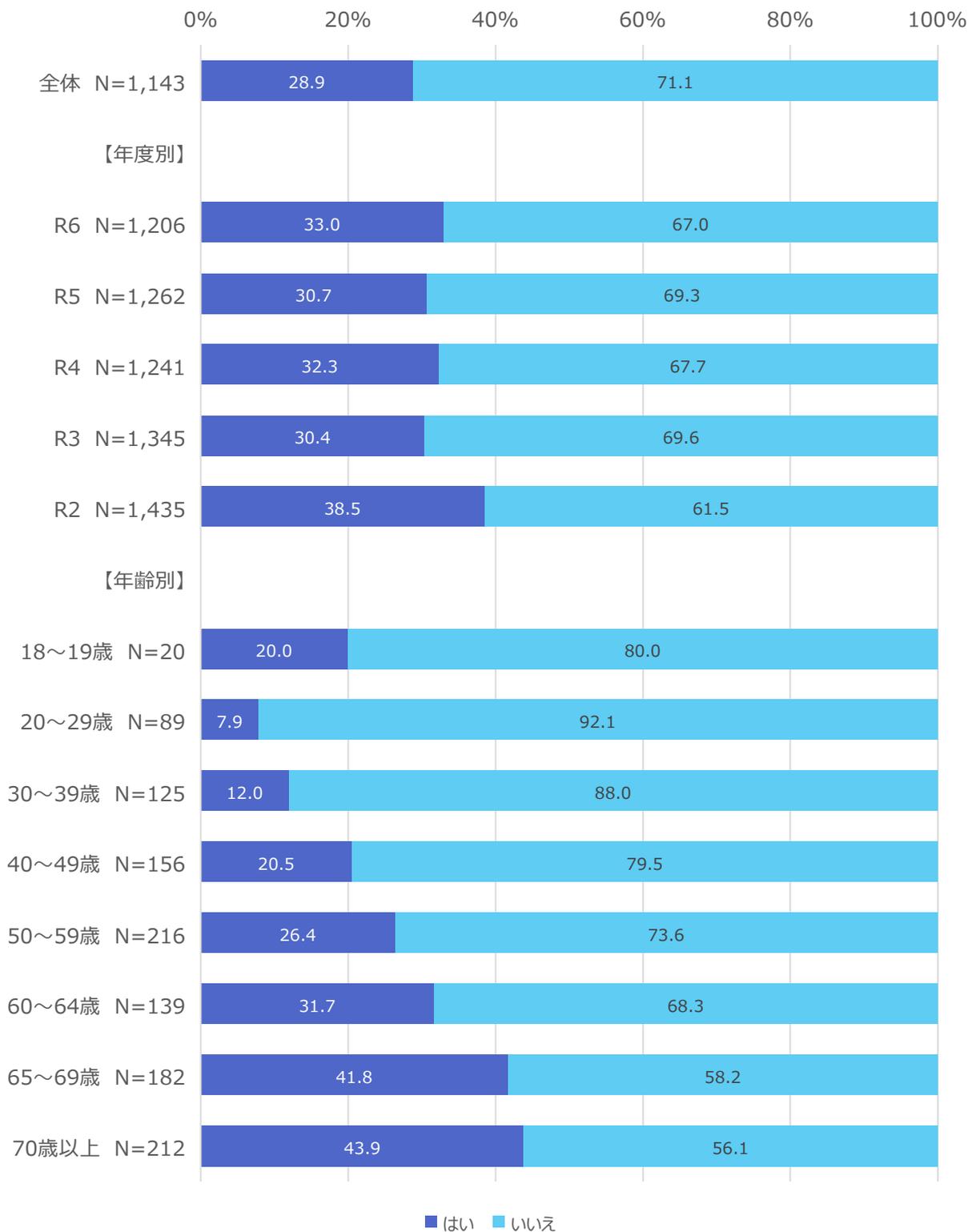
問44 あなたは、過去1年間にボランティア活動（団体による清掃活動等）に参加しましたか。

全体の3割は過去1年間にボランティア活動に参加している。

ボランティア活動への参加状況を見ると、「はい（参加した）」が28.9%、「いいえ（参加していない）」が71.1%となっている。

年齢別にみると、「はい（参加した）」が70歳以上で43.9%と最も多く、20～29歳が7.9%と最も少なくなっている。

図56 ボランティア活動への参加状況

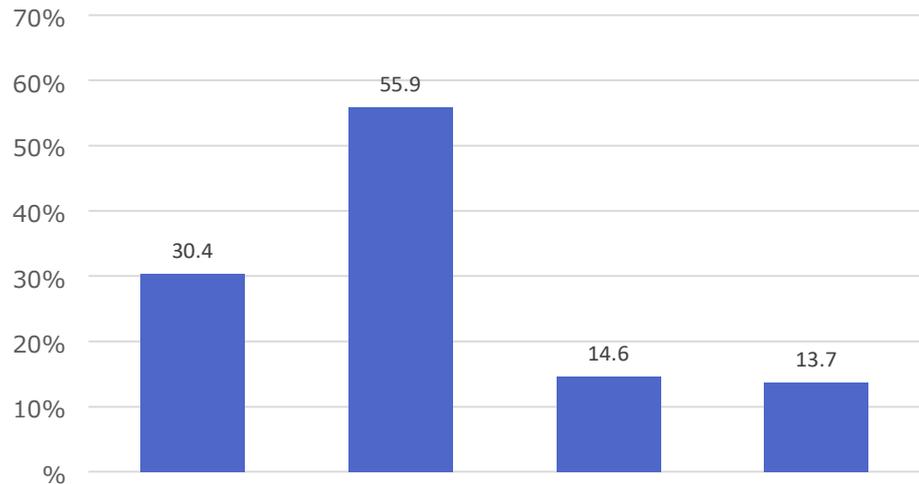


問45 問44で「1. はい」と回答した方にお聞きします。活動内容はどのようなものですか。

ボランティア活動の内容は約6割は「環境分野」となっている。

ボランティア活動に参加したことがある方について、その活動内容をみると、「環境分野」が55.9%、「福祉分野」が30.4%、「教育分野」が14.6%となっている。

図57 ボランティア活動の内容 (MA)



		福祉分野	環境分野	教育分野	その他
全体 N=329		30.4	55.9	14.6	13.7
年度別	R6年 N=397	21.9	67.7	9.4	14.3
	R5年 N=384	21.9	67.7	9.4	14.3
	R4年 N=399	27.6	66.4	11.3	10.8
	R3年 N=552	22.7	67.2	7.9	12.6
	R2年 N=547	23.0	74.8	9.4	7.8
年齢別	18～19歳 N=4	25.0	50.0	50.0	0.0
	20～29歳 N=7	14.3	57.1	42.9	14.3
	30～39歳 N=15	20.0	66.7	26.7	13.3
	40～49歳 N=32	15.6	43.8	37.5	18.8
	50～59歳 N=57	22.8	56.1	24.6	17.5
	60～64歳 N=45	28.9	53.3	4.4	22.2
	65～69歳 N=76	34.2	57.9	7.9	7.9
	70歳以上 N=91	41.8	57.1	5.5	11.0
地域別	城端地域 N=51	17.6	68.6	7.8	15.7
	平地地域 N=9	11.1	66.7	11.1	22.2
	上平地地域 N=7	28.6	57.1	14.3	0.0
	利賀地域 N=5	80.0	60.0	20.0	0.0
	井波地域 N=55	29.1	65.5	16.4	10.9
	井口地域 N=9	11.1	55.6	22.2	22.2
	福野地域 N=86	43.0	50.0	19.8	9.3
	福光地域 N=105	28.6	48.6	12.4	17.1

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

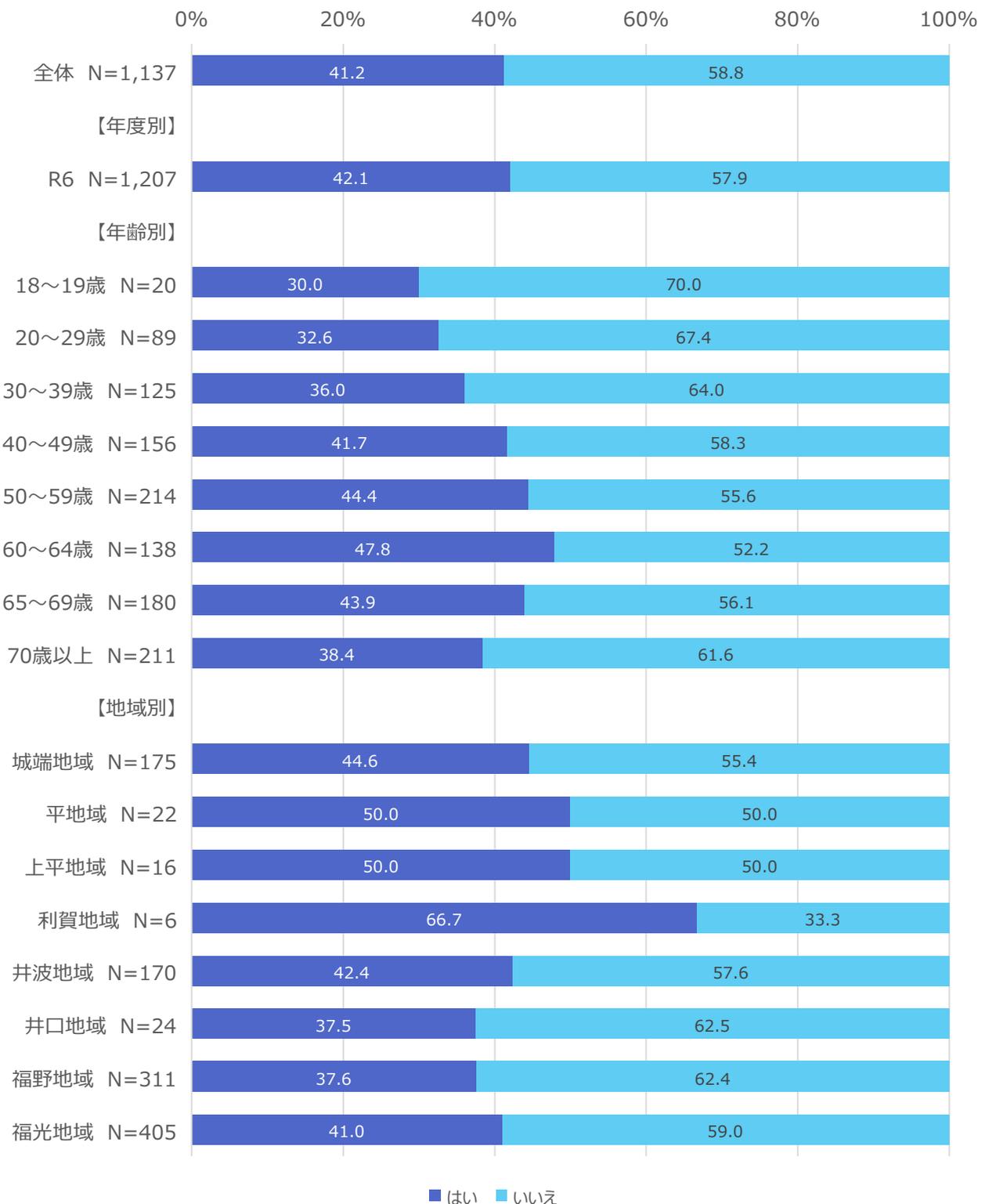
問46 あなたは、障がいのある人を手助けしたことがありますか。

**全体の約4割は障がいのある人を手助けしたことがある。**

障がいのある人を手助けしたことがあるかをみると、「はい（手助けしたことがある）」が41.2%、「いいえ（手助けしたことがない）」が58.8%となっている。

地域別にみると、利賀地域が「はい（手助けしたことがある）」が66.7%と最も多くなっている。

図58 障がいのある人を手助けしたことがあるか

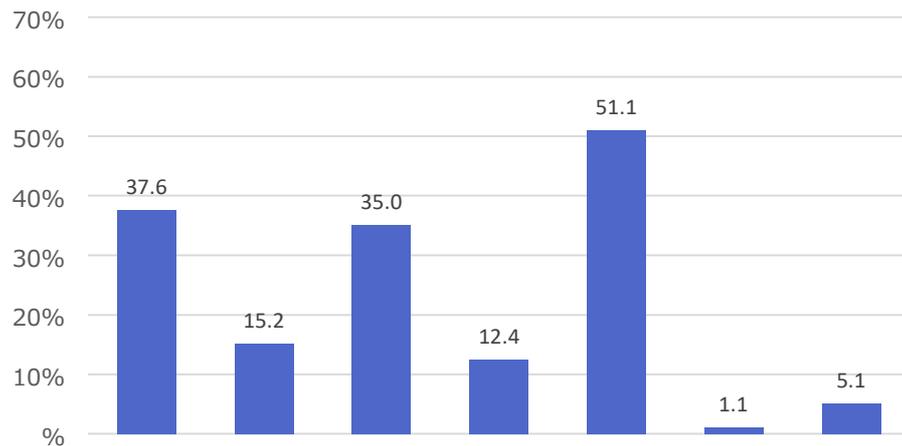


問47 問46で「1. ある」と回答した方にお聞きます。それはどのような気持ちからですか。

障がいのある人を手助けする理由は「障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから」が最も多い。

障がいのある人を手助けする理由をみると、「障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから」が51.1%で最も多く、次いで「身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから」が37.6%、「自分の仕事に関連して」が35.0%となっている。

図59 障がいのある人を手助けする理由 (MA)



		身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから	近所付き合いや親戚付き合いで	自分の仕事に関連して	将来、自分も障がい者になるかもしれないから	障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから	障がいのある人への手助けを求めるキャンペーンなどを見たから	その他
全体 N=474		37.6	15.2	35.0	12.4	51.1	1.1	5.1
R6年 N=513		32.0	14.6	32.6	17.0	51.1	2.1	8.4
年齢別	18～19歳 N=6	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7
	20～29歳 N=29	37.9	6.9	27.6	6.9	44.8	0.0	17.2
	30～39歳 N=46	21.7	8.7	41.3	2.2	45.7	2.2	10.9
	40～49歳 N=66	39.4	12.1	42.4	3.0	51.5	0.0	1.5
	50～59歳 N=95	40.0	6.3	38.9	8.4	49.5	0.0	4.2
	60～64歳 N=67	37.3	11.9	32.8	16.4	50.7	1.5	6.0
	65～69歳 N=80	41.3	20.0	36.3	15.0	53.8	1.3	3.8
	70歳以上 N=83	39.8	32.5	25.3	25.3	55.4	2.4	1.2
地域別	城端地域 N=79	48.1	22.8	45.6	20.3	46.8	1.3	2.5
	平地域 N=11	45.5	9.1	36.4	18.2	45.5	0.0	9.1
	上平地域 N=8	25.0	12.5	25.0	12.5	100.0	0.0	0.0
	利賀地域 N=4	25.0	75.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	井波地域 N=73	24.7	13.7	38.4	9.6	56.2	1.4	6.8
	井口地域 N=9	22.2	0.0	44.4	11.1	66.7	0.0	0.0
	福野地域 N=119	40.3	12.6	26.9	10.1	52.9	1.7	5.9
	福光地域 N=168	38.1	14.3	34.5	10.7	45.2	0.6	5.4

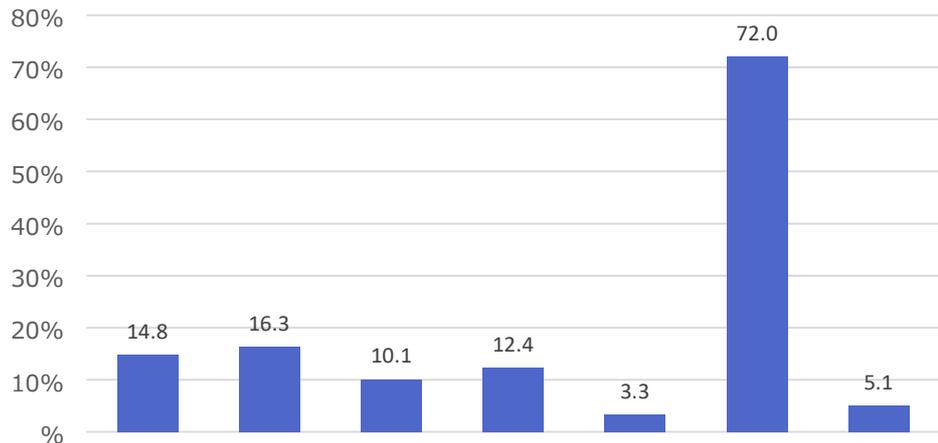
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問48 問46で「2. ない」と回答した方にお聞きします。手助けをしたことがなかったのはどうしてですか。

障がいのある人を手助けしたことがなかった理由は「自分の周りに障がいのある人がいなかったから」が最も多い。

障がいのある人を手助けしたことがなかった理由をみると、「自分の周りに障がいのある人がいなかったから」が72.0%で最も多く、次いで「どのように接したらよいかわからなかったから」が16.3%、「自分が何をすればよいかわからなかったから」が14.8%となっている。

図60 障がいのある人を手助けしたことがなかった理由（MA）



		自分が何をすればよいかわからなかったから	どのように接したらよいかわからなかったから	お節介になるような気がしたから	専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	自分にとって負担になるような気がしたから	自分の周りに障がいのある人がいなかったから	その他
全体 N=661		14.8	16.3	10.1	12.4	3.3	72.0	5.1
R6年 N=688		14.1	15.8	9.2	12.6	3.6	72.1	5.8
年齢別	18～19歳 N=13	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	76.9	15.4
	20～29歳 N=59	16.9	8.5	6.8	3.4	1.7	79.7	6.8
	30～39歳 N=79	17.7	17.7	12.7	15.2	6.3	72.2	3.8
	40～49歳 N=92	15.2	18.5	15.2	15.2	4.3	68.5	6.5
	50～59歳 N=118	6.8	15.3	6.8	5.9	0.8	76.3	4.2
	60～64歳 N=70	21.4	18.6	8.6	17.1	7.1	74.3	7.1
	65～69歳 N=101	19.8	16.8	8.9	16.8	4.0	66.3	4.0
	70歳以上 N=126	12.7	17.5	12.7	14.3	1.6	70.6	3.2
地域別	城端地域 N=97	16.5	14.4	12.4	16.5	3.1	71.1	4.1
	平地域 N=11	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	54.5	9.1
	上平地域 N=7	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	85.7	14.3
	利賀地域 N=2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	井波地域 N=97	17.5	17.5	7.2	14.4	2.1	73.2	4.1
	井口地域 N=15	33.3	40.0	6.7	20.0	13.3	73.3	0.0
	福野地域 N=189	15.3	15.9	9.5	7.9	2.1	70.9	6.9
	福光地域 N=238	11.3	15.1	10.9	12.2	4.6	74.4	4.2

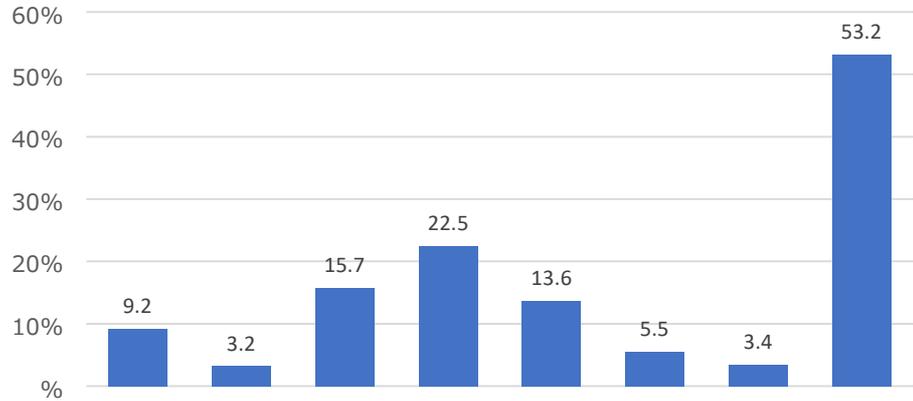
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問49 協働のまちづくりとは、市民、市民団体、事業者及び市が協力して、地域の課題解決に取り組むまちづくりの手法のことです。あなたは、どのような協働のまちづくりに取り組んでいますか。

全体の約5割は協働のまちづくりに取り組んでいない。

協働のまちづくりへの取り組み状況をみると、「自治会、町内会が主体で実施するまちづくり事業」が22.5%で他のまちづくり事業と比べて最も多いが、「特に何も行ってない」が53.2%と最も多くなっている。

図61 協働のまちづくりへの取り組み状況 (MA)



		市が主体で実施するまちづくり事業	国又は県が主体で実施するまちづくり事業	地域づくり協議会が主体で実施するまちづくり事業	自治会・町内会が主体で実施するまちづくり事業	地域の団体が主体で実施するまちづくり事業	ボランティア団体等が主体で実施するまちづくり事業	企業等が社会貢献事業として実施するまちづくり事業	特に何も行ってない
全体 N=1,158		9.2	3.2	15.7	22.5	13.6	5.5	3.4	53.2
年度別	R6年 N=1,178	6.2	1.6	15.4	28.6	17.6	4.4	4.4	54.8
	R5年 N=1,218	6.2	1.6	15.4	28.6	17.6	4.4	4.4	54.8
	R4年 N=1,194	7.4	2.2	17.4	24.5	15.6	8.0	3.4	53.9
	R3年 N=1,271	6.7	1.7	13.4	27.4	15.2	5.4	2.4	56.7
	R2年 N=1,378	8.4	2.5	15.2	32.1	17.1	6.5	3.8	51.5
年齢別	18～19歳 N=20	15.0	10.0	15.0	5.0	0.0	0.0	10.0	60.0
	20～29歳 N=89	7.9	4.5	2.2	1.1	0.0	1.1	4.5	79.8
	30～39歳 N=125	8.8	3.2	5.6	16.0	4.8	5.6	4.8	71.2
	40～49歳 N=157	12.7	4.5	12.7	20.4	9.6	7.0	6.4	52.2
	50～59歳 N=217	6.9	1.8	16.1	22.1	6.9	7.8	2.3	57.6
	60～64歳 N=140	5.7	2.9	16.4	32.9	11.4	5.0	2.9	48.6
	65～69歳 N=187	10.2	2.7	25.1	29.4	20.9	5.3	1.6	40.1
	70歳以上 N=216	10.2	2.8	20.8	25.9	31.0	5.1	2.3	42.6
地域別	城端地域 N=178	5.1	0.0	20.2	27.5	19.7	5.6	2.8	52.2
	平地地域 N=22	13.6	4.5	27.3	18.2	31.8	18.2	0.0	36.4
	上平地地域 N=18	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	38.9
	利賀地域 N=6	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3
	井波地域 N=174	9.2	2.3	16.1	31.0	20.7	6.9	5.2	48.9
	井口地域 N=25	12.0	0.0	16.0	32.0	24.0	0.0	4.0	48.0
	福野地域 N=314	9.2	3.8	15.0	18.2	8.0	5.4	2.9	57.0
	福光地域 N=410	10.5	4.4	13.9	21.2	10.0	4.6	3.7	54.9

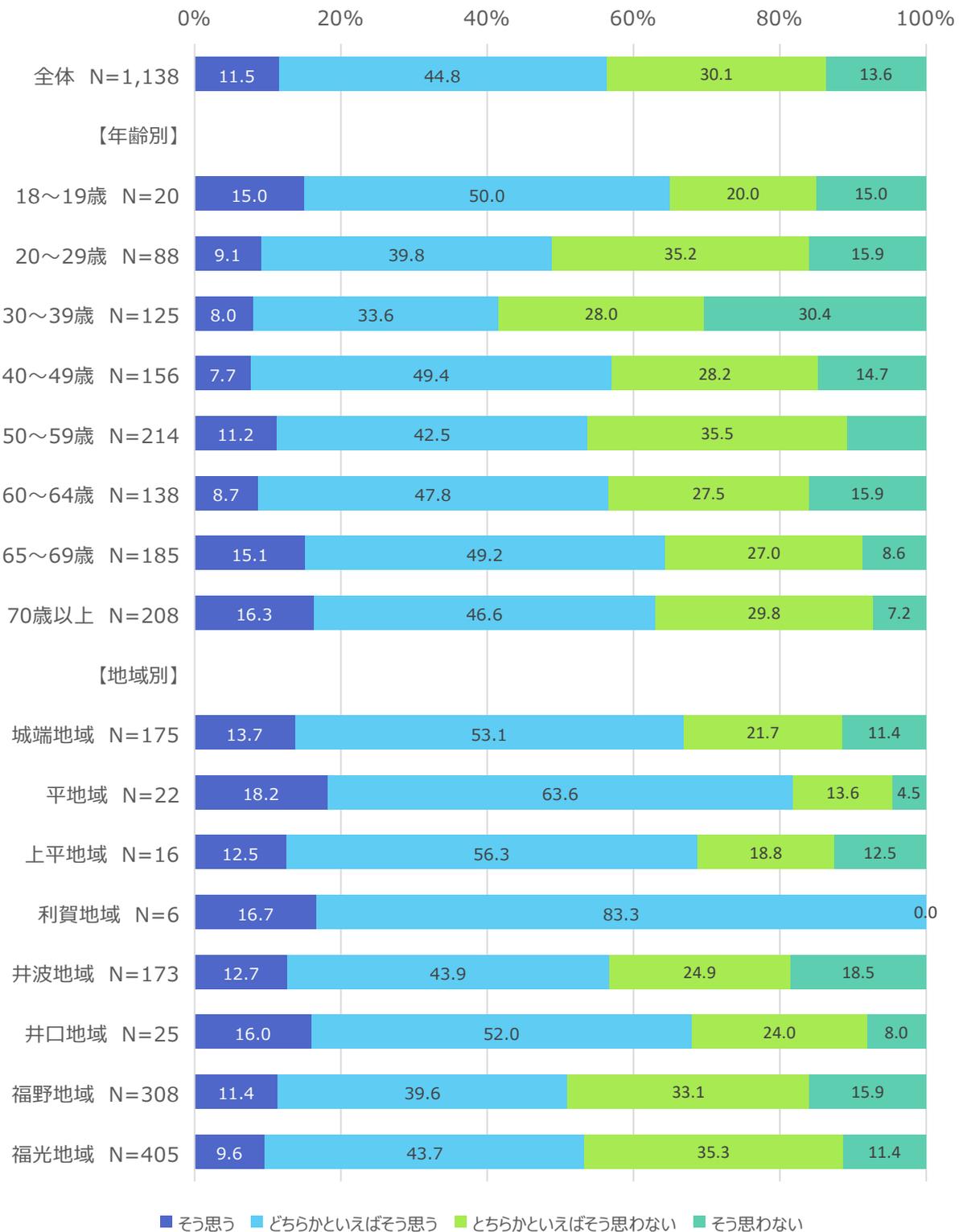
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問50 あなたは、地域を良くする活動に参加したい、関わりたい気持ちがありますか。

全体の約6割は「地域を良くする活動に参加したい、関わりたい気持ち」がある。

地域を良くする活動に参加したい、関わりたい気持ちについてみると、「ある」が11.5%、「どちらかといえばある」が44.8%、「どちらかといえばない」が30.1%、「ない」が13.6%となっており、「地域を良くする活動に参加したい、関わりたい気持ちがある（「ある」+「どちらかといえばある）」が56.3%となっている。

図62 地域を良くする活動に参加したい、関わりたい気持ち

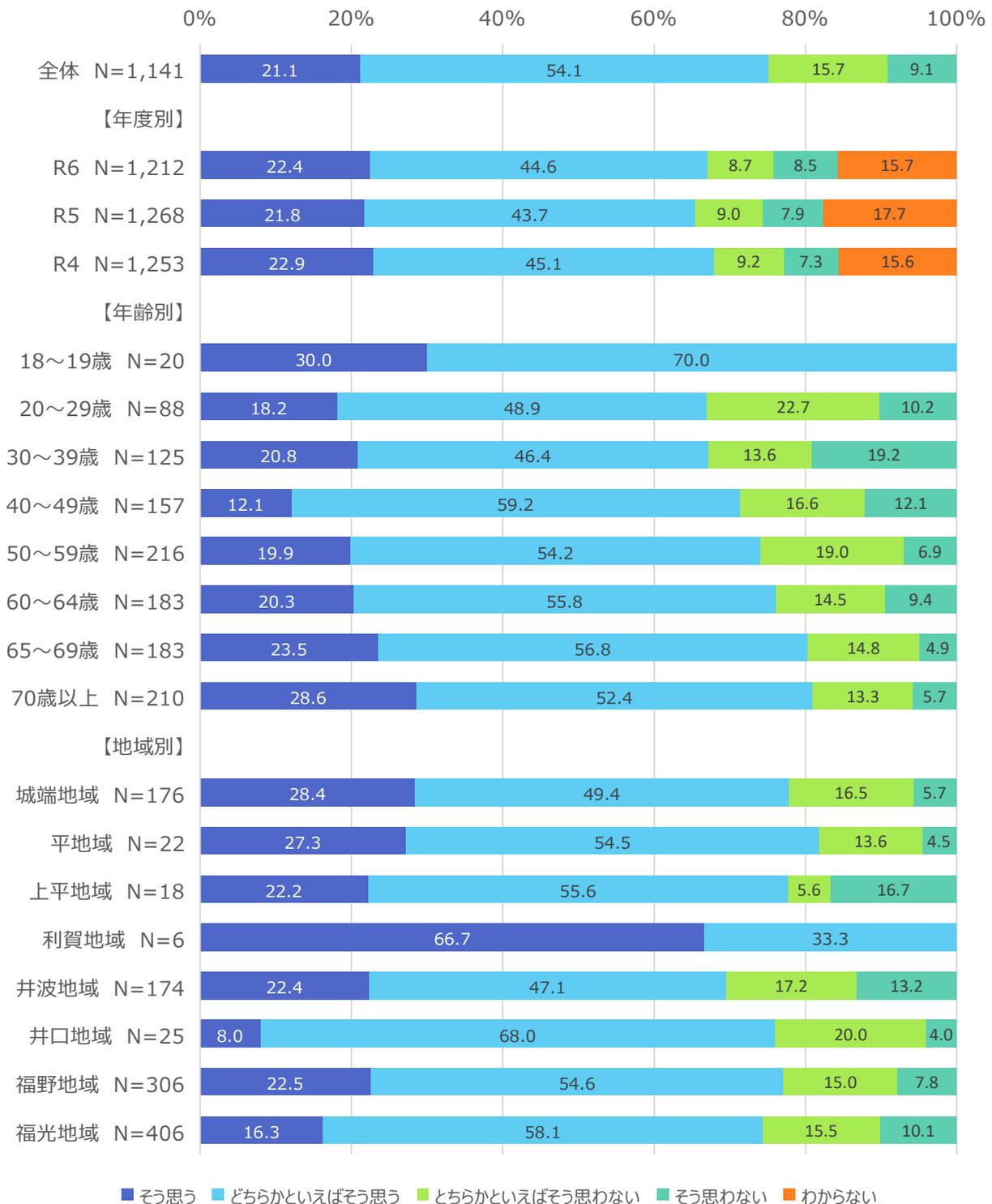


問51 あなたは、“みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる”と思いますか。

全体の約8割は「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思っている。

“みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる”という思いについてみると、「そう思う」が21.1%、「どちらかといえばそう思う」が54.1%、「どちらかといえばそう思わない」が15.7%、「そう思わない」が9.1%となっており、「今より元気になると思う割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う）」が75.2%となっている。

図63 みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になると思う



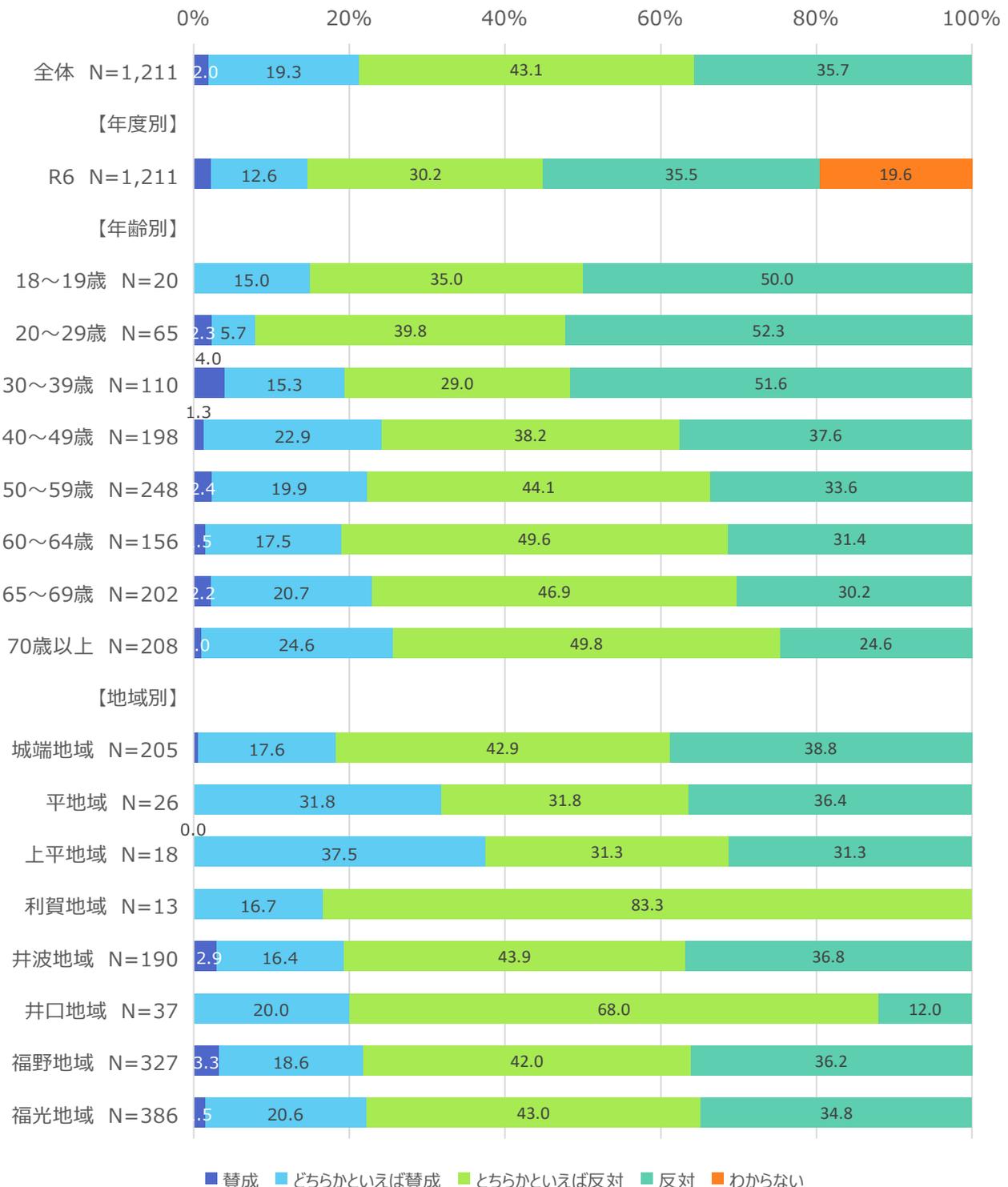
※R7年から「わからない」の選択肢を削除しています。

問52 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。

全体の約8割は「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対している。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてみると、「賛成」が2.0%、「どちらかといえば賛成」が19.3%、「どちらかといえば反対」が43.1%、「反対」が35.7%となっており、「反対している割合（「反対」+「どちらかといえば反対」）」が78.8%となっている。

図64 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



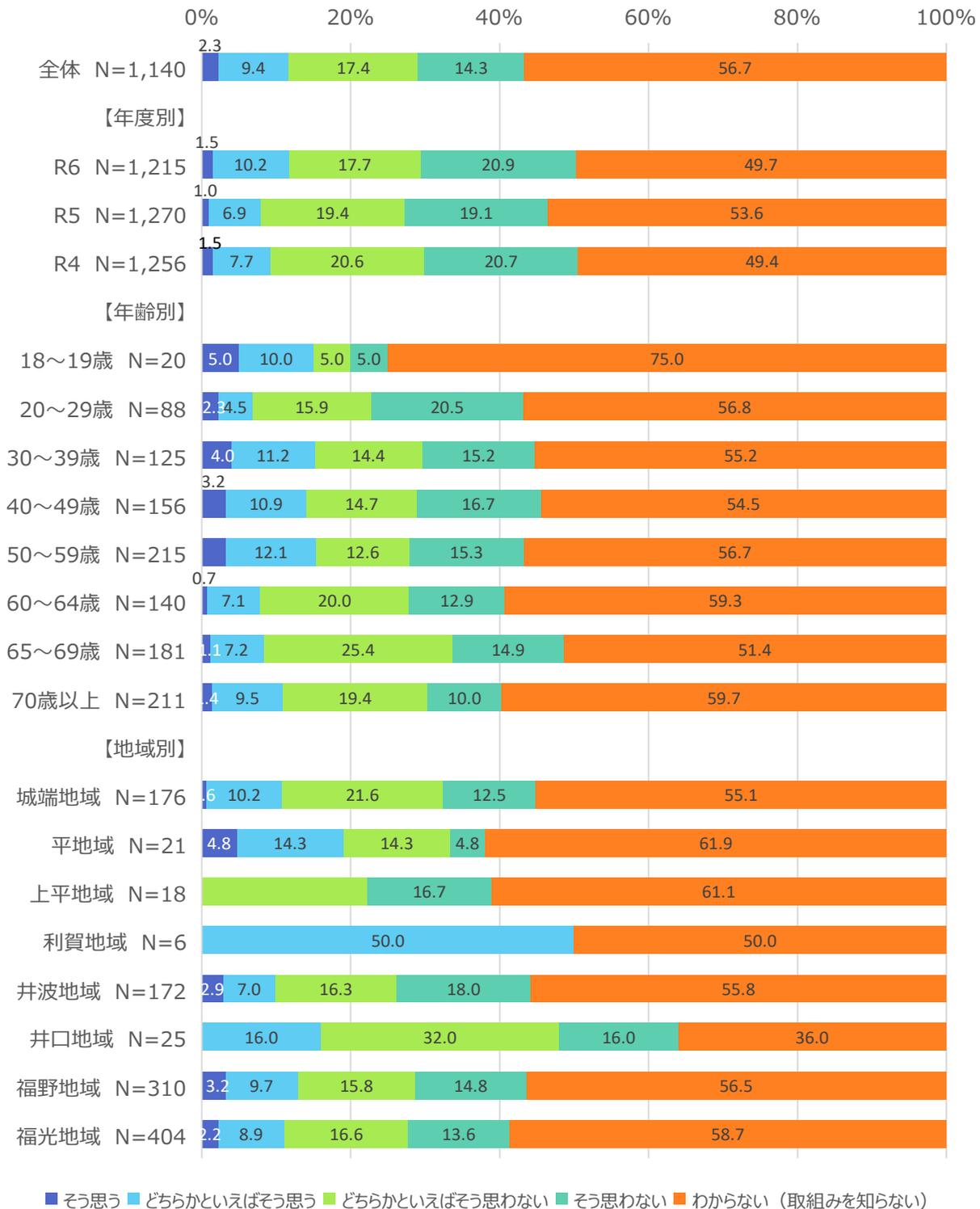
※R7年から「わからない」の選択肢を削除しています。

問53 あなたは、南砺市が「ジェンダーギャップ（性別による格差）の解消」に取り組んでいると思いますか。

全体の約6割は「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいることを知らない。

南砺市が「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいると思うかについてみると、「そう思う」が2.3%、「どちらかといえばそう思う」が9.4%、「どちらかといえばそう思わない」が17.4%、「そう思わない」が14.3%、「わからない（取組みを知らない）」が56.7%となっている。

図65 「ジェンダーギャップの解消」への取り組んでいると思うか



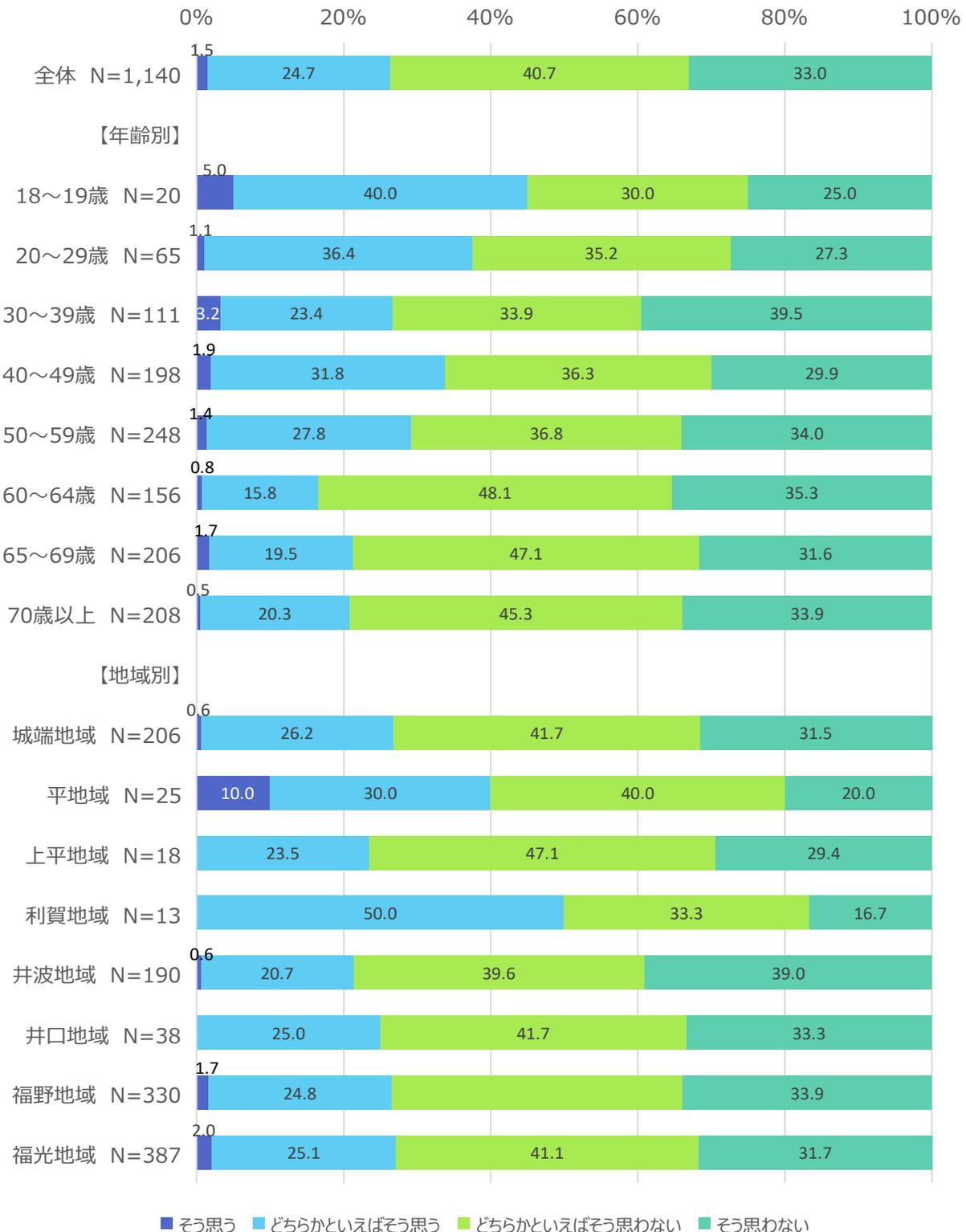
※R7年から選択肢の（ ）書きを追加しています。

問54 あなたは、地域や職場のジェンダー平等が進んでいると思いますか。

全体の約7割は「地域や職場のジェンダー平等」が進んでいると思っていない。

地域や職場のジェンダー平等が進んでいると思うかについてみると、「そう思う」が1.5%、「どちらかといえばそう思う」が24.7%、「どちらかといえばそう思わない」が40.7%、「そう思わない」が33.0%となっている。

図66 地域や職場のジェンダー平等が進んでいると思うか

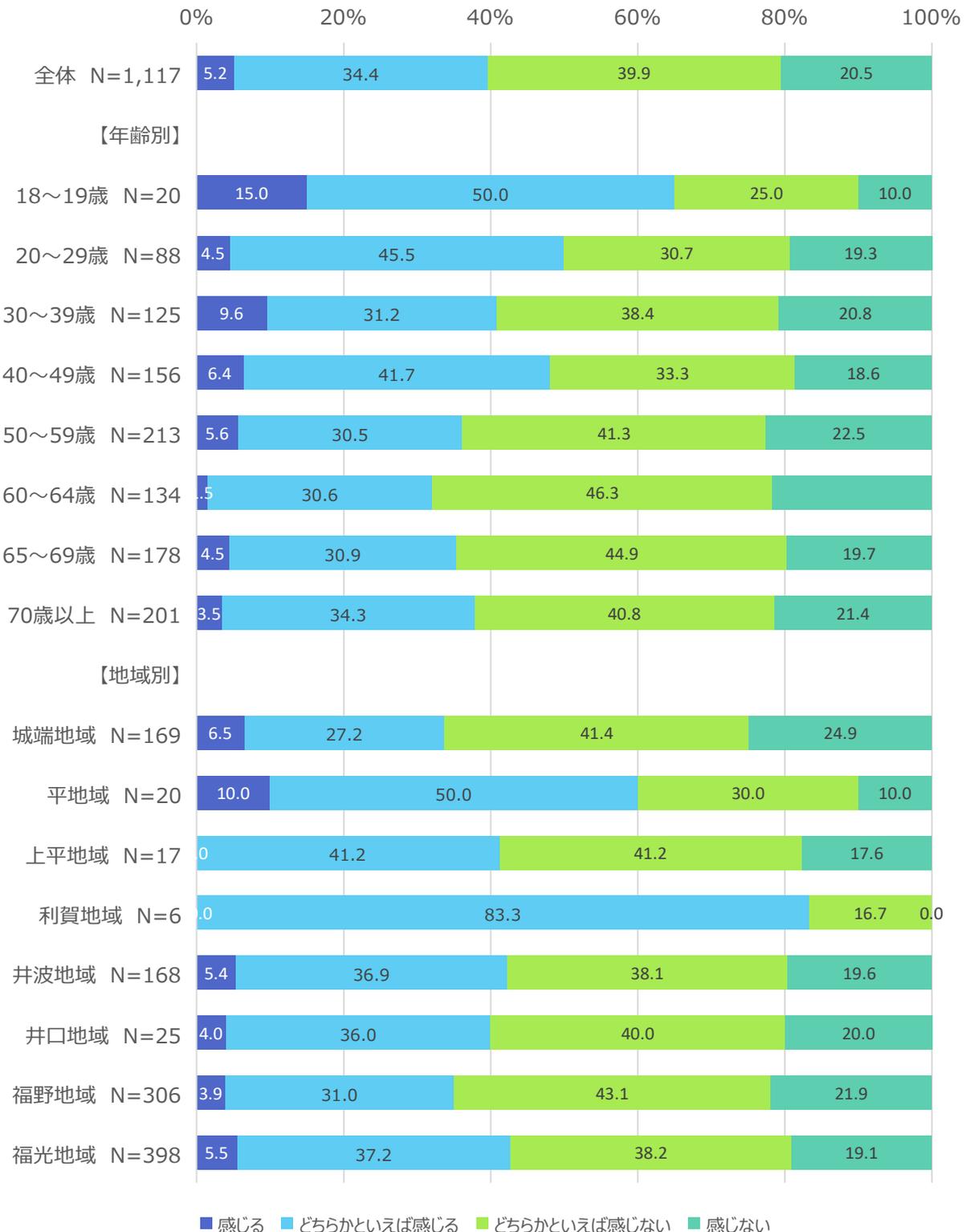


問55 あなたは、地域に年齢や性別、国籍などにとらわれず、多様な生き方や考え方を受け入れ、個性を認め合う雰囲気があると思いますか。

全体の約4割は自分達の地域には、地域に年齢や性別、国籍などにとらわれず、多様な生き方や考え方を受け入れ、個性を認め合う雰囲気があると感じている。

自分達の地域には、地域に年齢や性別、国籍などにとらわれず、多様な生き方や考え方を受け入れ、個性を認め合う雰囲気があるかについてみると、「そう思う」が5.2%、「どちらかといえばそう思う」が34.4%、「どちらかといえばそう思わない」が39.9%、「そう思わない」が20.5%などとなっている。

図67 地域に年齢や性別、国籍などにとらわれず、多様な生き方や考え方を受け入れ、個性を認め合う雰囲気があるか

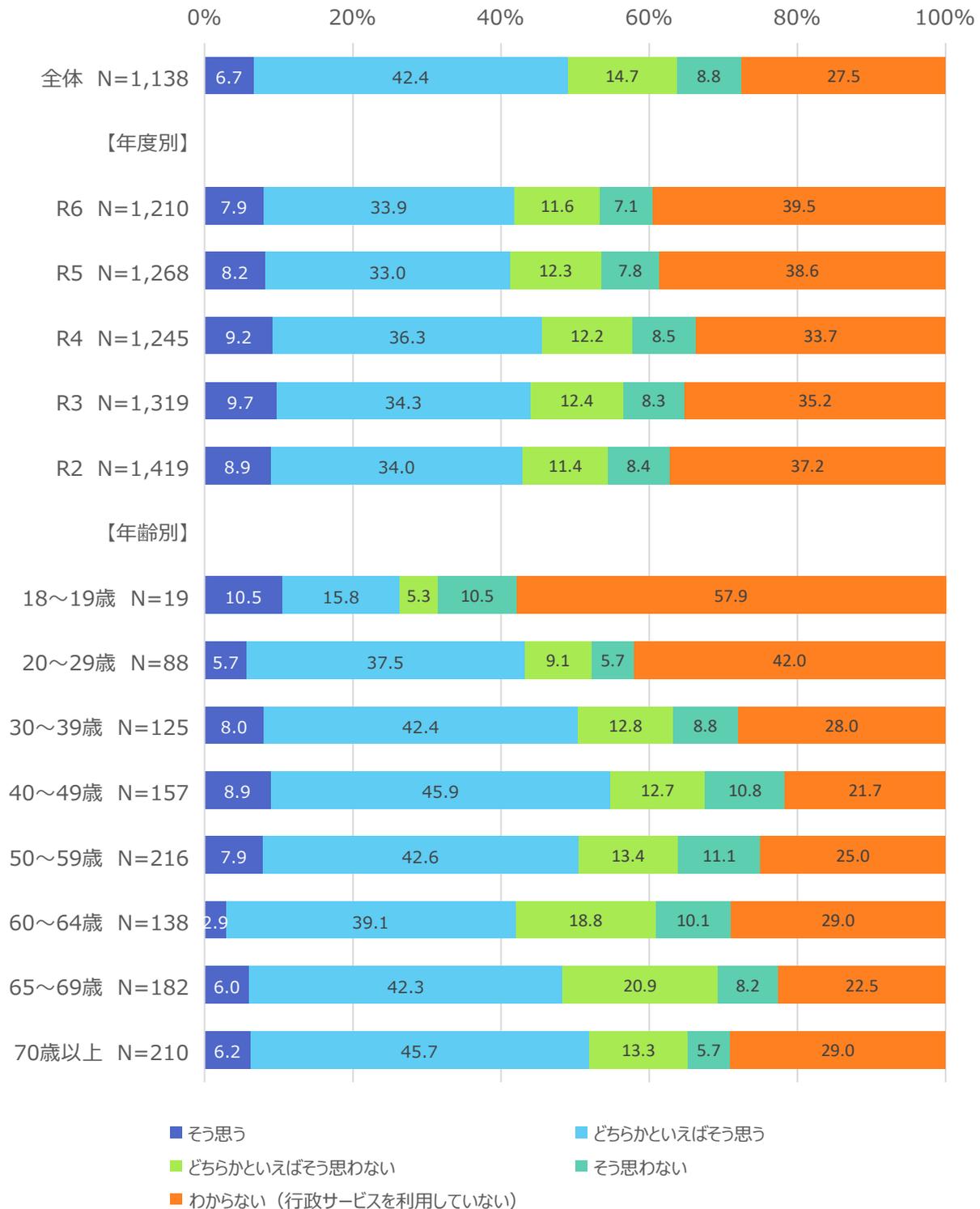


問56 あなたは、南砺市の行政サービス（市役所の仕事）の水準は適正だと思いますか。

全体の約5割は南砺市の行政サービスの水準が適切だと思っている。

南砺市の行政サービスの水準をみると、「そう思う」6.7%、「どちらかといえばそう思う」が42.4%、「どちらかといえばそう思わない」が14.7%、「そう思わない」が8.8%などとなっており、「そう思う割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」が49.1%となっている。

図68 南砺市の行政サービス水準



※R7年から選択肢の（ ）書きを追加しています。

問57 あなたは、南砺市が発信している次の情報を利用していますか。利用している場合、それらの内容はわかりやすいと思いますか。

全体の約7割は広報なんどを利用し、利用者の約9割が広報なんどをわかりやすいと思っている。

南砺市が発信する情報の利用状況についてみると、広報なんどを「利用している」が73.7%、南砺市ホームページを「利用している」が34.1%、南砺市フェイスブックを「利用している」が4.1%、南砺市ラインを「利用している」が5.3%、南砺市X（旧Twitter）を「利用している」が1.6%、南砺市インスタグラムを「利用している」が2.5%となっている。

図69 南砺市が発信する情報の利用状況

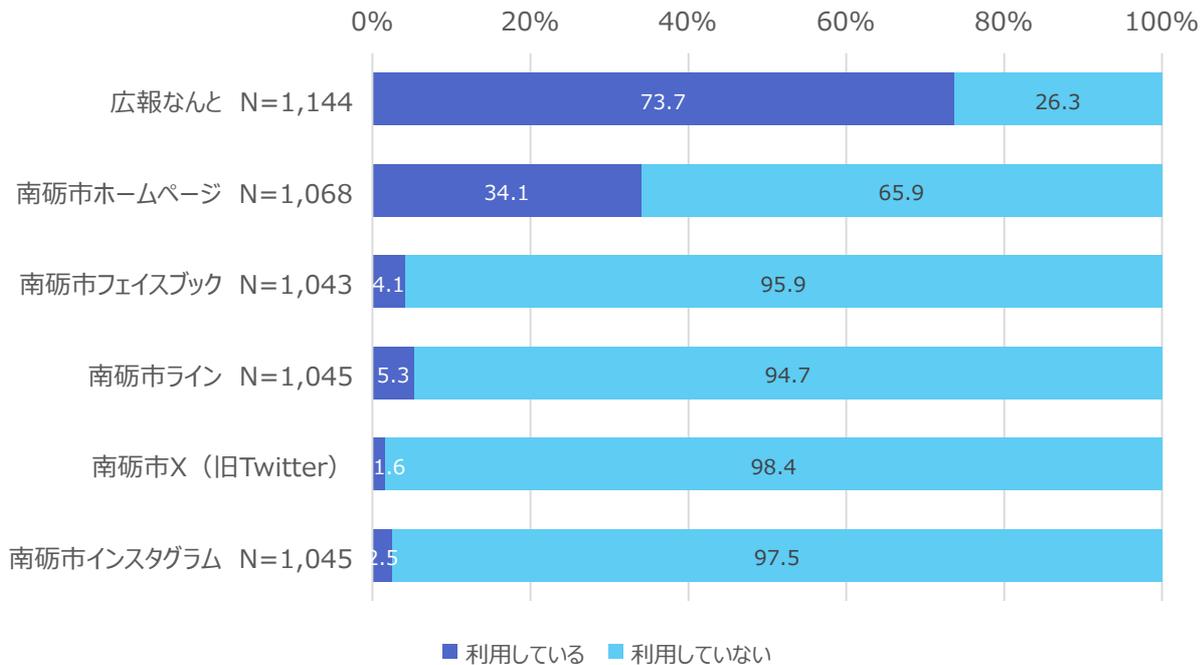
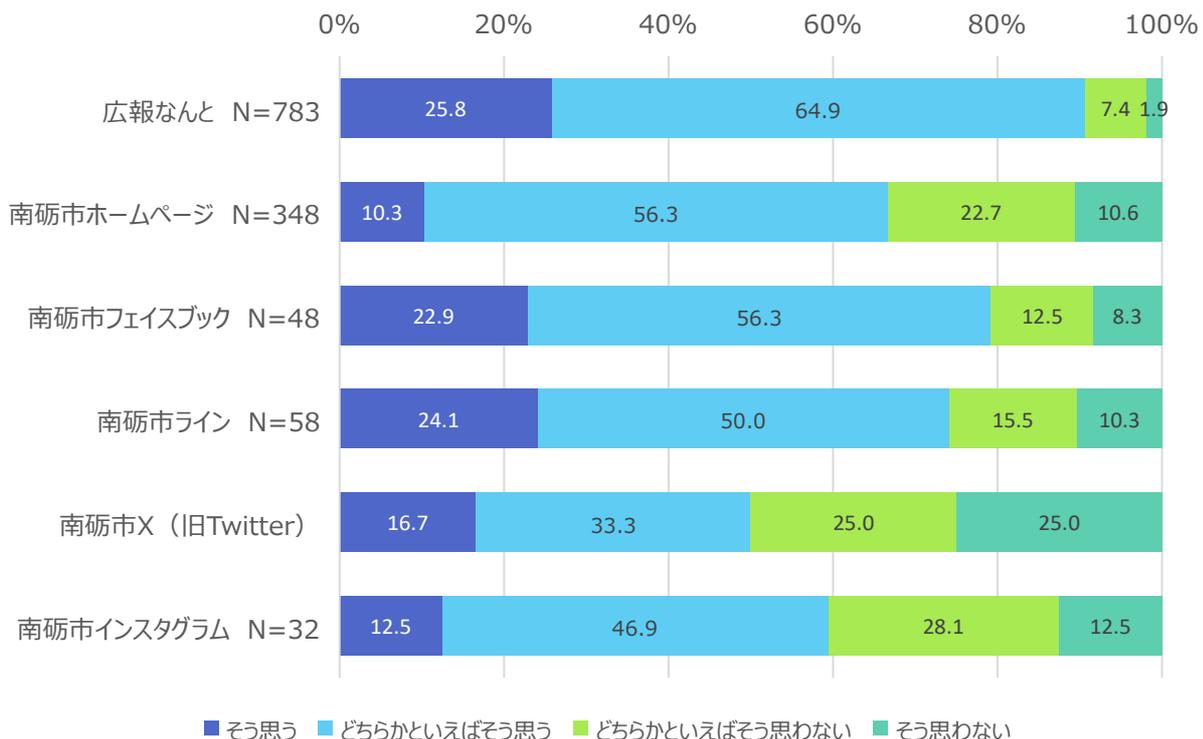


図70 南砺市が発信する情報のわかりやすさ



問58 「SDGs」の達成には、身近な行動が大切です。実際に取り組んでいるものは何ですか。

**全体の9割がSDGsに取り組んでおり、取り組む行動で最も多いのは「マイバックを使う」**

SDGsで実際に取り組んでいる行動についてみると、「取り組んでいる」が90.1%、「取り組んでいない」が9.9となった。「マイバックを使う」が82.2%で最も多く、次いで「水を流しっぱなしにしないようにする」が77.8%、「日頃から節電を心がける」が71.6%となっている。

図71 「SDGs」の達成に向けた取り組み状況

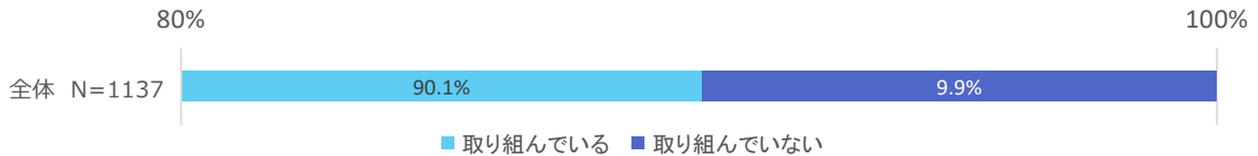
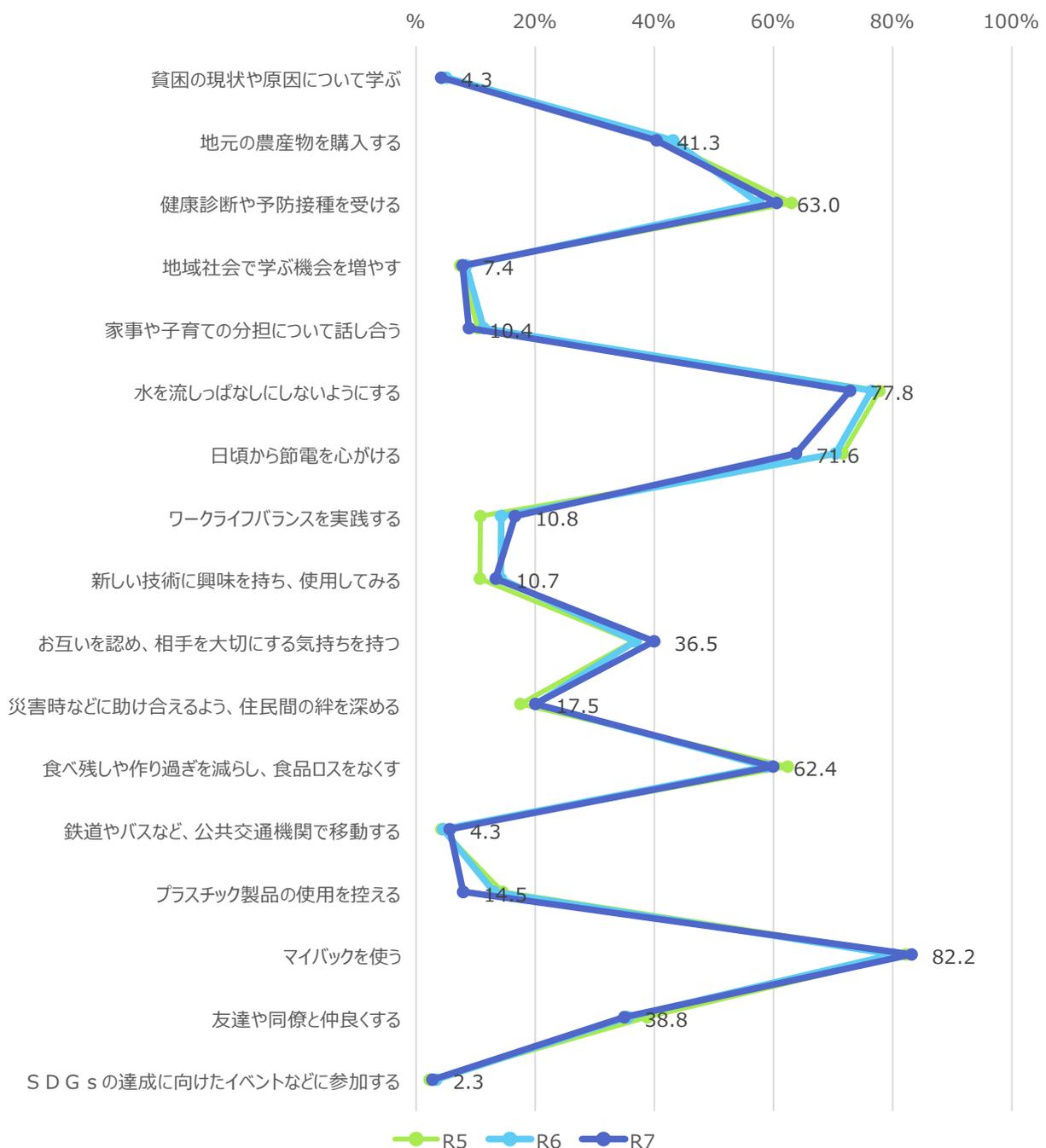


図72 実際に取り組んでいる行い (MA) N=1,024

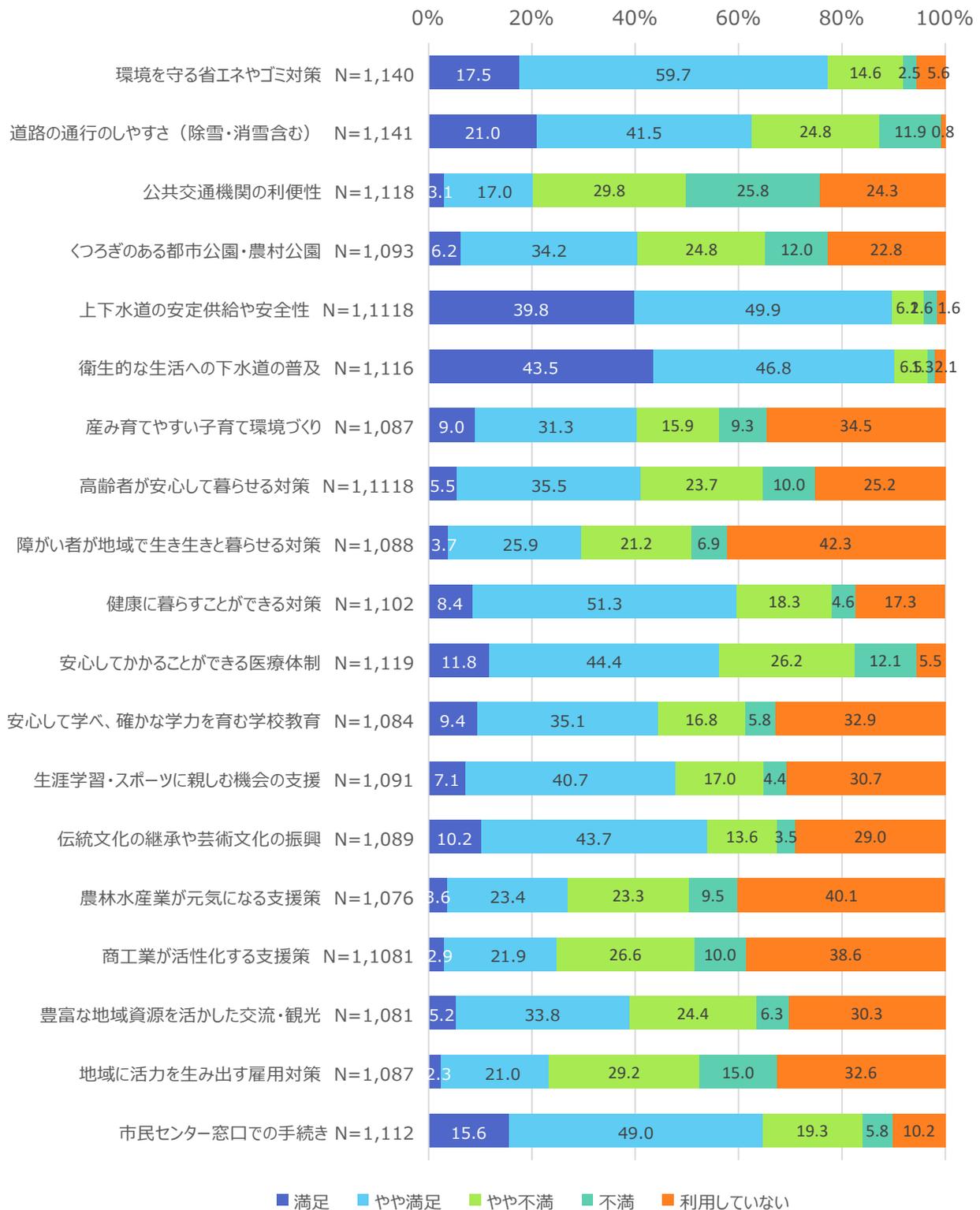


問59 最後に、南砺市の市政への満足度をお聞きます。

**市政への満足度が最も高いのは「衛生的な生活への下水道の普及」**

市政への満足度をみると、「満足している割合（「満足」+「やや満足）」が最も高いのは、「衛生的な生活への下水道の普及」が90.3%と最も多く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」が89.7%、「環境を守る省エネやゴミ対策」が77.2%、「市民センター窓口での手続き」が64.6%となっている。

図73 市政への満足度

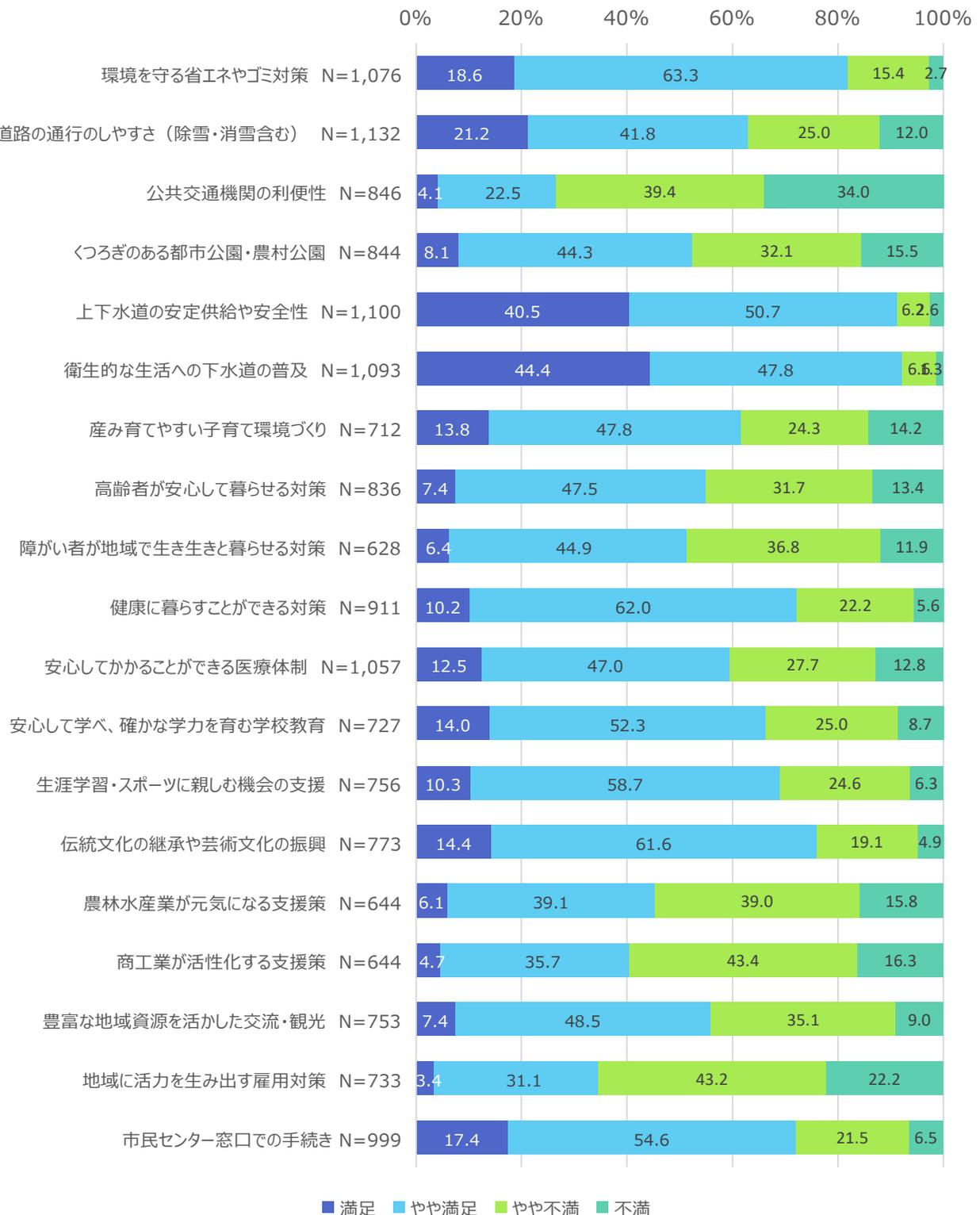


(「行政サービスを利用していない」を除いた場合) 最後に、南砺市の市政への満足度をお聞きます。

**行政サービスを利用している方の満足度が最も高いのは「衛生的な生活への下水道の普及」**

行政サービスを利用している方の市政への満足度をみると、「満足している割合（「満足」+「やや満足）」が最も高いのは、「衛生的な生活への下水道の普及」が92.2%と最も多く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」が91.2%、「環境を守る省エネやゴミ対策」が81.9%、「伝統文化の継承や芸術文化の振興」が76.0%となっている。

図74 市政への満足度



■ 満足度ポイント表示（「行政サービスを利用していない」を除いた場合）

満足度が最も低いのは「公共交通機関の利便性」となっている。

満足度の割合から算出したポイント（5点満点）をみると、「衛生的な生活への下水道の普及」が3.352ポイントと最も高く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」が3.290ポイント、「環境を守る省エネやゴミ対策」が2.978ポイントとなっており、一方で「公共交通機関の利便性」が1.967ポイントと最も低くなっている。

図75 満足度ポイント

順位	項目	ポイント
1	衛生的な生活への下水道の普及	3.352
2	上下水道の安定供給や安全性	3.290
3	環境を守る省エネやゴミ対策	2.978
4	伝統文化の継承や芸術文化の振興	2.854
5	市民センター窓口での手続き	2.829
6	健康に暮らすことができる対策	2.768
7	生涯学習・スポーツに親しむ機会の支援	2.730
8	道路の通行のしやすさ（除雪・消雪含む）	2.722
9	安心して学べ、確かな学力を育む学校教育	2.717
10	産み育てやすい子育て環境づくり	2.611
11	安心してかかることができる医療体制	2.592
12	豊富な地域資源を活かした交流・観光	2.543
13	高齢者が安心して暮らせる対策	2.489
14	障がい者が地域で生き生きと暮らせる対策	2.457
15	くつろぎのある都市公園・農村公園	2.449
16	農林水産業が元気になる支援策	2.354
17	商工業が活性化する支援策	2.288
18	地域に活力を生み出す雇用対策	2.157
19	公共交通機関の利便性	1.967

■ 満足度ポイントの計算方法

$$\frac{「満足(%)」 \times 4 + 「やや満足(%)」 \times 3 + 「やや不満(%)」 \times 2 + 「不満(%)」 \times 1}{100}$$

※少数第4位を四捨五入している

### Ⅲ 自由意見集計

#### 1. 意見分類一覧

回答いただいたご意見を次のように分類しました。

主な分類	件数
医療	5件
教育	6件
公共交通	7件
子育て	10件
情報発信	7件
人口対策	7件
生活環境	10件
地域・伝統	8件
地域間の差	2件
道路・除雪	7件
農林業	6件
福祉・介護	5件
防災	3件
商工業・雇用	8件
窓口・職員等	9件
合計	100件

## 2. 意見詳細

ご意見の概要は次の通りです。

分類	主な意見	件数
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 小児科、産婦人科等、医療施設が少ない、かかりつけ医になるような身近な病院が少ない。(30代ほか)</li> <li>▪ 2年後に南砺中央病院がなくなり、病気やけがになっても南砺市民病院に行かなければいけないと聞きましたが、弱者の事を考えているとは思いません。(70代以上ほか)</li> <li>▪ 出産費用の一部負担とか産みやすく育てやすい環境を作っていただきたい。(70代以上)</li> <li>▪ 大きい病院は大切だが、予約や待ち時間が長い。身近な診療所とかあったら高齢者が安心する。(50代)</li> <li>▪ 子育てをするにあたり、せめて土曜日の医療体制がもっと充実してほしい。(40代)</li> </ul>	5

分類	主な意見	件数
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 学校統合の進捗具合を知りたい。(30代)</li> <li>▪ 義務教育までは手厚い支援があるが大学、専門学生への支援が少ない。専門知識を身につけ、南砺市で働くために必要。(10代)</li> <li>▪ 中学校の部活動、地域移行を今一度見直して欲しい。様々な地域活動をしているが、参加ができない家庭もある。市政が受け皿を減らしており、住みやすいまちづくりとは逆方向に感じる。(30代)</li> <li>▪ 中学校の統廃合が検討されているが、統合され通学距離が延びた場合に通学支援は考えているか。冬場に自転車通学出来ない事や夏場でも天候の悪い事も考慮して考えてもらいたい。(40代)</li> <li>▪ 旧町村を基準にした学校の過剰配置、部活動の拠点校化も含め、子どもと子育て世代の事情を無視した政策に感じる。(40代)</li> <li>▪ 部活動について、福光高校跡地に市内のクラブ活動を集約し、各方面からバスの送迎を充実させ、子ども食堂や塾・自習室なども設け、平日の21時くらいまで保護者の迎えを待って校内で過ごせる施設として整備するなどもっと賢い方法があると思う。(40代)</li> </ul>	6

分類	主な意見	件数
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 交通機関がないのでスーパーにも買い物に行けない人が多い。(60代ほか)</li> <li>▪ 免許証の返納後の公共交通機関を活用できる地域を望む。公共交通・バス・鉄道の将来について考えてほしい。高齢化社会になるので城端線と公共バスとの連絡の利便性を考えてほしい。(60代ほか)</li> <li>▪ 「公共バス」を「小さいハイエース」などにして、運行回数を増やしてもっと便利にするなど、「高校生」の通学しやすい「バス」時刻の見直しが必要。(60代)</li> <li>▪ 車の運転ができない人(高齢者)はタクシーを利用しても時間がかかり、病院、買い物、葬儀場どこに行くにも不自由を感じている。(50代ほか)</li> <li>▪ 利用しにくいオンデマンの交通形態は何とかしてほしい。(70代以上)</li> <li>▪ 井口地域から福野地域への直通のバスがあると助かる。現在は安清もしくは南砺中央病院で乗り継ぎが必要で通学の時間だけでもあると便利になる。(40代)</li> <li>▪ あいの風鉄道との乗り継ぎの時間が長すぎる。(50代)</li> </ul>	7

分類	主な意見	件数
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 第三子以降の出生祝い増額してほしい。(過疎地域で産まれた場合さらに増額)(30代)</li> <li>▪ 旧桜ヶ池公園など、子供が遊べるようなところは無料だと遊びに行きやすい。(30代ほか)</li> <li>▪ 子ども達への補助が手厚いと感じている。(50代)</li> <li>▪ 平地域に児童館がほしい。自由に入出りできる子どもの施設がほしい。(10代)</li> <li>▪ 雨や雪に関係なく遊べる屋内遊具施設、併設するカフェや商店を充実してほしい。(30代ほか)</li> <li>▪ 少子化対策もお金を「ばらまく」だけではなく、出産費用の一部負担とか産みやすく育てやすい環境を作っていただきたい。(60代)</li> <li>▪ 保育士の求人について、年齢制限がなくなったことに対して感謝。(50代)</li> <li>▪ 障がいがあるために“やむを得ず”市外の保育園に通っている家庭でも、市内在住であれば、土曜保育の無償化の対象にならないか検討いただきたい。(20代)</li> <li>▪ 小さい子供から中学生くらいまで自由に遊べる施設があれば良い。(70代ほか)</li> <li>▪ 保育園の一時あずかりをどの園でも1歳前からできるようにしてほしい。(30代)</li> </ul>	10

分類	主な意見	件数
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 今はネット社会なので、特にInstagramでたくさん情報発信していただければ、若い方は見ると思うので力を入れて欲しい。(20代)</li> <li>▪ 広報のデジタル化し、紙ベースを無くしてはどうか。(60代)</li> <li>▪ 高齢者の中でもスマホ等の機器になじまず、利用していない者も多くいるのも事実ですので、「広報なんど」など、紙での情報伝達にホッとしています。(60代ほか)</li> <li>▪ 住民サービス等に関する諸手続きは電子媒体又はインターネット上でいつでもどこでも行うことができ、手続き方法をホームページ等で詳細を周知していただければ、住民も職員も手間が軽減されると思われる。住民及び役所双方でコスト及び労力共に省エネルギーな環境づくりを期待したい。(30代)</li> <li>▪ 南砺市のLINEに関して、子どもと出かける際に、イベント情報があると嬉しい。高岡市のLINEにはイベントお出かけというショートカット項目があり、その月に開催しているイベントが一覧で確認できるので、是非同じようなコンテンツを作成してほしい。(30代)</li> <li>▪ デジタルもいいのですがアプリを使わないと何もできなくなるのは困る。(50代)</li> <li>▪ デジタル化に弱いので 簡単な操作でスマホやパソコンで各種手続きなどのやり方を教えてもらえる機会があればなあと思う。(40代)</li> </ul>	7

分類	主な意見	件数
人口対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ここにいても未来に希望が持てない。これから住んでいる若者達の地域の負担がどんどん大きくなる気がして我が子には南砺市に住んでほしいとは思えない。(50代)</li> <li>▪ 県外に進学した若い人がまた南砺市に戻って暮らしたい、若い人を呼び込める取り組みをもっとしてほしい(イベント、施設、遊び場、会社の誘致など) (40代)</li> <li>▪ 大規模災害、人口減少、事業や農業後継者、空家や景観維持への対策+都会の人や若者が憧れ移住を希望する魅力ある田舎にするための対策が必要(50代)</li> <li>▪ 消滅市町村にならないために、20年30年先を展望すると最優先は人口の維持・増加対策である生活基盤(勤め先、農業、商店、家、医療環境、教育設備等)の対策が必要。(70代以上)</li> <li>▪ 南砺市の人口を増やすために若い人が子どもを産みやすい、結婚しやすい環境を整えてほしい。結婚してここで住みたいと思う制度があるなら前面に出すべき。(30代)</li> <li>▪ 現在の人口に合った公共施設の見直しが必要。(30代)</li> <li>▪ 市内に残った次の世代が無理なく過ごせるように負担軽減と意識改革(農業、自治会)が必要。(50代)</li> </ul>	7

分類	主な意見	件数
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 他自治体に住んでいた時は指定のゴミ袋の他、紙袋、米袋などのお店の袋でもよかったので、家にある袋がゴミ袋になるので指定のゴミ袋がない時など使っており、便利でした。(50代)</li> <li>▪ 可燃ゴミ袋が以前より薄くなって少し大きいものを入れるとすぐ破れる。落ち葉を入れるゴミ袋が少ない。村部の方は、コンビニがないので不便である。(60代)</li> <li>▪ ゴミの捨て場が車で30分かかるクリーンセンターはどうかと思う。他の市に比べて厳しすぎる。不燃物をもっと地域で回収してほしい。(70代以上ほか)</li> <li>▪ 可能であれば、いつでも捨てれる資源ゴミの回収場所を増やして欲しい(ビンやカンなど)(40代)</li> <li>▪ 車の利用が出来なくなったら市としてどう生活すればいいかももう少し真剣に考えてほしい。(70代以上)</li> <li>▪ 目に見える建物や食や工芸品を通して、南砺の精神性や内面をもっとアピールすると、普通の田舎との差別化が図れるのではないかな。</li> </ul>	10

分類	主な意見	件数
地域・伝統	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 何かやりたくても何もやる事がないお年寄りが多く、全然楽しそうではない。(50代)</li> <li>▪ いろいろな行事を企画して盛り上げようとしているのは分かるが企画に興味はあっても参加しづらい雰囲気がある。地域性なのか閉鎖的な雰囲気を感じてしまう。(40代)</li> <li>▪ 南砺市という土地には文化があってそれを尊重することは大切なことだと思うが必ずしも利益を生んだりとか得ばかりではないと思う。(20代)</li> <li>▪ 町内の会議では高齢者が多く、だれも何もいえない雰囲気がある。(30代)</li> <li>▪ 高齢者の見守り、安全パトロール、ゴミ収集の立会等、全て高齢者に負担が掛かっており、今後の高齢者増加対策をしっかりと計画してほしい。(70代以上)</li> <li>▪ 地域づくり協議会で役員をしているが、地域の課題や要望がほとんど解決しない。いまだに20年前と同じような状態である。南砺市としての一体感がまったく感じられない。(70代以上)</li> <li>▪ 地域活動の縮小してほしい。休日の返上してまでの参加、活動準備などで身体を休める事ができません。次の世代を残すなら地域活動の縮小を願いたい。田舎特有の生活に若者層は離れていく。(40代)</li> </ul>	8

分類	主な意見	件数
地域間の差	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 過疎地域手当を新設してほしい。(30代)</li> <li>▪ 山間地域における少子化対策が不十分のように思う。少ないからこそ、十分な子育て環境を提供できるようにし、若い人が魅力的に感じる地域づくりを実現してほしい。(50代)</li> </ul>	2

分類	主な意見	件数
道路・除雪・ 上下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 歩道の増設してほしい。(30代)</li> <li>▪ 白線がほぼどこも消えている。(40代ほか)</li> <li>▪ 夜間の交差点の歩道に街灯がなくとても危険を感じる。(70代以上)</li> <li>▪ 融雪道路の拡大してほしい。(30代)</li> <li>▪ 高速道路無料区間延線を働きかけていただきたい。(30代)</li> <li>▪ 今年の大雪の時、家の前の市道が5日間全く除雪されず、また、家のまわりは、高齢者が多く、不安しかありません。(70代以上)</li> <li>▪ 下水道料金が高い(60代)</li> </ul>	7

分類	主な意見	件数
農林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 農業所得が増える政策をしてほしい。(30代)</li> <li>▪ オーガニックヴィレッジ宣言をしていますが、市としてオーガニックへの取り組みをどうしてるのか詳しく知りたい。(40代)</li> <li>▪ 田んぼの評価額が高いので、実際の場所をみて正しく評価額をして頂ける様にして頂きたい。農業従事する高齢者にもっと負担が少なく政策をしてもらいたい。(60代)</li> <li>▪ 樹木枝等の回収場所を2カ所、3カ所と近くへ運搬出来る様に希望。(50代)</li> <li>▪ 多面的機能支払交付金(資源向上活動)の予算を上げてほしい。水路の漏水で、水田に入りこみ、農作業に支障をきたしている。高齢化している農業は10年後大変なことになる。(50代)</li> <li>▪ 外から人を呼ぶ基本は「食」だと思うので、そのためにはまずは農産物の強化が必須ではと思う。南砺市独自のオーガニック認証や農業者への支援など、継続して地元で豊かな食材を作る基盤を長期計画で考えていただきたい。(40代)</li> </ul>	6

分類	主な意見	件数
福祉・介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ヘルパー、デイサービス等、福祉サービスの不足が問題。</li> <li>▪ 介護予防の取り組みをもっと小規模で行ってほしい（歩いて行けない人が多い）（40代）</li> <li>▪ 1人暮らしの高齢者が病気になった時の保証人や終活に関するサービスを考えてほしい。（30代）</li> <li>▪ 要介護認定の決定をもっと早くしてほしい。申請してから家族は大変。（20代）</li> <li>▪ 高齢者が買い物に行けない現状を何とかしてほしい。（50代）</li> </ul>	5

分類	主な意見	件数
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 災害に対して具体的な対策等を周知出来ないのが不安に感じる。（50代）</li> <li>▪ 南砺市役所からの防災無線の放送が聞きとれない。（60代）</li> <li>▪ 緊急メールや防災アプリも必要だが、ついていけない人は取り残されるのでは。もっと直に伝わるサービス向上に務めてほしい。（60代）</li> </ul>	3

分類	主な意見	件数
商工業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 病院もお店もなくなってきて南砺市で買い物する気になれない。（50代）</li> <li>▪ 大型店舗を増やすべき。電機店、スーパー、ホームセンター、娯楽場所、飲食（フランチャイズ）（60代）</li> <li>▪ 車を持たない（主に）高齢者の買物状況が悪いので、一週間に一度でも良いから買物などの（小さな）循環バスを直して欲しい。（60代）</li> <li>▪ 素晴らしい観光資源があるにもかかわらず、巡回型になっていない。</li> <li>▪ 南砺市には本当に働く場所がない。若者は金沢や砺波に流出している。しっかりと企業を誘致してほしい。（40代）</li> <li>▪ 伝統文化、芸術文化は観光資源になる。県内外の方が見て食べて満足、そして写真映えする様な花や緑があれば年中楽しめると思う。（50代）</li> <li>▪ 桜の時期に南砺市のお花見スポットはほとんど混雑しませんが、富山県内でもあまり知られていないので、もう少し宣伝したらいいのではと思う。（五箇山以外の南砺の映えスポットは知名度が低いのもったいない）（40代）</li> </ul>	8

分類	主な意見	件数
窓口・職員等	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 個人的な主観では南砺市は他の自治体であった事業の真似をしているように感じる。それはいい部分でもあり、悪い部分でもあるように感じる。(20代)</li> <li>▪ 市役所の営業時間を土日どちらかの午前か午後どちらかだけでいいので増やしてほしい。(10代)</li> <li>▪ 窓口では若い人に対応いただくが、分からないことが多いので、経験年数がある方に対応いただきたい。(70代以上)</li> <li>▪ 市民センターでは元気(笑顔)に対応してほしい。(70代以上)</li> <li>▪ すべてをより良くしようとすると無理がある。特色のある街づくりをしてほしい。(60代)</li> <li>▪ カウンターで待っていても誰も来ないなど対応が悪い。職員の接客教育を徹底するべき。(20代)</li> <li>▪ 市役所の職員と話していても、全くやる気がなく、最後は民間に丸投げにしている。市の職員がこんな制度もある、こんな助成もあると周知徹底して欲しい。(50代)</li> <li>▪ 現在の人口数に合った公共施設の見直しや効果のmirれない事業は廃止や見直しを行い、現状にあった事業への切り替えが必要(30代)</li> <li>▪ 子供への助成だけでなく、老人だけの世帯への手厚い助成も市長は考えるべき。税金は平等に取るのに、助成に関しては平等性に欠けると思う。(60代)</li> </ul>	10

# 南砺市総合計画 市民意識調査



調査へのご協力をお願い

- ・この調査は、皆様のまちづくりに対する考えや生活実態、問題意識をお聞きすることを目的としています。
- ・いただいたご意見は今後の施策や事業の見直しに活かします。

2,500人の方に市民を代表してお答えいただく調査です。  
皆様のご意見をお聞かせください。回答時間は10分程度です。

【回答方法】郵送・インターネットどちらかの方法よりご回答ください。

郵送で回答する場合



インターネットで回答する場合



※この調査は満18歳以上の市民を対象に、住民基本台帳から2,500人を無作為に抽出して回答をお願いするものです。調査は無記名で回答していただき、統計的に集計を行いますので、個人が特定されることはありません。

< この調査についてのお問い合わせ先 >

南砺市役所 政策推進課  
電話 0763-23-2052(直通)

## はじめに、あなたご自身のことを伺います。

問1 あなたの性別についてお伺いします。【いずれかに○】

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 答えたくない
-------	-------	--------	-----------

問2 あなたの年齢についてお伺いします。【いずれかに○】

1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70歳以上

問3 あなたのご家族についてお伺いします。【いずれかに○】

1. 夫婦だけの世帯	2. 二世帯世帯(親と子)
3. 三世帯世帯(親と子と孫)	4. ひとり暮らしの世帯
5. その他( )	

問4 配偶者についてお伺いします。【いずれかに○】

1. いる	2. いない
-------	--------

問5 あなたと配偶者のそれぞれの就労・就学についてお伺いします。【いずれかに○】

あなたご自身	配偶者(問4で、「1. いる」と答えた方)
1. 正社員・正職員として働いている	1. 正社員・正職員として働いている
2. 契約社員・派遣社員として働いている	2. 契約社員・派遣社員として働いている
3. パート・アルバイトとして働いている	3. パート・アルバイトとして働いている
4. 自営業に従事している(農業、商業など)	4. 自営業に従事している(農業、商業など)
5. 主に家事に従事している	5. 主に家事に従事している
6. 就職活動をしている(求職中)	6. 就職活動をしている(求職中)
7. 就学している(学生)	7. 就学している(学生)
8. 就労・就学していない(求職中ではない)	8. 就労・就学していない(求職中ではない)

問6 子ども(0歳～中学生)についてお伺いします。【いずれかに○】

1. 養育している(父母又は保護者等である)	2. 養育していない
------------------------	------------

問7 あなたが通勤・通学している場所についてお伺いします。【いずれかに○】

1. 南砺市内	2. 金沢市	3. 砺波市	4. 小矢部市
5. 高岡市	6. 富山市	7. その他( )	

問8 あなたのお住まいの地域についてお伺いします。【いずれかに○】

1. 城端地域	2. 平地域	3. 上平地域	4. 利賀地域
5. 井波地域	6. 井口地域	7. 福野地域	8. 福光地域

問9 あなたのお住まいについてお伺いします。【いずれかに○】

1. 戸建住宅(持ち家)	2. 戸建住宅(借家)	3. 共同住宅(分譲)
4. 共同住宅(賃貸)	5. 公営住宅	6. その他( )

次に、あなたが感じる今の南砺市について伺います。

問10 あなたが買い物をする主な行き先はどこですか。

【「買い物の目的」ごとの「買い物をする主な行き先」を、それぞれ2つまで○】

買い物の目的	買い物をする主な行き先									
	南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他の通信販売	その他
食料品	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日用雑貨	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
衣料品	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
電化製品	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
趣味に関するもの	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問11 あなたは、地場産の食材を意識して購入していますか。【いずれかに○】

1. 意識して購入する	2. あまり意識をしていない
3. 意識して購入したことがない	4. わからない(購入する役割でない)

問12 あなたは、1日のうち平均どの程度、家事や育児などを行っていますか。【いずれかに○】

		していない、対象がない	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上
平日	家事	1	2	3	4	5	6
	育児	1	2	3	4	5	6
	介護	1	2	3	4	5	6
休日	家事	1	2	3	4	5	6
	育児	1	2	3	4	5	6
	介護	1	2	3	4	5	6

問13 あなたは、次の情報通信サービスを利用していますか。利用している場合、それらを快適に利用できていますか。【それぞれ、いずれかに○】

	利用している	利用していない	利用している場合、快適に利用できていますか			
			そう思う	そう思う いえば どちらかと	そう思わない いえば どちらかと	そう思わない
インターネット (パソコン)	1	2	1	2	3	4
インターネット (スマホ、タブレット)	1	2	1	2	3	4
携帯電話 (従来型携帯電話)	1	2	1	2	3	4
FAX	1	2	1	2	3	4

問14 問13でインターネット(スマホ、タブレット)を利用している「1」と回答した方にお聞きします。使うアプリは何ですか。【使用しているアプリすべてを○】

1. キャッシュレス決済(PayPayなど)	2. Facebook
3. X(旧Twitter)	4. Instagram
5. LINE	6. 南砺市防災アプリ
7. YouTube	8. その他( )
9. 使用していない	

問15 今後、デジタル化されることを期待する行政手続きや行政サービスは何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 各種届出・証明書の取得	2. 医療・健康
3. 福祉	4. 学校教育
5. 子育て、保育	6. 環境、ごみ
7. 防災、災害	8. 防犯
9. 観光	10. 産業(商業、工業、農業)
11. 公共ライフライン(道路、上下水道)	12. スポーツ・文化施設
13. 地域行事	14. 生涯学習
15. 特になし	16. その他( )

問16 あなたは、日頃から学習活動(市や地区交流センター(公民館)、民間が開催する講座、教室、サークル、講演会及び個人が自宅等で行う学習)に取り組んでいますか。【いずれかに○】

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問17 あなたは、1年以上継続してスポーツ・運動\*を行っていますか。【いずれかに○】

\*目安 1回30分以上 散歩、体操を含む

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問18 問17で「1. はい」と回答した方にお聞きします。どれぐらいの頻度でスポーツ・運動(散歩、体操を含む)を行っていますか。【いずれかに○】

1. ほぼ毎日	2. 週2~3回程度
3. 週1回程度	4. 月2~3回程度
5. それ以外( )	

問19 問17で「1. はい」と回答した方にお聞きします。あなたがスポーツ・運動(散歩、体操を含む)をする主な理由は何ですか。【あてはまるものを3つまで○】

1. 健康維持・体力増進のため	2. 楽しみや、ストレス解消・気分転換のため
3. 運動不足を感じるから	4. 心身の鍛錬や訓練のため
5. 自己の記録や能力を向上させるため	6. 家族の触れ合いや友人・仲間との親睦のため
7. 美容や肥満解消のため	8. その他( )



問26 あなたは、気象警報、避難情報やクマの出没情報などの防災情報や緊急情報を南砺市がメールやアプリで配信している以下のサービスを知っていましたか。【いずれかに○】

	知っていたし、 利用している	知っていたが、 利用していない	知らなかった
なんと!緊急メールサービス	1	2	3
南砺市防災アプリ	1	2	3

なんと!緊急メールサービス  
登録はこちらから→



南砺市防災アプリ  
Android



南砺市防災アプリ  
iOS



問27 あなたは、過去1年間に交通安全の活動や行事に参加しましたか。【いずれかに○】

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問28 あなたは、日常生活の中で犯罪に遭わないようにどのような取り組みをしていますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 自動車を離れるときに、貴重品やバッグなどを車内に置かない
2. 防犯ブザーなどの防犯対策グッズを持ち歩いている
3. 出かけるときは必ず戸締りを確認する
4. 二重ロックや防犯ガラス、センサーで反応する防犯ライトの設置などの対策をしている
5. 自転車に鍵をかけるようにしている
6. 犯罪情報などを入手し、被害にあわないよう気をつけている
7. インターネット、携帯電話を利用する際には、ネット犯罪にあわないよう気をつけている
8. 悪質商法などの消費者被害にあわないよう気をつけている
9. 特に何も行っていない

問29 クーリング・オフ制度とは、訪問販売など特定の取引について、いったん契約した場合でも、一定期間は消費者からの一方的な契約解除を認める制度です。あなたは、この制度のことを知っていましたか。【いずれかに○】

1. 言葉も意味も知っていた（ネット通販やテレビショッピングなどの通信販売には、クーリング・オフ制度が適用しないことも知っていた）
2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった
3. 言葉も意味も知らなかった

問30 あなたは、冬期に安心して暮らすことができると感じますか。【いずれかに○】

1. 安心して暮らすことができる
2. どちらかといえば安心して暮らすことができる
3. どちらかといえば安心して暮らすことができない
4. 安心して暮らすことができない

問31 あなたは、南砺市への「誇り」や「愛着」を感じていますか。【いずれかに○】

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている          | 2. どちらかといえば感じている |
| 3. どちらかといえば感じていない | 4. 感じていない        |

問32 問31で「1. 感じている」、「2. どちらかといえば感じている」と回答した方にお聞きします。あなたが、南砺市について感じるものはどれですか。【あてはまるものすべてに○】

- |                      |
|----------------------|
| 1. 南砺市や住んでいる地域が好きである |
| 2. 暮らしていて満足している      |
| 3. 慣れ親しんだ環境があり、安心できる |
| 4. いつまでも変わってほしくない    |
| 5. 地域を紹介したり、勧めたい     |
| 6. その他( )            |

問33 あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。【いずれかに○】

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 今後も住み続けたい                    |
| 2. 南砺市内で引っ越したい(具体的に_____地域へ)    |
| 3. 南砺市外へ引っ越したい(具体的に_____市・町・村へ) |
| 4. わからない                        |

問34 問33で「1. 今後も住み続けたい」と回答した方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 通勤・通学に便利な立地だから | 2. 自然が豊かだから       |
| 3. 子育て支援が充実しているから | 4. 高齢者支援が充実しているから |
| 5. 教育が充実しているから    | 6. その他( )         |

問35 問33で「2. 南砺市内で引っ越したい」、「3. 南砺市外へ引っ越したい」と回答した方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 通勤・通学が不便だから                  | 2. 買い物など日常生活が不便だから |
| 3. 医療機関が充実していないから               | 4. 教育環境がよくないから     |
| 5. 近所づきあいなど土地柄になじめないから          |                    |
| 6. 公共交通が不便だから                   | 7. 子育て環境が充分でないから   |
| 8. 世話をしてくれる家族が、自分の現在住む場所以外にいるから |                    |
| 9. その他( )                       |                    |

問36 あなたは、地域で暮らす子ども(0歳から概ね18歳未満)と関わるのが幸せだと感じますか。【いずれかに○】

- |         |                        |                 |
|---------|------------------------|-----------------|
| 1. 感じる  | 2. どちらかといえば感じる         | 3. どちらかといえば感じない |
| 4. 感じない | 5. わからない(子どもに関わる機会がない) |                 |

問37 ご家庭に18歳未満のお子さん(弟、妹、子、孫等)がいらっしゃる方にお尋ねします。  
あなたのご家庭には、次のお子さんは何人いらっしゃいますか。

【あてはまるものすべてに人数を記入】

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 中学生・高校生 _____人            | 2. 小学生 _____人          |
| 3. 園児(保育園、幼稚園、認定こども園) _____人 | 4. 1~3以外(未就園児等) _____人 |

問38 ご家庭に18歳未満のお子さん(弟、妹、子、孫等)がいらっしゃる方にお尋ねします。  
あなたは、南砺市では就労しながら無理なく子育てをすることができると思いますか。

【いずれかに○】

- |           |                              |                   |
|-----------|------------------------------|-------------------|
| 1. そう思う   | 2. どちらかといえばそう思う              | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない(就労していない、子育てする立場でない) |                   |

問39 問38で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- |   |
|---|
| 1. 保育サービスが充実しているから<br>(乳児保育、延長保育、一時預かり保育、土曜保育、休日保育、病後児保育)       |
| 2. 子どもを預ける場が充実しているから<br>(保育園、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブ、ファミリーサポートサービス) |
| 3. 子どもを遊ばせる場が多いから(公園、児童館など)                                     |
| 4. 小児医療体制が整っているから   |
| 5. 医療費助成が充実しているから   |
| 6. 教育環境が充実しているから  |
| 7. 相談サービスが充実しているから(児童相談、子育ての悩み相談など)                             |
| 8. 周りに相談できる人・団体があるから  |
| 9. その他( )   |

問40 問38で「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答した方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- |  |
|--|
| 1. 保育サービスが不十分だから<br>(乳児保育、延長保育、一時預かり保育、土曜保育、休日保育、病後児保育)      |
| 2. 子どもを預ける場が少ないから<br>(保育園、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブ、ファミリーサポートサービス) |
| 3. 子どもを遊ばせる場が少ないから(公園、児童館など)                                 |
| 4. 小児医療体制が不十分だから   |
| 5. 医療費助成が不十分だから  |
| 6. 教育環境が不十分だから   |
| 7. 相談サービスが不十分だから(児童相談、子育ての悩み相談など)                            |
| 8. 周りに相談できる人・団体がいないから  |
| 9. その他( )  |

問41 ご家庭に18歳未満のお子さん(弟、妹、子、孫等)がいらっしゃる方にお尋ねします。  
あなたは、子育てに喜びや生きがいを感じていますか。【いずれかに○】

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. そう感じている           | 2. どちらかといえばそう感じている |
| 3. どちらかといえばそう感じていない  | 4. そう感じていない        |
| 5. わからない(子育てする立場でない) |                    |

問42 あなたが友人や知人に、ぜひお勧めしたい南砺市内の文化や景観はいくつありますか。

【いずれかに○】

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. 10箇所以上ある | 2. 5~9箇所ある |
| 3. 1~4箇所ある  | 4. ない      |

問43 問42で、「ある」と回答した方にお聞きます。南砺市のお勧めしたいものはどのようなものですか。

【あてはまるものすべてに○】

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 自然                             |
| 2. 伝統・文化(井波彫刻、五箇山和紙など)            |
| 3. 祭り(福野夜高祭、城端曳山祭、五箇山麦屋まつり、獅子舞など) |
| 4. 食(地域の特産物、米、水など南砺市産のもの)         |
| 5. アクティビティ(スキー場・登山・カヌー・パラグライダーなど) |
| 6. 観光地(世界遺産相倉・菅沼合掌造り集落、瑞泉寺など)     |
| 7. その他( )                         |

問44 あなたは、過去1年間に地域福祉活動やボランティア活動(団体による清掃活動等)に参加しましたか。【いずれかに○】

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問45 問44で「1. はい」と回答した方にお聞きます。活動内容はどのようなものですか。

【あてはまるものすべてに○】

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 福祉分野のボランティア活動 | 2. 環境分野のボランティア活動 |
| 3. 教育分野のボランティア活動 | 4. その他( )        |

問46 あなたは、障がいのある人を手助けしたことがありますか。【いずれかに○】

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問47 問46で「1. ある」と回答した方にお聞きます。それはどのような気持ちからですか。

【あてはまるものすべてに○】

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから |
| 2. 近所付き合いや親戚付き合いで                |
| 3. 自分の仕事に関連して                    |
| 4. 将来、自分も障がい者になるかもしれないから         |
| 5. 障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから  |
| 6. 障がいのある人への手助けを求めるキャンペーンなどを見たから |
| 7. その他( )                        |

問48 問46で「2. ない」と回答した方にお聞きます。手助けをしたことがなかったのはどうしてですか。

【あてはまるものすべてに○】

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 自分が何をすればよいかわからなかったから    |
| 2. どのように接したらよいかわからなかったから   |
| 3. お節介になるような気がしたから         |
| 4. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから |
| 5. 自分にとって負担になるような気がしたから    |
| 6. 自分の周りに障がいのある人がいなかったから   |
| 7. その他( )                  |

問49 協働のまちづくりとは、市民、市民団体、事業者及び市が協力して、地域の課題解決に取り組むまちづくりの手法のことです。あなたは、どのような協働のまちづくりに取り組んでいますか。

【あてはまるものすべてに○】

- |  |
|--|
| 1. 市が主体で実施するまちづくり事業                    |
| 2. 国又は県が主体で実施するまちづくり事業                 |
| 3. 地域づくり協議会が主体で実施するまちづくり事業             |
| 4. 自治会、町内会が主体で実施するまちづくり事業              |
| 5. 老人クラブ、壮年会、婦人会等の地域の団体が主体で実施するまちづくり事業 |
| 6. ボランティア団体、PTA、NPO法人等が主体で実施するまちづくり事業  |
| 7. 企業等が社会貢献事業として実施するまちづくり事業            |
| 8. 特に何も行っていない                          |

問50 あなたは、地域を良くする活動に参加したい、関わりたい気持ちがありますか。【いずれかに○】

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ある         | 2. どちらかといえばある |
| 3. どちらかといえばない | 4. ない         |

問51 あなたは、“みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる”と思いますか。【いずれかに○】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない       |

問52 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。【いずれかに○】

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成         | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対         |

問53 あなたは、南砺市が「ジェンダーギャップ（社会的につくられた性別による格差）の解消」に取り組んでいると思いますか。【いずれかに○】

- |           |                    |                   |
|-----------|--------------------|-------------------|
| 1. そう思う   | 2. どちらかといえばそう思う    | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない（取組みを知らない） |                   |

問54 あなたは、地域や職場のジェンダー平等が進んでいると思いますか。【いずれかに○】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない       |

問55 あなたは、地域に年齢や性別、国籍などにとらわれず、多様な生き方や考え方を受け入れ、個性を認め合う雰囲気があると思いますか。【いずれかに○】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない       |

問56 あなたは、南砺市の行政サービス(市役所の仕事)の水準は適正だと思いますか。【いずれかに○】

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. そう思う                  | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない        | 4. そう思わない       |
| 5. わからない(行政サービスを利用していない) |                 |

問57 あなたは、南砺市が発信している次の情報を利用していますか。利用している場合、それらの内容はわかりやすいと思いますか。【それぞれ、いずれかに○】

	利用している	利用していない	利用している場合、わかりやすいと思いますか			
			そう思う	そう思う いえば どちらかと	そう思わない いえば どちらかと	そう思わない
広報など	1	2	1	2	3	4
南砺市ホームページ	1	2	1	2	3	4
南砺市Facebook	1	2	1	2	3	4
南砺市LINE	1	2	1	2	3	4
南砺市X(旧Twitter)	1	2	1	2	3	4
南砺市Instagram	1	2	1	2	3	4

問58 「SDGs」の達成には、身近な行動が大切です。実際に取り組んでいるものは何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 取り組んでいない
2. 貧困の現状や原因について学ぶ
3. 地元の農産物を購入する
4. 健康診断や予防接種を受ける
5. 地域社会で学ぶ機会を増やす
6. 家事や子育ての分担について話し合う
7. 水を流しっぱなしにしないようにする
8. 日頃から節電を心がける
9. ワークライフバランスを実践する
10. 新しい技術に興味を持ち、使用してみる
11. お互いを認め、相手を大切にす気持ちを持つ
12. 災害時などに助け合えるよう、住民間の絆を深める
13. 食べ残しや作り過ぎを減らし、食品ロスをなくす
14. 鉄道やバスなど、公共交通機関で移動する
15. プラスチック製品の使用を控える
16. マイバックを使う
17. 友達や同僚と仲良くする
18. SDGsの達成に向けたイベントなどに積極的に参加する

問59 最後に、南砺市の市政への満足度をお聞きます。【各設問とも、いずれかに○】

	満足	やや満足	やや不満	不満	行政サービスを利用していない
環境を守る省エネやゴミ対策	1	2	3	4	5
道路の通行のしやすさ(除雪・消雪含む)	1	2	3	4	5

	満足	やや満足	やや不満	不満	行政サービスを利用していない
公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5
くつろぎのある都市公園・農村公園	1	2	3	4	5
上下水道の安定供給や安全性	1	2	3	4	5
衛生的な生活への下水道の普及	1	2	3	4	5
産み育てやすい子育て環境づくり	1	2	3	4	5
高齢者が安心して暮らせる対策	1	2	3	4	5
障がい者が地域で生き生きと暮らせる対策	1	2	3	4	5
健康に暮らすことができる対策	1	2	3	4	5
安心してかかることができる医療体制	1	2	3	4	5
安心して学べ、確かな学力を育む学校教育	1	2	3	4	5
生涯学習・スポーツに親しむ機会の支援	1	2	3	4	5
伝統文化の継承や芸術文化の振興	1	2	3	4	5
農林水産業が元気になる支援策	1	2	3	4	5
商工業が活性化する支援策	1	2	3	4	5
豊富な地域資源を活かした交流・観光	1	2	3	4	5
地域に活力を生み出す雇用対策	1	2	3	4	5
市民センター窓口での手続き	1	2	3	4	5

○その他市政に関して、ご意見、ご要望がございましたら自由にご記入ください。

調査項目は以上です。たくさんの設問にお答えいただきありがとうございました。

お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、5月30日(金)までにポストへ投函してください。

— ご協力、ありがとうございました —